国防総省
（DoD, Department of Defense）

特別支援

親のためのツールキット ▪ 出生後18歳まで

前書き

特別支援を要する軍部の家族のために設立されたコミュニティサポートオフィスでは、国防総省発行の*特別支援・親のためのツールキット -- 出生後18歳まで*を提供しています。このツールキットは、親の方々が生活の質を向上するための助けとなる情報および援助を提供し、特別支援を要する子供を擁護する方法を説明します。6つのモジュールはそれぞれ、あなたが子供の成長において遭遇するような問題に取り組んでいます。最近になって、子供が特別支援を要すると診断された方や、以前から診断された方でも、このツールキットで何らかのヒントが得られるでしょう。このツールキットの6つのモジュールでは、以下のような情報を提供します。

- **モジュール1 -- 出生後3歳まで**
- **モジュール2 -- 特別教育**
- **モジュール3 -- 医療福祉手当**
- **モジュール4 -- 移行時期の家族**
- **モジュール5 -- 子供を擁護する方法**
- **モジュール6 -- 援助および支援**

このツールキットは、軍の特別支援コミュニティを通して多数の方々からの支援や奨励が得られずには実現できません。製品開発チーム、構成内容にご協力いただいた方、内容への見識や提案をくださった方、ならびにツールキットの正確性をご確認くださった校閲者の方々には深く感謝いたします。

あなたよりも自分の子供のことがわかっている人など存在しません。子供の健全な成長を支援するために必要なツールを提供することで、親の方々ご自身に勇気をもって取り組んでもらうことを目的にこのツールキットが考案されました。

目次

前書き i

モジュール1：出生後3歳まで

モジュール1への入門 1:1
子供の発達が遅いまたは子供に障害があると感じる場合 1:1
早期介入 1:4
早期介入サービスとは何か？ 1:4
早期介入サービスへの紹介が受けられる仕組み 1:4
サービスコーディネーターおよび評価プロセス 1:5
早期介入サービスの適用資格が得られるには？ 1:6
適用資格を定めるミーティング 1:6
子供に早期介入サービスの適用資格がない場合 1:6
個人別家族サービスプラン 1:7
EISが開始されるまでの期間 1:8
サービスの種類 1:8
サービスの提供方法 1:9
移行プラン：子供が3歳になったらどうするか 1:9
子供に学校特別教育サービス（パートB）の適用資格がない場合 1:10
擁護者としての親の役割 1:10
支援 1:10
詳細情報 1:10
HOMEFRONTConnections 1:11
親の方々向けトレーニングと情報センター 1:11
国立障害児普及センター 1:11
軍部の親の方々向け特別トレーニングプロジェクト 1:11

モジュール2：特別教育

モジュール2への入門 2:1
個別障害者教育法 2:1
特別教育プロセスの主要構成要素 2:2
「子供理解」 2:2
事前紹介の介入/学校介入チーム 2:3

目次

i

発育遅れとは、乳児や小児が同年代の子供たちより発育のペースが遅い場合です。早期介入について詳しくは、モジュール1をご覧ください。

手続き上の保護条項 2:3
紹介 2:4
評価 2:4
適用資格 2:5
個別教育プログラム 2:6
個別教育プログラムとは？ 2:7
ミーティングの参加者 2:7
ミーティングの準備 2:8
感情のコントロール 2:9
効果的なプランの書き方 — 子供の必要に重点を置く 2:9
改良および適応 2:10
関連サービス 2:10
配置および最も制限の少ない環境 2:11
配置オプション 2:12
個別教育プログラムに満足？ 2:12
最終的に得られるプラン 2:13
年次レビュー 2:13
3年に1度のレビュー 2:14
同意しない場合はどうするか？ 2:14
個別教育プログラムでの移行 2:14
同じ州内で転学する子供 2:14
別の州から転学する子供 2:15
記録 2:15
詳細情報 2:15
国防省教育本部 2:16
育児のアドバイス 2:16
親の権利/アドボカシーの情報 2:16

モジュール3：TRICARE® 医療福祉手当

モジュール3への入門 3:1
TRICARE 3:1
現役勤務の家族向けTRICAREオプション 3:2
TRICARE Prime 3:2
TRICARE Prime Remote 3:2
TRICARE Standard 3:3

TRICARE Extra ... 3:3
薬局福祉手当 ... 3:4
特別支援を要する家族向けTRICARE® 福祉手当 ... 3:4
症例管理 ... 3:4
精神衛生ケア ... 3:4
ホスピスケア ... 3:5
拡大ケアヘルスオプション（ECHO） ... 3:5
ECHO 在宅医療サービス（EHHC） ... 3:7
TRICARE® ヘルプおよび情報 ... 3:8
TRICARE® サービスセンター ... 3:9
被保険者カウンセリングおよび支援コーディネーター/医療福祉手当アドバイザー ... 3:9
債権回収支援 ... 3:9
個別障害者教育法およびTRICARE® ... 3:9
詳細情報 ... 3:10
拡大ケアヘルスオプションおよび在宅医療サービス ... 3:10
TRICARE® 福祉手当 ... 3:10
USA.GOV ... 3:10
MilitaryHOMEFRONT ... 3:11
Plan My Move ... 3:11
MilitaryINSTALLATIONS ... 3:11
HOMEFRONTConnections ... 3:11

モジュール4：移行時期の家族

モジュール4への入門 ... 4:1
例外的なファミリーメンバープログラム ... 4:1
加入 ... 4:1
ファミリーサポート ... 4:2
移転 ... 4:3
移転支援プログラム ... 4:3
ファミリーセンター ... 4:4
MilitaryINSTALLATIONS ... 4:4
学校 ... 4:4
医療関連事項 ... 4:5
子供に伝える ... 4:5

特別教育制度を利用する方法を学ぶのは、どの家族にとっても困難です。特別教育プロセスについて詳しくは、モジュール2をご覧ください。

各種のプログラムからの医療補助および財政支援がなくては特別支援を要する家族に適切なケアを提供できない家族は沢山います。これらのプログラムについて詳しくは、モジュール3をご覧ください。

梱包 4:7
海外への赴任：行く前に知っておくこと 4:7
子供を伴うトラベル 4:8
飛行機でのトラベル 4:8
列車でのトラベル 4:9
自動車でのトラベル 4:10
一時的な宿泊施設 4:10
住居 4:10
学校 4:10
保育所 4:11
入居 4:11
新しい家および近隣における安全 4:13
配偶者の雇用 4:14
雇用支援プログラム 4:14
Military OneSource 4:15
配備 4:15
支援が利用可能 4:16
帰宅 4:17
災害への備え 4:17
介助動物 4:18
停電：事前に計画 4:18
成人期への移行 4:19
自立生活 4:20
成人した子供のケア 4:21
追加保障所得およびMedicaid 4:21
特別支援トラスト 4:21
同意書 4:21
特別医療支援を要する子供の特別医療組織記録 4:22
後見人および資格無効宣言 4:22
成人した子供のIDカード 4:22
ホスピスケア 4:23
詳細情報 4:23

モジュール5：子供を擁護する方法

モジュール5への入門 5:1

有効なコミュニケーション 5:1
平静を維持した明確なコミュニケーション 5:1
書状の作成 5:2
整理整頓 5:2
特別医療組織記録 5:3
病歴 5:4
教育ファイル 5:4
医療のアドボカシー 5:5
必要な紹介状の入手 5:5
TRICAREの決定内容の上訴 5:6
早期介入サービス 5:6
教育の擁護 5:8
法律 5:8
学校組織 5:9
親の責任 5:9
問題解決 5:10
非公式の問題解決 5:10
公式の問題解決 5:11
適正手続きの意見聴取 5:13
州の苦情 5:13
独立教育評価 5:13
サービス承諾の撤回 5:13
子供が順調に学習することへの支援 5:14
子供の日常生活への積極的な関心 5:15
学業のレビュー 5:15
好奇心と動機を持つことの奨励 5:15
理解の促進 5:15
準備 5:15
子供にセルフアドボケートになることを教える 5:16
福祉手当擁護 5:16
追加保障所得 5:16
Medicaid 5:17
公法への影響力 5:17
詳細情報 5:18
障害児の他の親の検索 5:18

すべての家族が、軍部の移転、配備、または退役に関連する変化を子供にとってできるだけ容易にしてあげたいと願っています。これらの移行について詳しくは、モジュール4をご覧ください。

HOMEFRONTConnections 5:18
お住まいの州の親の方々向けトレーニングと情報センターの検索 5:19
特別教育における適切な論争解決センター 5:19
書籍 5:19

モジュール6：援助および支援

モジュール6への入門 6:1
軍部コミュニティの援助 6:1
ファミリーセンター 6:1
新しい親支援プログラム 6:2
家族擁護プログラム 6:2
子供、若者、およびティーンエージャープログラム 6:2
スクール・リエゾン・オフィサー 6:3
救済基金協会 6:3
サービスをスポンサーするWebサイト 6:4
追加の軍部の援助 6:4
MilitaryHOMEFRONTの特別支援/例外的なファミリーメンバープログラムセクション 6:4
Military OneSource 6:5
Military Youth on the Move（移動時の軍部の若者） 6:5
Plan My Move 6:5
MilitaryINSTALLATIONS 6:6
TRICARE 6:6
連邦、州、およびコミュニティ援助 6:6
アメリカ赤十字社 6:6
Disability.gov 6:6
特別教育における適切な論争解決センター 6:6
栄養補給支援プログラムおよび家族必要最低限の栄養補給引当 6:7
国立教育、障害および少年司法センター 6:8
国立障害児普及センター 6:8
軍部の親の方々向け特別トレーニング 6:8
追加保障所得 6:9
重病または入院中の子供のいる家族の援助 6:9

アドボカシーには、子供と子供の健康状態について学ぶことや、記録および連絡文書を管理することに加え、子供が適用資格のある医療や教育を確実に受けられるようにすることが含まれます。早期介入について詳しくは、モジュール5をご覧ください。

Fisher House 6:9
Make-A-Wish基金 6:9
Starlight Starbright子供基金 6:10
Special Wish基金 6:10
The Dream Factory 6:10
Give Kids the World Village 6:10

利用できる支援サービスおよび援助について学び、ご家族でお役立てください。詳しくは、モジュール6をご覧ください。

注 記

入門

モジュール1への入門

子供をお持ちの親の方々が、自分の子供に関する子育ての手引書を希望しています。特別な障害をお持ちの子供の親の方々にとっては、そうしたい気持ちは大きいでしょう。子供の障害について学び、医療上の教育専門家と接するときは、あなたが自分の子供に関する専任者であることを念頭においてください。直面する課題で圧倒されることや、多くの疑問があるかもしれませんが、自分の子供をあなたが知っている以上にわかっている人はいないのです。このモジュールをガイドとして使用して、自分が抱えている問題の解決策や疑問点への答えを見つけてください。あなたは一人ではありません。

子供の発達が遅いまたは子供に障害があると感じる場合

自分の子供が他の子供のように発達しているのかどうか、疑問に思う場合があるでしょう。それが第一子である場合、子供が自分に微笑むべきであるとか、お座りをしたり歩いたりし始めるべきであると感じることがあるかもしれません。友達の子供がすでに片言で話すようになったり、何かに向かって指差しをしているかもしれません。もうすでに子供を育てたことがある場合、この子はお兄ちゃんやお姉ちゃんとは発育の程度が違うと心配する場合があるでしょう。

自分の子供の発育が遅れていることに気づく親がいるかもしれませんが、子供が「遅れを取り戻す」ことを願いながら、助けを求めることをためらう場合があります。乳児や小児の発育に疑問がある場合や心配事がある場合は、小児科医に会って相談することをお勧めします。自分が観察した内容や心配事は確実に共有するようにしてください。子供に障害があったり発育が遅れている、または障害があったり発育遅れの危険性が高い場合があるかもしれません。

発育遅れとは、乳児や小児が同年代の子供たちより発育のペースが遅い場合です。たとえば、他の子供たちのように歩くことや話すことができないかもしれません。「危険性が高い」とは、追加的な支援や指導がないと、子供の発育が遅れる場合があることを言います。自分の乳児や小児の子供に遅れや障害があると思われる場合は、評価やテストが別に必要な可能性があります。掛かりつけの医師が、専門医またはコンサルタントを紹介するかもしれません。発育が懸念される場合は、子供が早期介入サービス（EIS）の適用資格があるかどうかを確認することもできます。

出生後3歳まで

1

親から親へ

「診断直後の2、3年は、悲観的な将来像に悩んでいましたが、やっと大丈夫であると思えるようになりました。」

Louiseさん、バージニア州Quantico在住の自閉症を患う息子さんの母親

親によって異なる感じ方の違い...

拒絶感

拒絶感は、何であれ喪失したときに自然に感じるものです。障害または重病をかかえる子供があることを知ったばかりの新たな他の親たちと同様、普通の健康な子供を持つ夢が断たれたことを考えると、最初は喪失感を伴います。自分の子供を診断してもらうときは、セカンドオピニオンが欲しいと感じるかもしれません。

罪悪感

自分が何かをした、あるいはしなかったことで、子供の機能障害の原因になったことについて、親が自責の念を感じることは珍しいことではありません。自分の妊娠時を振り返り、自分がしたことが子供の障害や病気の原因になったのかもしれないと思う母親にとっては、罪悪感は特に難解なものです。

怒り

健康だと予期していたはずの子供に障害があると分かったときに、自然に怒りがこみ上げる場合があります。怒りを感じる一方で、「なぜ私が？　なぜうちの子が？」と自問自答するかもしれません。多くの親がこれらの怒りの気持ち持つことで、自分たちを活気付け、子供に最善を尽くすことができることを心に留めてください。

悲しみ

子供のために思い描いていた将来が決して実現できるものではないと悟ったときに、悲しみや失望感に襲われることは避けられません。悲しみは自然にこみあげてくるものです。

心配や恐れ

障害があるか、慢性疾患のある子どもと向き合うのは、心身が消耗し、戸惑いを感じます。将来について、また良き親としての自分自身の能力について心配することは一般にあることです。

受け入れることと希望を持つこと

激しい感情の起伏が安定することもあるようになります。子供は依然として特別な支援が必要ですが、自分の子供の健康状態を深く理解するようになり、子供に上質の愛情のこもったケアができることに気づきます。子供が普通の子とは異なるかもしれませんが、愛情のあふれた、かわいい子であることを悟ります。

親ができることは何か?

子供の健康状態を学ぶ

- 図書館やインターネットで子供の健康状態に関する情報を検索します。
- 子供の健康状態に関して質問がある場合は医者に問い合わせます。
- 日々の生活を送る中で、質問が思い浮かんだら書き留めておきます。
- わからないことがあっても、わからないことを恥ずかしがらないようにしてください。
- 障害に固有の書籍については、Military OneSourceオンラインライブラリ(www.militaryonesource.com)をご覧ください。

STOMPプロジェクトに問い合わせる

軍部の親の方々向け特別トレーニング（STOMP）プロジェクトは、軍部の家族のための貴重な援助です。子供が直面するかもしれない特別な課題の有無にかかわらず、軍に属する親の方々は支援およびアドバイスが受けられます。

意見交換の場に参加して、特別支援を要する子供をお持ちの他の親の方々に連絡をとることを希望される方は、www.stompproject.orgをご覧いただくか、（800）5-PARENTまでお電話ください。

他の親の方々と連絡をとる

あなたは一人ではないことを理解してください。軍事施設の例外的なファミリーメンバープログラム（EFMP）オフィスは、同様の課題に直面している軍に属する家族と連絡できるよう支援を致します。

最寄りのEFMPオフィスを見つけるには、www.militaryinstallations.dod.milをご覧ください。

お住まいの州の親の方々向けトレーニングとインフォメーションセンターを探す

親の方々向けトレーニングと情報（PTI）センターはすべての州に設置されています。PTIセンターは、あらゆる種類の障害のある子供を持つご家族にサービスを提供しており、子供たちが適切な教育を受けられるように支援します。PTIセンターは親の方々や専門家を訓練し、学校と家族間に存在する問題解決にもあたります。

お住まいの州のPTIセンターをお探しの方は、www.militaryhome-front.dod.mil/tf/efmp/resourcesをご覧ください。「State Resources（州の援助）」をクリックし、次にお住まいの州のリンクを選択してください。

海外では、軍部は配属地域の責任を果たします（たとえば、海軍は日本および沖縄で適用資格のあるすべての子供に支援する責任があります）。

早期介入

早期介入サービスとは何か？

EISとは、一般に、発育の遅れや障害を持つ、出生後2歳までの乳児と幼児、およびその家族の必要を満たすための特別サービスのことをいいます。これらの特別サービスおよび支援によって、子供の成長や発育が支援されるほか、子供および家族が生活し、学んでいく「自然環境」が提供されます。

1986年、国会で特別支援を要する子供およびその家族に援助をすることの重要性が認識され、1975 全障害児教育法の修正案が可決されました。この修正案は、適用資格のある障害または発育遅れのある子供は、学童の年齢に達する前に必要なサービスおよび家族への支援を受けられることを保証しています。今日、個別障害者教育法（IDEA）のパートCでは、国防総省だけでなく全米50州と管轄区域が、出生から3歳になるまでのすべての障害児を対象にしたEISの制度を確立することを命じています。

州の制度では、EISについて言及する際は、「パートC」という表現を使用します。「パートC」は、EISに関するIDEAの特定の項を言及しています。州にはそれぞれ、早期介入制度を担当する機関または法務局が1つ設置されています。法務局に相当する機関は、州の教育省、保健省、またはその他の指定機関です。IDEAについて詳しくは、http://idea.ed.govをご覧ください。州の法務局の一覧については、www.nectac.org/contact/Ptccoord.aspをご参照ください。

一般に、軍部の家族は、州管轄下の機関からEISが受けられます。ただし、国防省教育本部（DoDEA, Department of Defense Education Activity）養成学校の管轄下の米国内の軍所在地では、軍医療機関が教育育成介入サービス（EDIS）を介してEISを提供します。

EDISプログラムの所在地は、MilitaryINSTALLATIONSのWebサイトにて検索することが可能です。www.militaryinstallations.dod.milをご覧ください。

早期介入サービスへの紹介が受けられる仕組み

掛かりつけの医師が子供の発育に懸念を示している場合は、お住いのコミュニティのEIS連絡先を紹介してもらえる場合があります。EISは、発育の審査と評価を行い、子供がサービスの適用資格があるかどうかを判断する責任を負っています。これらの発育審査は、「子供理解」のための活動の一部です。

「子供理解」は、社会の認識活動、発育審査、および評価の組織的なプロセスです。これらのコミュニティ活動は、できるだけ早期にEISが必要とされる、発育の遅れまたは障害のある乳児や幼児、およびその家族を見つけ、識別して、紹介することを目的としています。子供がEISの適用資格があるかどうかを判断するための、この「子供理解」審査または評価は、無料で受けられ

ます。「子供理解」について詳しくは、www.childfindidea.orgをご覧ください。

かかりつけの医師がEISプログラムを紹介してくれない場合でも、自分でEISに問い合わせをし、子供の発育に関する懸念事項を説明することができます。州の連絡先は、www.nectac.org/contact/Ptccoord.aspから確認できます。

その他の親の方々向けの援助については、www.taalliance.orgをご覧ください。

海外、またはDoDEA養成学校管轄下の軍所在地にお住まいの場合は、EDISプログラム、または最寄りのEFMPオフィスに問い合わせて支援をお受けください。

サービスコーディネーターおよび評価プロセス

EISプログラムに問い合わせを行い、子供がサービスにいったん紹介されると、支援を担当するサービスコーディネーターが割り当てられます。通常は、子供は総合評価が必要かどうかを判断するための発育審査を受けることになります。担当のサービスコーディネーターは、結果について話し合いを行い、子供が適用資格を認められた場合にサービスプランの作成を開始するときの問い合わせ先になります。

多数の専門分野の総合評価を行い、子供の長所、発育の遅れ、または課題を見つけ、子供がEISの適用資格があるかどうかが判断されます。多数の専門分野では、多くの分野の訓練を受けた経験豊富な資格のある専門家が子供の評価の実施に関わることが必要です。子供の能力の評価は、一般に、子供の発育のほか、好き嫌いに関する懸念事項について話し合うために、親または介護人と面談することから構成されています。子供の医療履歴と発育履歴、現在の健康状況、および発育評価のレビューについても話し合われます。子供の発育状態を判断するためには、以下の5つの分野を評価します。

- 適応能力/自立（食事、身支度、お漏らしなど）
- 社交性/感情の発育（遊びや他者との関係など）
- 伝達能力（話すこと、聞くこと、および理解の度合など）
- 身体の発育（手を伸ばすこと、回転、はいはい、歩行など）
- 認識力の発育（思考、学習、問題解決など）

家族の援助、優先順位、および懸念事項も特定されます。これらの情報は、どの支援とサービスが子供の発育の必要を満たすかを判断するのに役立ちます。

お近くの早期介入プログラムを見つけるには、国立障害児播種センターにお電話（800）695-0285でお問い合わせください。

サービスコーディネーターは、ご家族と共に協力し、確実に、適切な評価が実施され、個人別ファミリーサービスプランのサービスが運用されるように導きます。また、子供が3歳に達すると、早期介入サービスなしでも過ごせるように移行する支援も行います。

早期介入サービスの適用資格が得られるには？

EISに参加するためには、子供は、乳児および幼児向けサービス用のIDEA適用資格ガイドラインを満たしている必要があります。出生後2歳までの乳児および幼児は、以下の基準を満たしている場合にサービスが適用されます。

- 高い確率で発育の遅れにつながる健康状態であると診断された場合
- 次に挙げる領域の一つ以上に発育の遅れがある場合：適応/自立能力、社交性/感情の発育、伝達能力、身体の発育（視力や聴力も含む）、または認識力の発育（適切な評価、手順、および基準に基づいて測定されている場合）
- EISのサービスが受けられない場合に、発育に遅れが出る危険性が高いとみなされた場合

州ではそれぞれ、IDEAの基準を満たすようにEIS適用資格ガイドラインを設定しています。州が定める発育の遅れについての定義、および発育遅れになる可能性のある健康状態の一覧は、州によって異なるため、EISの適用資格は州によってさまざまです。ある州でサービス適用資格のある子供も、別の州では適用資格がないかもしれません。さらに、州によっては、発育遅れの危険性が高い乳児および幼児、およびその家族に対してEISを提供するところもあります。IDEAによる障害の定義について、およびお住まいの州の早期介入の適用資格のある基準について詳しくは、お住まいの州のパートCコーディネーター（www.nectac.org/contact/Ptccoord.asp）にお問い合わせください。

適用資格を定めるミーティング

評価が終了し、すべての追加情報が収集されたら、適用資格を定めるミーティングが持たれます。親とサービスコーディネーターが、このミーティングの時期を決定します。このミーティングによって、子供の評価に関わった専門家と評価結果について話し合うことができます。評価結果は、子供がEISの適用資格があるかどうかを判断する適用資格基準と比較されます。質問をしたり、懸念事項を伝える機会が与えられます。

子供に早期介入サービスの適用資格がない場合

子供がEISの適用資格対象外となり、子供の育成について尚も心配事が解決されない場合は、小児科医に連絡して、心配が止まないとを伝えることが重要です。他に利用できる支援およびヘルプの援助先を紹介してくれる場合があります。

個人別家族サービスプラン

子供が適用資格基準を満たしており、EISの適用資格があると判断された場合は、親と、サービスコーディネーター、サポートチームの他のメンバーがミーティングを行い、個人別家族サービスプラン　（IFSP）を作成します。このプランによって、子供の現在の発育レベル、子供に達成してもらいたい成果、およびこれらの結果を達成する際に親と子供を支援するサービスとその他のサポートが特定されます。

子供の必要を満たすための最良の方法は、家族の絆を支援し、家族の絆のうえに成り立っていることを、早期介入サービスのプロバイダーおよび家族が理解することが重要です。EISは、毎日繰り返される行動や活動における子供の動作に関して家族の必要を支援します（家族の自然環境など）。

IFSPに含まれるものは次のとおりです。

- 家族の援助、優先順位、および心配事に関する情報
- 子供と家族が達成を望んでいる成果または結果
- 必要なサービス内容
- サービスの提供頻度
- セッション数と各セッションの継続期間
- セッションの実施場所
- サービスの提供方法（個人別、コンサルティングなど）
- サービスが提供される自然環境に関する説明
- サービスの調整および入手を支援するサービスコーディネータの氏名
- 子供が3歳になったらEISを受けないで過ごせるように移行するプラン

IFSPは、発育過程の重要な貢献者である親と一緒に作るファミリープランです。

他のEISチームメンバーが参加するか否かは、子供と家族が、子供の成長と発育の支援を希望する内容によって異なります。

家族は子供のサービスコーディネーターと一緒に、内容の記述を定期的にレビューして、IFSPの成果を満たすような発達があることを確認し、必要に応じてプランを改訂または更新します。

適用資格を定めるミーティングで　子供がサービスの適用資格があるかが決まります。

ご存知ですか？

個人別家族サービスプランは、家族に重点を置くことを目的としています。このプランは、子供の必要に取り組むだけでなく、子供の支援と奨励に尽力している家族を支援することが目的です。

EISが開始されるまでの期間

IDEAは、EISに適時連絡するように定めています。子供のIFSPは、初めてEISプログラムに連絡した日から45日以内に作成する必要があります。すなわち、45の暦日以内に、総合評価が終了し、適用資格を定めるミーティングが行われて、IFSPを作成しなければなりません。

サービスの種類

IFSPは、どの種類のサービスが子供と家族の必要を最も支援できるかを定めます。IFSPには、以下に関連するサービスと支援が含まれます。

- サービスの調整（家族を支援し、かつ家族が権利、手続き上の保護条項、EISを受けられるように、サービスコーディネーターが実施する継続的な手続きのこと）
- 家族のトレーニング、カウンセリング、および家庭訪問
- 特別な説明
- 音声言語病理学サービス（言語療法とも呼ばれる）
- 言語病理学サービス（聴覚障害サービス）
- 作業療法
- 理学療法
- 心理学上のサービス
- 医療サービス（診断または評価の目的のみ）
- 医療サービス（子供が他のEISからサービスを受けられることが必要）
- 社会事業サービス
- 視覚上のサービス
- 補助技術装置と補助技術サービス
- 輸送
- 栄養サービス

ご存知ですか？

子供の成長の研究によると、人間の学習と成長は、就学前の年齢が最も速いことが分かっています。最も準備が整った、学習意欲が最も盛んな時または段階を利用できない場合には、子供は、成長してからでは特別な技能を習得するのに困難を覚えることがあります。

サービスの提供方法

EISは、法律により設置することが定められています。全米50州、米国領土、およびDoD養成学校が設立されているDoDの所在地で利用できます。EISのプロバイダーに含まれるのは、療法士、子供育成スペシャリスト、社会事業者、または多種多様な機関に属する他の専門家などです。プロバイダーは、子供と家族の必要を満たすため、IFSPの成果に関して家族と協力して働きます。EISは、親と子供が圧倒されることがないように、単一のプロバイダーが提供することや、スペシャリストのチーム、あるいはサービスを調整する各種のプロバイダーが支援する場合があります。最大限の範囲内で、子供が生活し、学習する場所、すなわち、自宅や、託児所、公園、店舗内で子供の家族および介護人と一緒にいられる場所でサービスが提供されます。

移行プラン：子供が3歳になったらどうするか

一般に、子供が3歳になる6か月前に、サービスコーディネーターおよびEISプロバイダーは、子供が3歳の誕生日を迎えてからも子供が利用できる可能性のあるサービスオプションについて相談します。子供によっては、EISのみが必要であり、継続のサービスまたは支援の必要のない場合があります。

子供がEISを始める前に、子供はこれらのサービスの適用資格がある必要がありました。子供はIDEAと一致して、州/プログラム適用資格基準を満たしている必要がありました。子供が3歳になったときに同様の内容が適用され、学校特別教育サービスに対して検討されることになります。子供は、サービスおよび支援の適用資格を得るためには、州の基準を満たしていなければなりません。

就学前とそれ以降の期間、一部の子供には継続サービスが必要な場合があり、学校特別教育サービス（パートB）に移行します。子供が地域の教育機関が提供する特別教育サービスの適用資格がある場合は、親は、子供個人の必要と能力に基づいて提供されるサービスを決定する、特別教育チームの一員になります。

子供がEISから移行するプランに関わる場合は、親が記入すべき複数の書類、調整する評価、または参加の必要があるミーティングが数多くあります。その結果、子供の適格性、選択肢、将来の必要、または受けられるサービスに関して多くの疑問点が浮かんでくるでしょう。サービスコーディネーターが、これらの質問の一部に回答できる場合もあれば、懸念事項に取り組めるスペシャリストに問い合わせをする場合があります。詳しくは、www.nichcy.org/babies/transitionをご覧ください。

ご存知ですか

親は、子供がサービスを受けるのに自然環境を選択する場合があります。それは、自宅、託児所であったり、別の場所であるかもしれません。

親から親へ

「支援を求めることがりっぱな母親でないことを意味しているのではないと気づいたら楽になりました。」

Karenさん、ワシントン州Ft. Lewis在住の、ダウン症と感覚間統合機能障害を患う娘さんの母親

子供に学校特別教育サービス（パートB）の適用資格がない場合

子供が学校特別教育サービスの適用資格基準を満たしていない場合、その子供の成長と発育は、同年代の他の子供たちと近づいたことになります。ただし尚も子供の発達や成長について心配である、または別の情報および支援が必要な場合は、EISサービスコーディネーターがお住まいのコミュニティの追加援助に関する情報を提供することができます。

擁護者としての親の役割

どの早期介入および教育サービスと支援によって子供の成長および学習が可能であるかを判断するために、法律によって、親は、IFSPチームの一員として参加する権利が与えられています。子供の利益になるようにこれらの権利を利用する方法がありますか？子供の擁護者になる方法について詳しくは、モジュール５、*子供を擁護する方法*をご覧ください。

支援

軍人と家族には、子供を支援する多くのグループおよび機関が割り当てられています。利用可能な援助を活用してください。あなたは一人ではありません。サービスに熟知した人々が支援できる体制で待機していることを思い出してください。モジュール6、*援助および支援*では、連絡先一覧、支援グループとの連絡方法、およびその他の支援および情報源について説明します。

詳細情報

乳児と幼児の発育および成長のマイルストンについて詳しくは、以下のWebサイトをご覧ください。

- www.nncc.org/Child.Dev/mile1.html
- www.MilitaryOneSource.com/birthtotwo
- www.aap.org

この親のためのツールキットの、その他のモジュールについて読むまたはダウンロードする場合は、http://militaryhomefront.dod.mil/tf/efmpをご覧ください。

- モジュール2、*特別教育*
- モジュール3、*医療福祉手当*
- モジュール4、*移行時期の家族*
- モジュール5、*子供を擁護する方法*
- モジュール6、*援助および支援*

発育の遅れまたは障害を持つ乳児や幼児の親の方々にとっては、以下の援助が特に役に立つでしょう。

HOMEFRONTConnections

DoDソーシャルネットワーキングサイトのHOMEFRONTConnectionsは、特別支援を要する軍部の家族がオンライン上で出会って交流し、体験談を分かち合う、写真やビデオを投稿する、ブログを書くことや、意見交換ができるセキュリティ保護された場所を提供します。すでに存在するグループに参加したり、あなた自身のグループを作ってみてください。HOMEFRONTConnections（https://apps.mhf.dod.mil/homefrontconnections）をご覧ください。

親の方々向けトレーニングと情報センター

それぞれ州には、出生後22歳までのあらゆる障害を持つ子供と若者を持つご家族を支援する目的で、PTIセンターが1機関以上設立されています。PTIセンターでは、情報、トレーニング、紹介、およびアドボカシーサービスを提供し、お住まいのコミュニティで必要な援助が得られるように親の方々を支援しています。お住まいの州のPTIセンターは、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/resourcesからお探しください。「State Resources（州の援助）」をクリックし、次にお住まいの州のリンクを選択してください。

国立障害児普及センター

国立障害児普及センター（NICHCY）は、教育省の出資で設立されており、障害を持つ子供と若者に関する豊富な情報が英語とスペイン語で用意されています。乳児と幼児、および特定の障害に関するEISについて詳しくは、Webサイトwww.nichcy.orgをご覧ください。

軍部の親の方々向け特別トレーニングプロジェクト

STOMPプロジェクトは、特別教育または医療サービスが必要な子供の軍部の親の方々への教育とトレーニングを行う目的で設立されたPTIセンターです。STOMPは、情報、支援、およびアドバイスを提供し、軍部の家族を支えます。STOMP（www.stompproject.org）をご覧ください。

親の方々は、自分の子供について一番理解しており、早期介入プロセスで支援可能な毎日の活動について不可欠な情報を共有することができます。

注 記

入門

モジュール2への入門

自分の子供が特定の障害を負っている、または学習障害があるのではないかと疑われる場合、どう対処していいかが分からないことがあります。特別教育制度を利用する方法を学ぶのは、どの家族にとっても困難ですが、教育環境が常に変化する軍部の家族にとっては、さらに大きな課題となりえます。自宅、学校、および近隣の環境が頻繁に変化する軍部の家族の子供にとって、親が一定の要因になります。この制度について学び、専門家と情報をやり取りする際は、あなたが自分の子供に関する専任者であり、他の人が自分よりその子供についてより多くの知識があるわけでも、興味を持っているるわけでもないことを念頭においてください。

個別障害者教育法

個別障害者教育法（IDEA）は、全米、米国領土、および特別支援を要する子供を教育する国防総省の学校組織を導く特別教育の法律です。IDEA（パートB）では、3歳から21歳までの障害児向けの教育要求事項を確立し、学校組織が満たす必要のある6つの原則を定義しています。

1. 無償の適切な公教育（FAPE） — 公共機関の監視および指示による公費による教育
2. 適切な評価 -- 子供の教育の必要を決定し、子供への適切な教育プログラムに関する意思決定を導く支援をするために必要な情報を収集
3. 個別教育プログラム（IEP） — 障害児の個人の必要を満たす目的で作られた教育プログラムの記述
4. 最も制限の少ない環境（LRE） — 障害児が、その子供に特別な必要を満たす目的で作成された適切な教育を受けられる設定。この設定では、補助や支援があっても、障害の性質により、子供が一般教育学級で満足のいく発達を示すことができない状態であるときには、その子供だけが障害のない同年代の子供と確実に分離されます。

5. 意義深い参加ができるようにする機会 — 親と生徒にとって必要な場合の特別教育全プロセス

6. 手続き上の保護条項 — 子供と親の権利が保護されることを保証し、議論に取り組むために明確な手順が確立されることを保証すること

IDEAは、特別支援を要するすべての子供がFAPEを利用できることを保証するものです。また、子供と親の権利が保護されることを保証することに加え、子供が自分の教育目標を満たし、子供の発達の評価ができる必要なツールを教師や親が確実に保有できるようにするものです。IDEAについて詳しくは、http://idea.ed.govをご覧ください。

特別教育プロセスの主要構成要素

子供が学校教育で問題を抱えている場合、その理由を知ることが重要です。図2-1に示すとおり、特別教育プロセスは、子供が、障害児であり、特別教育や関連サービスが必要であると特定されるプロセスです。このプロセスの重要な構成要素はそれぞれ、2:4ページで詳細に説明します。

図2-1：特別教育のサイクル

「子供理解」

「子供理解」は、州およびDoDが使用している継続的なプロセスであり、出生から21歳までの子供と若者が、発育の遅れや障害があるために、特別教育と関連サービスの適用資格がある可能性のあるこれらの子供と若者を特定するプロセスです。子供個人の必要を満たす目的で作られたFAPEへの権利がすべての障害児に与えられることを公に知ってもらうために、すべての学校は、「子供理解」の一部として啓蒙活動を実施する必要があります。

子供が心配な場合には、学校に問い合わせて、「子供理解」についての情報が得られるように申請し、必要に応じて審査してもらうようスケジュールします。「子供理解」の審査によって、疑われる障害を評価してもらうために、学校の特別教育委員会に正式に子供を紹介してもらえるようになります。

事前紹介の介入/学校介入チーム

子供が教育目標の達成に困難を覚えていると感じる場合は子供の教師に連絡してミーティングを持ち、心配事項について相談します。教師と面談することで、子供が学校でうまくやっていける方策が得られる機会が与えられます。さらに、子供の学校の介入チームは、親の懸念事項をレビューすることや、子供が学級で体験するあらゆる困難に取り組むために教師が実施可能な手順や訓練について追加で推奨することを求められる場合があります。

学校の介入チームは、学校支援チーム、生徒/スタッフ支援チーム、生徒介入チーム、または問題解決チームなど、さまざまな名前を持っています。このチームの重点領域は、教師やその他のプロバイダーと協力して、子供が短所とする領域を特定するほか、子供が成功する機会が増えるように介入を計画し、苦労している生徒に対して早期介入支援を提供することです。これらの介入が功を奏すれば、特別教育に正式に紹介する必要はありませんが、子供に発達がみられない場合、学校の特別教育委員会に紹介されることになります。

手続き上の保護条項

手続き上の保護条項とは、障害児とその親の教育の権利と責任を定めているIDEAに含まれる要求事項一式のことです。保護条項は、障害児にFAPEを提供することを保証する基盤となります。

IDEAは、特別教育プロセスのすべてのステップに親が含まれることを定めています。「手続き上の保護条項には、以下のように確実に親が対応するべき事項が盛り込まれてます。

- 子供の評価および教育の配置に関するミーティングに参加する
- 子供が評価される前に書面の承諾書を提出する
- 評価結果を見ることができる
- 子供の成長と育成に関して意見する

ご存知ですか ?

州にはそれぞれ、親トレーニングと情報センター、および保護と擁護機関が1組織ずつ設置されています。これらの2つの組織では、公立の学校組織で子供を擁護する方法を学ぶことができます。関心をお持ちの場合は、これらの機関にお問い合わせください。州の機関をお探しの場合は、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/resourcesおよびwww.napas.orgから検索してください。

学校組織では、親が理解できるように連絡し合える必要があります。親にとって英語が第2言語である場合、学校からの連絡文書は学校の他の人物が読んで説明します。

- 異論があるすべての結果について質問できるように、学校の代表者との対応が可能である
- 特別教育と関連サービスの提供について承諾する
- 子供の記録を確認する機会がある
- 学校が特別措置を受け入れるまたは拒否する前に事前の書面による通知を提出する

評価を受ける前は、評価プロセスをどう感じるかについて信頼する友達に話したい場合があるでしょう。疑問点や懸念事項を書き留めておき、評価者に連絡するか、評価委員会でお尋ねください。

紹介

特別教育委員会への紹介は、特別教育プロセスの正式な第1ステップです。親、子供の教師、子供の教師もう1人、医療機関、または、発達不足が分かる、または学習を妨げる身体的または行動上の問題の兆候が分かる、子供に精通しているその他のプロバイダーが、紹介者になることができます。一般に、紹介は、書面で提出され、ほとんどの学校には特定の紹介フォームが用意されています。

紹介が行われたら、特別教育委員会が開かれ、当該子供に対してすべての総合評価が必要であるかどうかが判断されます。特別評価委員会で評価が必要であると判断された場合は、学校は、子供を評価するために書面による親の承諾を要求します。書面による親の承諾がない限り子供を評価することはできません。

評価

評価とは、子供の長所と短所の領域を特定し、特別教育サービスの適用資格を判断するために、学校組織が使用するテストと手順の一式です。評価では、親が提出する情報を含め、子供について関連する機能上の、発育の、かつ一般教養情報を収集するために多種多様な評価ツールと方針を使用する必要があります。最初の評価を実施する際には、プロバイダーは、疑われる障害、および子供の教育上の評価や必要の総合的な評価を実施します。評価では、子供の教育が無事に進むのを妨げる場合のある要因への洞察がなされます。

子供の以下の領域の機能が評価されます。

- 一般教養 — 読解力、算数、言語科目、および一般情報の領域における現在の成績水準
- 認識 — 思考力（推論能力、記憶力、および理解力）
- 行動 — 注意力、他の子供や大人との関係の質、家庭や学校、その他の設定での子供の行動
- 身体 — 視力と聴力の鋭さ

- 成長 — 言語の理解力と対応能力、社会的な感情のレベル、運動性、および整理整頓能力などの領域における発達
- 発話と言語 — 受容言語（聞いた内容の理解力）、および表出言語（他者を理解させる能力）

既存のデータのレビューは、チームが子供の長所と必要を理解する助けとなる評価プロセスで使用する新たな情報源となります。既存のデータのレビューとしては、子供の学級での成果、州と地域で実施された評価の成績、親が提供した情報、教師による観察内容、およびその他の情報源などがあります。

IDEAは、学校組織では以下について確実に手順が確立されることを定めています。

- 評価は、子供、および子供に疑われる障害に関して適切なものであり、文化的な偏見がないこと
- 評価は、できる限り、子供が最も使用する言語で実施されること

親は自分の子供についてわかっており、子供について親が思っていることを共有することが重要です。実際に、親の意見がない場合は、学校は、子供の性格や能力の全体像を知ることができません。教師や専門家に、自分の子供の短所の領域について話すことは気の進まないこともありますが、親の視点がない限り、学校組織はあなたの子供を完全に理解することも、遅れのある領域を乗り越えるまたは最小限にする手助けを行うことができません。

評価に対する親の承諾は、子供が特別教育サービスを受けるための承諾ではないことに留意してください。学校は、サービスを提供する前に、状況をよく説明して相手の同意を得る必要があります。

適用資格

評価が終了したら、親と特別教育委員会のメンバーが参加するミーティングのスケジュールを立てます。このミーティングの目的は、評価結果をレビューすることに加え、評価結果とIDEAに定義されている各種の障害の定義内容を比較することと、子供が特別教育と関連サービスの適用資格がある障害を持っているかどうかを定めることです。

ご存知ですか？

特別教育の最初の評価は、お住まいの州に異なる期間が確立されていない限り、親の承諾後60日以内に完了する必要があります。

•

評価は、子供の特別教育の必要と長所を測定するために選択されます。

•

評価は、さまざまなツールから構成されている必要があります。単一の測定だけでは、子供が特別教育の適用対象かどうかを判断できません。

評価委員会と適用資格を定めるミーティングは同時に開くことができます。

特別教育と関連サービスを受ける子供の適用資格は、確立されている基準に基づきます。IDEAは、子供が、障害児であると決定できる障害のカテゴリを13個特定しています。以下の障害があれば、子供に障害があるという理由で、教育プログラムのサービスが受けられるように、特別教育を求める子供に適用資格が与えられます。

- 知的障害
- 聴覚障害（難聴を含む）
- 視覚障害（失明を含む）
- 耳が不自由/失明
- 音声言語障害
- 情緒障害
- 自閉症スペクトラム障害
- 外傷性脳損傷
- 整形外科的障害
- 特定の学習障害
- 発育遅延（一般に3歳～9歳の子供）
- その他の健康障害
- 複数の障害

DoDに加え、各州でもこれらの障害について独自のカテゴリーおよび定義がありますが、IDEAの規定に沿っている必要があります。

個別教育プログラム

子供がIDEAによって、「障害児」であると定められ、特別教育と関連サービスが必要である場合、親と学校はIEPを作成します。IEPは、子供が教育プログラムで順調に進むように求められている、関連サービスを含む、特別にデザインされた指示の要点をまとめた書面のプランです。州によっては異なるスケジュールを設けている場合がありますが、一般に、子供がIDEAの一覧のとおり特別教育と関連サービスが必要な障害を持つと定められてから、IEPを30歴日以内に作成します。

「最初から、積極的であることは必ずしも醜いことではないとわかっていたらよかったと思います。実際、頭ごなしに命令するより穏やかに頼んだ方が引き受けてもらえる可能性が高いのです。」

Adrianaさん、アリゾナ州Ft. Huachuca在住のダウン症と視覚障害を患う娘さんの母親

親から親へ

IEPミーティングに活発に参加して、子供の年間の必要、サービス、および目標を特定してください。

個別教育プログラムとは？

法律では、IEPには、子供に特有の必要を満たすためにデザインされた子供と教育プログラムに関する以下の情報が含まれている必要があることを定めています。

- 学業成績および教育上の評価の現在の水準に関する詳細
- 子供が1年で妥当に到達可能な年間目標
- 子供に提供する特別教育と関連サービス
- 子供が、通常のクラスまたは学校の活動で健常者の子供と一緒に参加する範囲
- 修正がある場合に、州全体および地域全体のテストで修正を入れる内容。これらのテストに子供の参加が適切でないと定められている場合は、IEPでは、その理由を説明し、テストの代替の形式を説明する必要があります。
- サービスの開始と終了の日付、およびサービスの提供場所
- 16歳を超える子供の移行サービスの必要（または必要に応じてさらに若い年齢も対象可）、中等教育後の目標を子供が達成するためにとるべきコースの概要
- 子供の進歩を測定する方法、および親に進歩を報告する方法の説明

さらに、子供は18歳の成年に達する1年前に子供に委譲される可能性のある権利について通知を受ける必要があります。

ミーティングの参加者

次に挙げる人たちがIEPミーティングに参加する必要があります： 親、子供の一般教育クラスの教師（子供が一般教育学級に参加している、またはその予定の場合）、特別教育の教師、および特別教育と一般カリキュラムに精通し、学校援助に最大限尽力できる管理者。ときどきスペシャリストおよびその他の教育者が参加します。親が子供の中等教育後の移行の計画を始める場合は特に、子供を出席させることが適切な場合があります。

	適用資格とIEPミーティングのチェックリスト
✓	これまでに明らかになっているすべての質問
✓	前の評価のコピー
✓	子供が参加した場合の、早期介入サービスのレコード
✓	適切な医療記録
✓	記録用の用紙とペン
✓	必要に応じ、精神的援助のための友人や家族

個別障害者教育法のもとでは、障害を抱えているだけでは、自動的に特別教育サービスの適用資格がある子供とはみなされません。このサービスが必要な場合は、まず、子供の評価を行う必要があります。

IEP記録文書をまとめる方法

文房具：

- ✓ 筆記帳（3つ穴）
- ✓ 3つ穴パンチ
- ✓ 蛍光ペン
- ✓ 付箋
- ✓ #10封筒
- ✓ 切手
- ✓ バインダー用仕切り
- ✓ カレンダー
- ✓ 電話の記録

文書：

- ✓ 子供の学業成績のコピー一式を申請します。

2:19ページの標準化された書簡を参照してください。毎年、子供の写真集に学校の写真を加えて、写真集の作成を始めてください。仕切りのラベル付けをして、次のように情報を整理してください。

- ✓ 評価
- ✓ 個別教育プログラム
- ✓ レポートカード/中間報告
- ✓ 学業成績、診療録、予防接種
- ✓ 規律記録
- ✓ カレンダー
- ✓ 通話記録
- ✓ 学校組織への連絡文書
- ✓ 学校組織からの連絡文書
- ✓ 住所
- ✓ 療法士の氏名と連絡先

あなたは、親としてIEPミーティングにたいへん重要な視点を提供します。親が自分の子供について分かっているのですから、親の知識が、学校が子供に最も効果的なIEPを作成する助けとなるのです。ミーティングに配偶者や友人を同伴することができます。同伴者の役割をミーティングで説明するとよいでしょう（たとえば、子供に関する別の視点の提供、精神的援助、または別な視点と聞く耳を持つ人物など）。

ミーティングの準備

子供のIEPミーティングでは、学校は、懸念する領域、および子供に特定された長所と短所のある技能に基づき、年間目標を作成します。IEPには、子供が年間目標の達成に向けて進歩を見せているかどうかを判断するための学校が使用する方針を含めます。

ご存知ですか？

個別教育プログラムは、子供が年間に達成しなければならない内容に関する一般的な説明にならないようにしてください。子供に必要な領域が特定され、学校がこれらの必要を満たす方法、対応に要する期間、子供の進歩の測定に使用する方法が説明された詳細な文書である必要があります。

このIEPミーティングと今後のミーティングに向けて準備するためには、少し時間をとって子供の学業成績を整理しておくとよいでしょう。親の多くは、過去の評価、過去のIEP、および学校との連絡文書のコピーを最新の状態にしたIEP記録文書を作成しています。記録文書の作成作業が多すぎて現在はできないと思われる場合には、その作成時間がとれるまでは、特別教育関連のすべての書類を分類するフォルダを作成するようにしてください。

学校がミーティングの前に完成したIEPを提示してくれた場合は、それを草稿とみなし、ミーティング中に参照してください。親には子供のIEPの作成に参加する権利があることを覚えておいてください。

感情のコントロール

子供の特別教育サービスへの適用資格が決定されるミーティングに行くときには、自分の感情に気を付けてください。心配で、神経質になり、または自己防衛過剰になるかもしれません。このミーティングや今後のミーティングでは、これらの感情を伏せるようにしてください。

子供の目標に重点を置いてください。優れた聞き手となり、自分が子供の全体像を理解していることを他のミーティングの参加者に知らせてください。全体像を認識しているからといって、自分がそれに同意していることにはなりません。

子供について、または特別教育サービスの適用資格決定に使用される手順について自分が分からないことを誰かが言っている場合は、遠慮せずに明確に説明してもらってください。たくさんのことを吸収しているので圧倒されることでしょう。尚も理解できない場合は、もう一度尋ねてください。

そのミーティングに参加する前に、子供に関する所見を書き留めておいてください。子供の学習スタイルについて知っていることや、チームに役立つその他の情報を含めてください。子供について提供する情報は、評価記録に記録されます。

どの親も自分の子供にできるだけ最良の教育を受けてもらいたいと思っており、この教育プログラムで進歩するためには子供は特別教育が必要であると悟ることは、悩みの種になりえます。

効果的なプランの書き方 — 子供の必要に重点を置く

子供の教育はたいへん重要であるため、この作業でまた感情的になるかもしれません。子供の必要に重点を置くことを忘れないでください。できれば、子供への教育のオプションについて予定を組んでください。自分の考えに抵抗を感じる場合は、8週間どの程度新たなアイデアが機能するかを試すことを提言してみてください。一致する点を探し、ミーティングルームにいる他の人が、あなたが彼らの視点を理解するように努めていることが分かるようにしてください。感じの良い態度でいる方がミーティングがより生産的になることを覚えておいてください。また、支援してくれている方たちに感謝することを忘れないでください。

学校のスタッフと会話をする際は、冷静かつ、目標に対して積極的に納得するようにし、子供の必要を満たすことに重点を置くと、最も良い形で進むでしょう。

親から親へ

「私は一人では進めません。最も生産的なIEPミーティングは、必要な精神的援助をしてもらったミーティングでした。」

Isabelさん、バージニア州Quantico在住の自閉症を患う息子さんの母親

改良および適応

子供の学習と学級での他の活動を適切に適応および改良することで、多くの障害児の学習体験がより成功に導かれます。適応と改良は、個人の必要、学習スタイル、および子供の関心事に基づくものです。こうすることで、一般的なカリキュラム、およびその他の学習教材や活動を利用し、子供が学習した内容を実際に利用するのに必要なツールが子供に与えられます。

改良とは、子供に教える内容、または子供への期待内容を変更することです。子供が、他の子供と同じ作業水準のことをしないですむように少し宿題を容易にすることなどが改良の一例です。

適応とは、子供が障害を乗り越える、または障害に対処できるようにする変更のことです。書くのが困難な子供に口頭で回答できるようにしてあげるのが、適応の一例です。この子供は、他の子供と完全に同じ教材を理解し、同じ質問に回答することが尚も求められますが、自分が情報について分かっていることを示すために回答を書く必要はありません。

関連サービス

子供が特別教育の効果を有効に利用できるように、子供は、「関連サービス」と呼ばれる追加支援を受けられる場合があります。関連サービスは、障害児に提供される特定のサポートサービスであり、教育プログラムを無事に終了できるように支援するものです。これらの関連サービスを子供が必要かどうかは、評価プロセス、および特定の領域の特別知識を備えた関連プロバイダーによって評価されます。特別教育委員会は、子供が評価結果に基づいて関連サービスが必要かどうかを判断します。このようなサービスは、IEPに含めます。

関連サービスは、無料で提供され、以下が含まれますが、これらに限定されるわけではありません。

- 補助技術装置 — 子供のコミュニケーション、自立、および学習能力を向上させる機器（増強コミュニケーションボードまたはコンピュータソフトウェアなど）
- 補助技術サービス — 補助技術装置を選択、入手、または使用することで子供の直接支援をするサービス
- 聴覚学 — 聴力障害児を特定し、言語能力の改善、発話能力、読唇法、会話、または補聴器の適切な使用法を支援するサービス

ご存知ですか？

学校は、ミーティングに個別教育プログラムの原稿を使用する場合があります。この原稿は、子供を支援するためのサービスを提供する学校のプランについて話し合う第一歩となります。

- カウンセリング — 子供の行動、自制心、および自尊心を向上させるためのもの
- 医療 — 認可されたまたは資格認定された医師によって提供される評価、診断、治療、および監督サービス
- 作業療法 — 書くこと、分類、食べること、および日々の生活向上を支援するその他の技能など、微細運動技能に重点を置いた活動
- 適応指導および運動性 — 目の不自由なまたは視覚障害児が学校、家庭、およびコミュニティの環境において方向性が得られ、安全な活動ができるようにする障害児に提供されるサービス
- 親のカウンセリングとトレーニング — 子供が成長する仕組みを親が理解するための支援、および財政計画やその他の専門サービスを提供可能な他のグループについての説明
- 理学療法 — 粗大運動機能に重点を置いた活動（座る、立つ、および動くなどの大きな身体の動きなど）
- 心理学関連 — 子供および若者が、一般教育の変更および情的変化を満たせるように支援サービスを提供することにより、学習、成長、および発達過程を支援するサービス
- リハビリテーションカウンセリング — 自立トレーニング、雇用準備、職業訓練、および職場への融合
- 学校医療サービス — 子供の教育プランで受けられる子供の支援に必要な介護サービス（投薬治療管理、カテーテル挿入支援、または呼吸治療など）
- 社会事業 — グループ療法または個人療法を提供し、学校において子供の適応に影響を与える場合のある子供の家庭の問題についての支援
- 発話および言語 — 発話および言語障害の診断、治療の提供、および発話問題に関する親および教師のカウンセリング
- 輸送 — 子供のIEPで処方された場合の、障害児が特別教育および関連サービスを受けられるようにするために必要なサービス

配置および最も制限の少ない環境

配置は、学校、学級、および関連サービスなどの子供が教育を受ける環境、および障害のない子供と一緒に過ごせる時間について説明しています。子供の配置の詳細は、IEPで明確に説明されています。IDEAで不可欠な部分は、LREの概念です。子供の障害の理由で、障害児を一般教育学級と切り離すことが必要がある場合にのみ、障害児を別にすることが必要です。

子供の擁護について詳しくは、モジュール5、*子供を擁護する方法*を参照してください。

配置オプション

学校組織は、異なる必要を確実に満たせるように、一連の配置オプションを提供することが定められています。この配置の範囲は、一般教育学級から始まり、特別学科での援助学級や「非参加」クラスの時間、特別教育生徒のみの特別支援学級、私立学校、そして最後に、施設への入所へと移ります。図2-2は、特別教育制度内の配置オプションを示しています。自分の子供が必要とする特定のサービスがわかったら、これらのサービスがどこで提供されるかの質問に取り組むことができます。LREでは、子供に最も優れた教育を提供する方法に重点を置いています。LREでは、IEPで別の調整を求められない限り、できる限り通常通っている近隣の学校で子供が教育を受ける必要があることも示しています。適切な配置が公立学校制度で提供できない場合は、私立の昼間学校または寄宿学校に対して公費で支払われる必要があります。

個別教育プログラムに満足？

IEPに同意する場合は、プラン内容に承諾し、サービス提供に承諾することを示すために、署名してください。疑問が残り、IEPに署名する気にならない場合は、プランを検討する時間を別に設けてもらうように要請することができます。サービスの追加情報が必要な場合があれば、別なミーティングを申請してください。このミーティングでは、以下のオプションがあります。

- IEPの書面に署名して、学校に対してサービスへの同意を示すために承諾することができます。

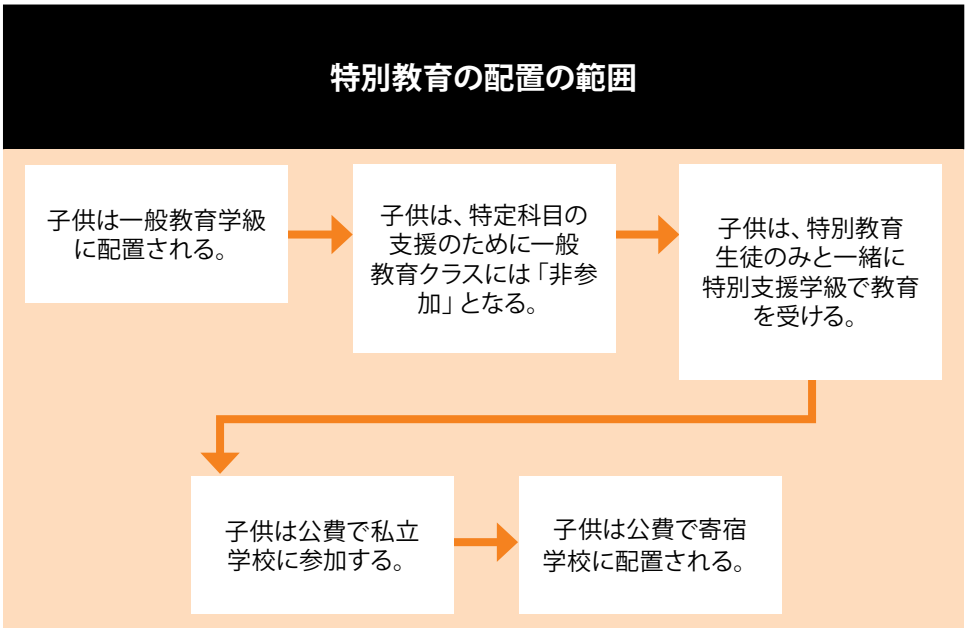

図2-2：特別教育の配置の範囲

- 同意するサービスを特定し、それに承諾し、支援しないサービスがあればそれを示します。子供に対して同意したサービスが開始されます。子供がサービスの提供なしにFAPEを受け取っているかどうかを判断するために、親と学校は、子供の進歩に関する情報を観察して収集する期間を定めることができます。この期間のあとに、IEPチームに会って、最初のIEPミーティングで同意しなかった子供のプログラムとサービスについて話し合います。IEPチームは、サービスの提供に同意して書面上IEPを実施するか、IEPを修正して、当該サービスを外す場合があります。親または学校がサービスの必要に同意しない場合、親は*モジュール5、子供を擁護する方法*に説明のある解決方針を進めることができます。
- IEPに署名しないと決断し、不一致を解決するためには非公式または公式の協調的方針を申請することができます。これらの方針は、*モジュール5、子供を擁護する方法*で説明されています。

含めるものでは、できるだけ一般学級で障害児を教育する学校の目的について言及します。

最終的に得られるプラン

書面のプランができ、子供が安心した日課を過ごせることになった今、教師に、子供のプログラムを実施するための時間を少しとってもらうとよいでしょう。プログラムがいったん円滑に実施されると、授業での子供の成績上の、行動上、および社会的な活動について親と教師との間で協力体制を構築したいと思う場合があるでしょう。親および教師によっては、毎日または週次、記録帳の受け渡しを行い、また電話や電子メールで、または頻繁に会議をすることで連絡を取り合う場合もあります。上記の方法を組み合わせるのがおそらく最良の方法でしょう。できるだけ積極的に行い、子供のために配慮してくれる教師に感謝の気持ちを述べてください。

年次レビュー

学校組織は、子供のIEPを年に1度レビューすることが定められています。これを、年次レビューと呼んでいます。学校組織は、書面でこのミーティングについて、そして参加者について通知する必要があります。親、教師、および学校の援助にあたる権限を与えられている学校組織の代表者の少なくとも3人が年次ミーティングに参加する必要があります。子供が一般教育学級で時間を過ごす場合には、このクラスの教師が参加する必要があります。加えて、学校の心理学者、作業療法士、または学校の看護師などのスペシャリストは出席が可能です。ミーティングは親が便利だと思う時間と場所を選択することができます。

州によっては、年次レビューを3年ごとのレビューに置き換えるオプションのあるところがあります。これによって、教師は書類整理の時間を減らすことができます。ただし、子供は3年間で大きく成長し、変化を遂げるものです。この考えに賛成できない場合は、年次レビューを選ぶことができます。評価会議および資格適用を定めるミーティングと同様、このミーティングが始まるまでに自分の考え、アイデア、および質問事項を書き留めておいてください。子供の進歩を認めている配偶者や友人の同伴者を連れてきてもよいでしょう。

軍部で特別支援を要する子供の転学について詳しくは、モジュール4、*移行時期の家族を参照してください。*

3年に1度のレビュー

IDEAでは、障害児が、IDEAの定める「障害児」の基準を引き続き満たし、特別教育と関連サービスが続けて必要かどうかを定めるために、3年ごと、または必要に応じてそれより頻繁に障害児を再評価することが求められます。再評価で強調する点は、子供のIEPの効果を測定し、子供の進歩と指導の必要を評価することです。再評価によって以下のような質問の回答が得られます。

- 子供の現在の成績水準と、教育に必要なものは何か？
- 子供が自分のIEP年間目標を満たせるようにするため、および必要に応じて一般教育カリキュラムに参加するためには、ある場合は必要な追加または改良は何か？
- 子供は今後も「障害児」なのか？
- 子供は今後も特別教育と関連サービスが必要か？

親または学校が、子供が特別教育の適用資格があると当初認められたものとは異なる領域の新しい何らかの障害を疑う場合は、学校は、新しい、疑われる障害で適用資格があるかどうか子供を評価する評価プランを作成します。

同意しない場合はどうするか？

モジュール5、*子供を擁護する方法*では、親が子供の識別、適用資格、またはIEPに同意しない場合に、対処するためのより詳細な方針について説明します。

個別教育プログラムでの移行

IDEAでは、子供が同じ州内または別の州に転学する場合、IEPと匹敵するサービスを子供に提供することを学校に要求しています。匹敵するサービスとは、これまでのIEPにまとめられているサービスと同類または同等のサービスのことです。

同じ州内で転学する子供

障害児が、同じ学年で学区を転学する、新しい学校に入学する、および同じ州の別の学校からの有効なIEPが発行された場合は、学校は、これまでのIEPに説明されているものと匹敵するサービスを含むFAPEを提供します。サービスは、学校が

ご存知ですか？

学年度の途中で新しい州に転学する場合は、受け入れる学校は、適切であれば、新しい学校が評価を実施して、新IEPを作成するまで、前の学校の個別教育プログラムに記載されているものと匹敵するサービスを含む、無料の適切な公教育を提供する必要があります。

これまでのIEPを適用する、または連邦法および州法と一致する新しいIEPを作成、適用、および実施するときまで提供されます。

別の州から転学する子供

障害児が、同じ学年で学区を転学する、新しい学校に入学する、および別の州からの有効なIEPを発行された場合は、学校は、これまでのIEPに説明されているものと匹敵するサービスを含むFAPEを提供します。サービスは、学校が、地域の基準に準じた特別教育への子供の適用資格を定めるための評価を実施し、連邦法および州法に一致した新しいIEPを作成および実施するときまで、提供されます。

記録

多くの学校組織で、以下の2種類の記録を保持しています。

- 累計ファイル — レポートカード、標準化テストのスコア、教師の報告を含む。学校の事務所経由でこのファイルのコピーを入手できます（プライバシーの制約では、DoD養成学校は、累計ファイルに子供のIEPを含めることを禁止しています）
- 機密ファイル — このファイルは学校や管理オフィスで保管されている場合があります。子供が特別教育をすでに受けている場合は、IEPを含む、子供の評価に関する書面上の報告をすべて含んでいます。評価チームミーティングおよび学校との連絡文書の記録の要約もこのファイルに含まれます。

これらのファイルのいずれかのコピーを入手する手順については、学校組織にお問い合わせください。子供の記録のコピーを申請する場合は、学校はこれを提供する必要がありますが、コピーするには手数料がかかる場合があります。子供の記録のコピーは書面で申請する必要があります。学業成績申請フォームの見本がこのモジュールの最後にあります。

詳細情報

この親のためのツールキットの、その他のモジュールについて読むまたはダウンロードする場合は、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/toolboxをご覧ください。

- モジュール1、*出生後3歳まで*
- モジュール3、*医療福祉手当*
- モジュール4、*移行時期の家族*
- モジュール5、*子供を擁護する方法*
- モジュール6、*援助および支援*

子供に後見人制度を確保することを検討している方は、お住まいの州の後継人制度法について学び、子供が18歳になるかなり前から申し込みプロセスを開始してください。

国防省教育本部

国防省教育本部（DoDEA）は、質の高い公立教育を利用できない子供向けに教育プログラムの計画、指導、調整、および管理を行います。DoDEAは、海外にある扶養家族用の学校（DoDDS）、および米国とその領土にある国内の扶養家族用の小学・中学校から構成されています。DoDEAでは、未就園児から高校3年までのDoD軍と民間の扶養家族が適用資格を持つ教育を提供しています。詳しくは、www.dodea.eduをご覧ください。

育児のアドバイス

国立障害児普及センターで（NICHCY）は、英語とスペイン語で豊富な情報を提供しています。乳児と幼児、および特定の障害に関する早期介入サービスについて詳しくは、Webサイト（www.nichcy.org）をご覧ください。

DoDソーシャルネットワーキングサイトのHOMEFRONTConnectionsは、特別支援を要する軍部の家族がオンライン上で出会って交流し、体験談を分かち合う、写真やビデオを投稿する、ブログを書くことや、意見交換ができるセキュリティ保護された場所を提供します。すでに存在するグループに参加したり、あなた自身のグループを作ってみてください。https://apps.mhf.dod.mil/homefrontconnectionsをご覧ください。

親の権利/アドボカシーの情報

保護および擁護機関の州別の一覧、および擁護方針の情報をご利用になるには、MilitaryHOMEFRONT（www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/resources）をご覧ください。「State　Resources（州の援助）」をクリックし、次にお住まいの州のリンクを選択してください。

その他の援助については、お住まいの州の親の方々向けトレーニングと情報（PTI）センターにご確認ください。それぞれの州には、出生後22歳までのあらゆる障害を持つ子供と若者を持つご家族を支援する目的で、PTIセンターが1機関以上設立されています。PTIセンターでは、情報、トレーニング、紹介、および擁護サービスを提供し、お住まいのコミュニティで必要な援助が得られるように親の方々を支援しています。お住まいの州のPTIセンターは、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/resourcesからお探しください。「State Resources（州の援助）」をクリックし、次にお住まいの州のリンクを選択してください。

IDEAについて詳しくは、http://idea.ed.govをご覧ください。

サンプル | **特別教育評価の申請**

日付：_____

_____
特別教育ディレクター/学長

_____
学区

_____
学校

用件：（子供の氏名）_____

生年月日：_____

受取人 _____ 御中:
特別教育ディレクター

この記述を持って、私は自分の子供を特別教育委員会に委託します。私は、あらゆる領域の疑われる障害、および特に次の領域において特別教育評価を申請します。 _____
_____
_____

懸念事項は次の内容に基づいています。 _____
_____
_____

学区が私の子供を評価することに同意した場合、私は、15日以内に書面による評価プランが提出されること、そしてこのプランは私に対して、実施されるテスト、テストの日付、およびテストを管理する担当者の氏名、ならびにテストの説明とその目的を明らかにするものであることを理解します。

敬具

_____
親/保護者の署名

_____
親/保護者名の活字体

_____
住所

_____
市、州、郵便番号

_____
電話番号

受領者名：_____ 日付：_____

サンプル | 独立教育評価の申請

日付：_____

_____
特別教育ディレクター/学長

_____
学区

_____
学校

用件：（子供の氏名）_____

生年月日：_____

受取人 _____ 御中:
特別教育ディレクター

私は、私の子供の学区評価の結果は正確ではない、または完全ではいないと思うため、独立教育評価を申請します。これらの評価の結果は正確性または完成度が劣っているために、これらの結果は、個別教育プログラムチームを障害、サービス、または配置を適切に特定するために十分な手引きとはなりません。

子供の現在の評価について、次の点に同意できません。_____

_____

_____

_____

_____

敬具

_____
親/保護者の署名

_____
親/保護者名の活字体

_____
住所

_____
市、州、郵便番号

_____
電話番号

受領者名：_____ 日付：_____

サンプル | **記録の申請**

日付：_____

_____
特別教育ディレクター/学長

_____
学区

_____
学校

用件：（子供の氏名）_____

生年月日：_____

受取人 _____ 御中:
特別教育ディレクター

私は、私の子供の特別教育情報に関する個人家庭用ファイルを作成しています。私は、学区内では子供の氏名_____を含む累計された、機密扱いのすべての学業成績の完全コピーを一式申請します。

すべての評価と実際のテストのスコア、累計記録、診療録、規律記録、心理学上の記録、機密記録、評価、個人教育プラン、および教師の記録のコピーを含めてください。

学区がこのサービスに手数料を課す場合には、すぐに通知いただけますようお願い申し上げます。申請内容に疑問がある場合は、_____までご連絡ください。

敬具

_____
親/保護者の署名

_____
親/保護者名の活字体

_____
住所

_____
市、州、郵便番号

_____
電話番号

受領者名：_____ 日付：_____

注 記

入門

モジュール3への入門

特別支援を要する子供の世話は、体力的、感情的、財政的に大きな仕事です。家族には、継続する治療費や、補助技術、特殊技能看護など、明らかな費用となりますが、費用の負担が見えにくいものもあります（頻繁に医者にかかることによる欠勤、特別食、および病気欠勤日のための多くの時間損失など）。家族の方々は、TRICARE という国防総省の医療プランに加入することが可能です。

TRICARE®

TRICARE は、7 種類の軍務の適用資格のある被保険者、および特定の州兵と予備軍の軍人が利用可能なワールドワイドの医療プランプログラムです（「被保険者」は、法律によって適用資格があるとされる個人のことです）。TRICARE は、米軍医療制度（MHS）の主要な構成要素です。MHS は、軍務のヘルスケアリソースを総括し、これらを民間の医療専門家、医療機関、薬局、および医療施設で補うものです。MHS について詳しくは、www.health.mil をご覧ください。

TRICARE のサービスを利用される家族の方は、以下の TRICARE 認可の、民間医療機関を使用する必要があります。

- TRICAREの地域契約業者と契約しているネットワーク医療機関（Primeの加入者が利用する必要あり）
- 全額支払いでTRICAREの許容可能額を受け取ることに同意している、TRICAREネットワークには参加していない加入医療機関
- 全額支払いでTRICAREの許容可能額を受け取らない未加入医療機関

注記：被保険者は、TRICARE の許容可能額を超える最大 15 パーセントの料金を支払う必要があります。また、自分自身で申し立てをする必要があります。

TRICARE は、北、南、西、および海外の 4 つの地域から構成されています。TRICARE の地域の Web サイトへのリンク、また TRICARE プログラムおよびサービスに関して詳しくは、TRICARE の Web サイト（www.tricare.mil）をご覧ください。

現役勤務の家族向け TRICARE® オプション

現役勤務の家族の必要を満たすために、TRICARE は数種類の医療オプションを用意しています。TRICARE の被保険者には、31 日以上連続で連邦が支援する命令にあたる州兵または予備軍の現役勤務の家族が含まれます。この保証人のサービスは、TRICARE ではなく、TRICARE の適用資格を確定する責任があります。

TRICARE の Web サイト（www.tricare.mil）へと進み、「Use the Plan Finder（プラン検索を使用）」を選択し、家族向け TRICARE オプションの詳細をご覧ください。

TRICARE® Prime

TRICARE Prime は、TRICARE のマネージドケアのオプションであり、民間の保健組織と類似しています。現役勤務の家族は Prime に加入することを選択できます。また、軍人は、TRICARE Prime または Prime Remote への加入が義務付けられています（以下参照）。

Prime への加入者は、現地の軍治療施設（MTF）または民間のネットワーク医療機関から医療が受けられます。加入者は、プライマリケアマネージャー（PCM）から日常の診療を探すことや、特別医療の紹介を受ける、また民間医療機関から特別医療を求める前に地域契約業者から認可を得るなど、明確に定義された規則や手順のいくつかに順守する必要があります。これらのステップに従わない場合、より費用のかかるポイントオブサービス(POS)の料金になる場合があります。

Prime の補償範囲は、TRICARE Overseas Program (TOP) Prime のオプションから海外でも利用できます。*注記：家族の方は、TOP Prime で補償されるように管轄地域で支援される必要があります。海外の地域契約業者は、すべての民間の特別医療を認可する必要があります。*

すべての軍治療施設（MTF）では、現役勤務の軍人へのケアが最優先となり、Prime に加入している現役勤務の家族の方がそれに続きます。

TRICARE® Prime Remote

現役勤務の保証人と同居しており、最も近くの MTF からで 50 マイル以上または車で 1 時間以上の距離のいずれかにお住いの方は、TRICARE Prime Remote に加入できます。加入は必須であり、加入者は、現地で利用可能なものがある場合、現地の民間ネットワークプライマリケアマネージャーを選択する必要があります。利用でない場合は、家族の方は、プライマリケア支援のために TRICARE 認可のいずれかの医療機関を使用できます。医療機関の検索支援については、お近くの TRICARE 地域契約業者にお問い合わせください。

ご存知ですか

特定の軍人およびその家族は、移行補助管理プログラムを受けることができます。このプログラムでは、軍の医療受給資格喪失後の日から180日間移行医療福祉手当を提供します。適用資格対象者、および移行医療福祉手当について詳しくは、http://tricare.mil/tamp をご覧ください。

Prime Remote の補償は、TOP Prime Remote オプションから海外でも受けられます。家族の方は、補償の対象となるように管轄地域で支援される必要があります。海外の地域契約業者は、民間の特別医療をすべて認可する必要があります。

TRICARE® Standard

TRICARE Standard は、適用資格のある家族の方々が紹介なしであらゆる TRICARE 認可の医療機関（例：医者、ナースプラクティショナー、研究所、またはクリニック）を利用することのできる出来高払いのオプションです。事前の認可が必要なサービスがいくつかありますのでご注意ください。加入条件は地域によって異なるため、この条件について詳しくは、地域契約業者の Web サイトをご覧いただくか、お問い合わせください。国防省登録資格報告制度（DEERS）に最新の記録がある、適用資格のある家族は、TRICARE Prime または Prime Remote に加入するまで、TRICARE Standard の内容が補償されます Standard では、高い柔軟性、および医療機関の多くの選択肢が得られます。TRICARE で補償されるサービスに対して、被保険者は、年間の控除免責と費用負担の支払いをする必要があります。Standard の被保険者は自分で申し立てをする必要がある場合があります。

Standard は、現役勤務の軍人の方は利用できませんが、場合によって、家族の方のみを対象とするオプションになる場合があります（家族が Prime Remote の定めのとおり保証人と同居していない場合や、家族が海外にいても管轄地域で支援されない場合など）。

TRICARE® Extra

TRICARE Extra は、Standard の被保険者が低い自己負担額でネットワーク医療機関からケアを受けることができる提携医療機関のオプションです（この被保険者の負担額は、Standard よりも 5% 少なくなります）。

TRICARE Extra では、申し立てをする必要はありませんが、医療機関の選択肢はネットワーク内の医療機関に限られています。TRICARE Extra は、現役勤務の軍人の方はご利用になれません。また、海外ではご利用になれません。

TRICARE の福祉手当オプションの比較については、www.tricare.mil/mybenefit/home/overview/WhatIsTRICARE/TRICAREBenefitAtAGlance をご覧ください。

ご存知ですか？

TRICAREオンラインは、軍治療施設内でケアを受ける被保険者用の国防総省のポータルです。このポータルでは、セキュリティ保護された対話式の、多数の独特な面白いサービス、ツール、および援助へのアクセスを提供します。プライマリケアの予約、医療ライブラリへのアクセス、および健康・衛生、施設、および医療機関情報へのリンクの検索が可能です。www.tricareonline.com をご覧ください。

保険の補償を次の月の初日に開始する場合には、TRICARE PrimeとTRICARE Prime Remoteの加入フォームがその前の月の20日までに地域/海外の契約業者に届いている必要があります。このルールはご家族の方にのみ適用されます。

TRICAREは、プライマリケアマネージャーの紹介がなくても年度あたり8度の精神衛生の外来通院を提供します。家族は自己紹介で受け付けが可能です。

薬局福祉手当

TRICARE 薬局福祉手当では、処方箋調合の複数のオプションを用意しています。MTF で調合された処方箋で処置をするのが最も費用のかからないオプションです。また他に次の 3 つのオプションがあります。(1) 薬剤の宅配、(2) TRICARE 小売りネットワーク薬局、および (3) 非ネットワーク薬局。

手頃に最大限の福祉手当を受ける方法について詳しくは、www.tricare.mil/mybenefit/home/Prescriptions/PharmacyProgram をご覧ください。

特別支援を要する家族向け TRICARE® 福祉手当

特別支援を要する家族の看護に関して配慮が必要な適用資格のある軍部の家族を支援するために、TRICARE は追加の福祉手当を提供します。

症例管理

症例管理は、複雑な身体的疾患や情緒疾患を管理するために頻繁に必要とされる多くのサービスを整理および統合するための制度です症例管理は、救急処置と長期医療サービス間の橋渡しをすることで医療の質を向上し、費用管理を行うとともに、高額な費用のかかる医療現場全体において患者を支援することを目的としています。TRICARE は、著しく慢性または危険性の高い健康問題を抱える被保険者に症例管理を提供します。高額医療費のかかる疾患または末期疾患のある被保険者も、症例管理の適用資格がある場合があります。家族の方は、医療機関から症例管理サービスの紹介が受けられます。親は、地域契約業者から特別支援の必要な子供に対して症例管理サービスも要求できます。

精神衛生ケア

被保険者に拡大ケアヘルスオプション（ECHO）（3:5 で説明）で適用されるケアの適用資格がある深刻な精神疾患がない限り、精神衛生ケア福祉手当はわかりにくいかもしれません。お近くの地域契約業者が支援をします。

TRICARE で補償される疾患や治療について詳しくは、以下の Web サイトをご覧ください。

疾　患：www.tricare.mil/mybenefit/home/MentalHealthAndBehavior/Conditions?

治　療：www.tricare.mil/mybenefit/home/MentalHealthAndBehavior/TypesOfTreatments

子供の精神衛生の医療機関を探す支援が必要な場合、お近くの地域契約業者にお問い合わせください。

ホスピスケア

ホスピスケアは、余命 6 か月と宣告された末期患者とその家族が快適に過ごすことを目的としています。ホスピスケアの目標は、末期の患者に対し、尊厳を与え、快適な生活を提供することです。ホスピスケアの大多数は、家庭や老人ホームで提供されます。TRICARE は、多くのホスピスケアの費用を補償し、ホスピスのルールでは養護ケアや個人の快適グッズの利用についての制限はしていません。被保険者は、基本の TRICARE 福祉手当の代わりにホスピス福祉手当の補償を選択する必要があります。

拡大ケアヘルスオプション（ECHO）

TRICARE の ECHO は、基本の TRICARE の補償を補完します。ECHO は、適用資格のある現役勤務の家族（州兵または予備軍の適用資格のある現役勤務の家族を含む）に対して特定のサービスや必需品に対して財政的な支援をします。加入方法などの詳細な ECHO のパンフレットについては、www.tricare.mil/mybenefit/home/overview/SpecialPrograms/ECHO をご覧ください。

ECHO の適用資格者

ECHO は、適用資格条件を満たす以下の被保険者が利用することができます。

- 現役勤務の家族（31日以上連続で連邦が支援する命令にあたる州兵または予備軍の現役勤務の家族も含む）
- 移行補助管理プログラム（TAMP）で継続してTRICAREの補償の適用資格のある家族の方
- 肉体的または精神的虐待を受けた元軍人の子供や配偶者
- 移行期の生存者ステータスにある現役勤務の保証人の遺族

注記:ECHO 福祉手当の適用資格を受けるには例外的なファミリーメンバープログラム（EFMP）に加入する必要があります。

適用資格のある健康状態

以下の健康状態を満たす家族が、TRICARE ECHO の適用資格があるとみなされます。

- 中度または重度の知的障害
- 重度の身体障害

「特別支援を要する子供の母親と話をするのは私にとってたいへん重要です。良き母親になるための助けとなります。同様な困難を伴う母親と話すと、ストレスを発散できるうえ、アイデアを共有でき、また一人ではないことがわかります。」

Marieさん、ワシントン州Fort Lewis在住のダウン症を患う双子の娘さんの母親

- 過度な身体的または知的な健康状態が原因で被保険者が在宅を余儀なくされる場合
- 中度または重度の知的障害、または重度の身体障害と診断されることが予想される、乳児または幼児におこる神経筋の発育上の健康状態またはその他の健康状態の診断
- 複数の障害（複数の体組織に影響する2つまたはそれ以上の障害がある場合に適用資格がある場合があります）

ECHO福祉手当について詳しくは、TRICAREのWebサイト（www.tricare.mil）をご覧いただくか、TRICAREの地域契約業者にお問い合わせください。

家族、または家族の医療機関が適用資格のある健康状態が存在すると信じる場合は、その人が地域契約業者に問い合わせをし、家族の一員が補償対象になるかを判断する方法を見つけてもらう必要があります。海外在住の場合は、家族は最寄りの MTF または TRICARE エリアオフィス（TAO）に問い合わせる必要があります。お問い合わせ情報については、www.tricare.mil/ contactus をご覧ください。

保証人が現役勤務であり続ける場合、年齢制限の歳（21 歳、または全日制の大学生の場合は 23 歳）に達する前に精神的または身体的な不能が起こったために子供が自立不可能である場合、および保証人が子供の援助の半分を超える責任がある場合は、子供は一般の TRICARE の適用資格年齢制限を上回っても ECHO 福祉手当の適用資格を保持できます。

継続される TRICARE の適用資格は、保証人の軍務によって決まります。地域契約業者が ECHO の適用資格を定めます。子供が ECHO サービスを受ける前に、事前の認可を地域契約業者または海外の TAO から受けておく必要があります。

保証人が再び割り当てられたら、家族は新任地でサービスを受ける前に、新しい ECHO 福祉手当の認可を受ける必要があります。家族は、移行作業が円滑になるように、引っ越す前に地域契約業者、現地の MTF、海外 TAO、または ECHO ケースマネージャーに問い合わせる必要があります。

ECHO 福祉手当

ECHO は、以下のような基本の TRICARE プログラムでは利用できない福祉手当を提供します。

- 医療サービスとリハビリテーションサービス
- 補助技術装置使用にあたってのトレーニング
- 特別教育（応用行動分析（ABA）も含めることが可能）
- 居住環境が必要な場合の施設内でのケア
- 特定の制限下にある環境での輸送（被保険者を安全に輸送する必要がある場合、主治医への費用を含む）

- 補助サービス（例： 資格のある通訳または翻訳者によるサービス）
- 適応および管理を含む耐久機器
- 在宅休息ケアサービス（別のECHO福祉手当を受けている場合は、月に最大16時間）

ECHO の費用

現役勤務の保証人は、支払い等級に基づく、その他の TRICARE プログラムの費用負担と分離された費用負担を負うことになります。保証人は、月に ECHO 福祉手当を受ける家族の数には関係なく、ECHO 福祉手当を家族が受給する月ごとに 1 人分の費用負担を追います。詳しくは、www. tricare.mil/mybenefit/home/overview/SpecialPrograms/ECHO/Costs をご覧ください。

ECHO 在宅医療サービス（EHHC）

EHHC では、外出できずに、在宅医療サービスまたは休息ケアにおいて、週に 28 時間から 35 時間の範囲を超える時間を一般に必要とする登録済み ECHO 被保険者への医療上必要な特殊技能サービスを提供します。一般に、家族の一員が在宅と認められるのは、その当事者が、健康維持、心理社会的、または薬物治療のために、あるいは正式認可を受けた、認定された大人用デイケアプログラムに参加するために、定期的に外出できない健康状態にある場合です。家族の PCM または参加医師が、この在宅医療サービスの適用資格を決定し、その家族の当事者が必要な在宅医療サービスを反映する医療プランを作成します。このプランは、医師、ケースマネージャー、または地域契約業者、または TAO スタッフによって、90 日ごと、またはその家族の健康状態に変化が生じたときに見直されます。EHHC 福祉手当は、米国、プエルトリコ、米国領バージン諸島、およびグアムでのみ利用可能です。詳しくは、ECHO ケースマネージャーにお問い合わせください。

EHHC 福祉手当

以下のサービスは、被保険者の家庭で TRICARE 認可の在宅医療介護サービス組織によって提供される場合には、補償対象となる場合があります。

- 登録看護師、または登録看護師の直接の管理下にある認定看護師または専門看護師による特殊技能看護サービス
- 登録看護師の直接の管理下にある在宅医療補助によって提供されるサービス
- 理学療法、作業療法、および音声言語病理学サービス
- 医師の指示による医療社会サービス
- 指導およびトレーニング活動
- 医療用品

ECHOで利用可能な16時間の休息福祉手当は、1週間あたり40時間利用可能なEHHCとは併用できません。

EHHC 休息ケア

HHC 休息ケアは、頻繁なサービスが必要な在宅被保険者のプライマリ介護人のために一時的息抜きまたは休息を提供することを目的としています。EHHC 休息ケアの適用資格がある被保険者は、8 時間の休息ケアを週 5 日間受給できます。この福祉手当は、ECHO によって利用可能な 16 時間の休息ケアとは異なります。この EHHC 休息ケアおよび ECHO 休息ケアは、同じ月に使用することはできません。休息ケアは、ベビーシッターの仕事 / 保育所サービス、兄弟のケア、またはプライマリ介護人が配備しているときや、就職活動中、または学生であるときは使用できません。未使用の休息ケアの時間は累積されません。

ご存知ですか？

休養ケアは、プライマリ介護人に休養を与えることで、家族全体にメリットがありつつも、子供は訓練された介護人からのサービスが受けられるようにすることが目的です。

TRICARE® ヘルプおよび情報

RICARE の適用資格、Prime/Prime Remote への加入、福祉手当と自己負担金情報、申し立てやその他に関するプログラム情報は、TRICARE の Web サイト（www.tricare.mil）からご覧ください。

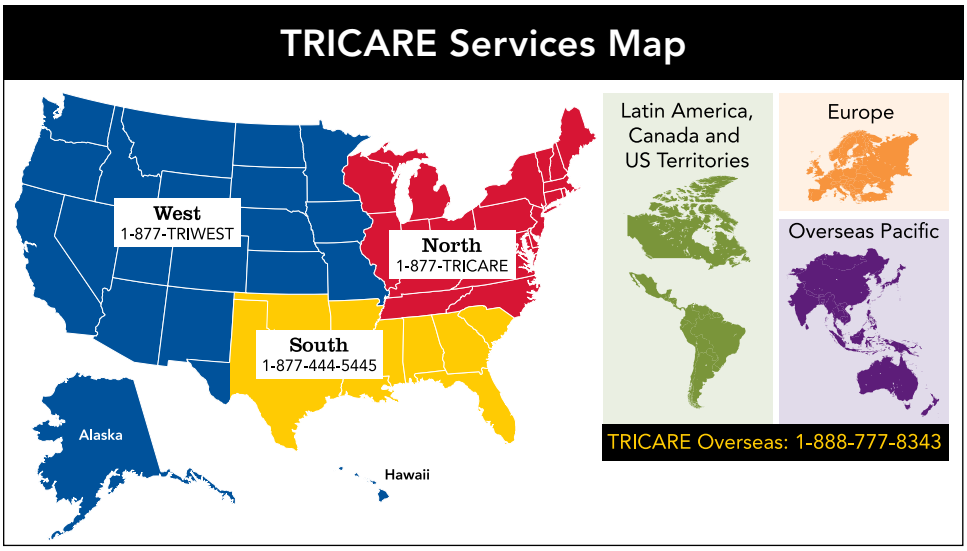

図3-2：TRICAREサービスマップ

プランのオプション、加入、紹介、認可、申し立て、回収、および TRICARE 福祉手当に関する質問については、地域契約業者のオフィスが回答いたします。契約業者のお問い合わせ先、およびその Web ページへのリンクについては、www.tricare.mil/contactus からご覧ください。質問がある方は、地域契約業者にお問い合わせください。お住まいの地域に固有の福祉手当に関する最も最近の情報がご利用になれます。TRICARE にお問い合わせの際は、担当

者が最善の手続きを判断できるように、紹介状、認可書、医療費 / 歯の治療請求書、拒否の書状、および債権回収通知などの情報をご用意ください。

お問い合わせ情報については、www.tricare.mil/contactus をご覧ください。

TRICARE® サービスセンター

TRICARE サービスセンター(TSC)は、多くの MTF の周辺に設置されており、顧客サービス担当者が常駐し、予約なしで支援できる体制をとっています。

被保険者カウンセリングおよび支援コーディネーター / 医療福祉手当アドバイザー

地域のオフィスおよび多くの MTF には被保険者のカウンセラー / 福祉手当アドバイザー (BCAC) が常駐しており、MTF 内のサービスの利用情報を提供するほか、福祉手当オプション、加入関連の質問、申し立て、紹介、認可、および予約について適したオフィスを提供または紹介しています。BCAC は、家族、MTF、および TRICARE の契約業者同士が円滑に連絡できるようにしています。

債権回収支援

MTF の地域契約業者の担当者、および債権回収支援担当者(DCAO)は、TRICARE 債権回収問題について被保険者を支援します。家族が医療費の回収機関から通知を受けた場合や、医療費の論争中である場合は、地域契約業者または最寄りの DCAO にお問い合わせください。支援が必要な方は、申し立て、回収措置、または請求論争に関するあらゆる文書を提示してください。

担当者は、申し立ての問題、および債権回収プロセスについて理解できるよう支援しますが、法律上の助言をしたり、信用格付けの修正はできません。回収処理の支援については、ご利用の地域契約業者にお問い合わせいただくか、最寄りの DCAO オンライン (www.tricare.mil/bcacdcao) をご覧ください。

個別障害者教育法および TRICARE®

個別障害者教育法 (IDEA) では、すべての障害児が無料の適切な公教育(FAPE)が受けられることを保証します。これには、個別教育プログラム(IEP)に記述されている教育目標を果たすために必要なサービスが含まれます。機能障害により発育に遅れがある、または遅れが出る可能性のある乳児および幼児は、早期介入サービス (EIS) を受給できる場合があります。これらの子供の多くは、医療専門家が提供する、医療、診断、または治療サービスを受けます。これらのサービスは、個人別ファミリーサービスプラン (ISFP) または IEP で特定される必要があります。IDEA によって、これらのサービスは少ない費用で、または無料で家族に提供できます。

TRICAREには高額医療費の上限があるために、年間の控除免責、Prime加入料、薬剤自己負担金、およびその他のTRICAREの控除対象費用負担などを含む、家族がTRICAREの補償対象サービスに支払う自己負担金が制限されます。

法律では、医療上または精神的に必要な EIS の負担金が TRICARE によって支払われ、それ以外の場合は、TRICARE は、TRICARE 福祉手当とみなされることを規定しています。費用負担額は、ケースバイケースで決定されます。3 歳から 21 歳の特別教育生徒向けの IEP で特定されるサービスは、州の教育機関が支払いを行うものであり、TRICARE は、必要なサービスが利用できない、または子供の必要を満たすのに不十分であることを示せる場合のみ適用されます。

退役や離婚、または扶養家族の子供が21歳または23歳になったという理由で、TRICAREの補償対象でなくなる場合、クレジットが可能な補償対象証明書が発行されます。この証明書は、自分が以前に医療プランに加入していたという次の医療プラン加入のための証明であり、新しい医療プランが、以前からの持病のために、自分の参加を除外する可能性のある期間を限定します。

詳細情報

この親のためのツールキットのその他のモジュールについて読む、またはダウンロードする場合は、www.military homefront.dod.mil/tf/efmp/toolbox ご覧ください。

- モジュール1：*出生後3歳まで*
- モジュール2：*特別教育*
- モジュール4：*移行時期の家族*
- モジュール5：*子供のアドボケートになる方法*
- モジュール6：*援助および支援*

拡大ケアヘルスオプションおよび在宅医療サービス

ECHO および EHHC について詳しくは、www.tricare.mil/ echo をご覧いただくか、TRICARE 地域オフィス（電話番号は 3:8 ページを参照）にお問い合わせください。

TRICARE® 福祉手当

TRICARE 医療福祉手当について詳しくは、www.tricare.mil をご覧ください。

USA.GOV

連邦・州政府、および地方自治体は、特別支援を要する子供の支援を目的とした、Medicare、Medicaid、栄養補給支援プログラム（SNAP）と、女性、乳児、および子供向けのプログラムを提供します。これらの福祉手当について詳しくは、モジュール 6：*連邦・州のプログラム*をご覧いただくか、また政府機関、プログラム、およびサービスにリンクする政府公式の Web サイトの検索エンジンである www.USA.gov をご覧ください。

MilitaryHOMEFRONT

各種のトピックについて詳しくは、MilitaryHOMEFRONT の特別支援セクション（www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp）をご覧ください。

Plan My Move

移動を伴う軍部の生活 — 移動は回避することができません。Military-HOMEFRONT が、被保険者とその家族がより円滑に次の移動ができるよう支援をする強力なツール一式、Plan My Move を紹介するのはそのためです。Plan My Move では、カスタマイズが可能なカレンダーや、やることリスト、チェックリスト、地域社会情報、軍事施設概要、特別支援を要する家族用の移動専用情報にアクセスできます。Plan My Move の Web サイト（http://planmymove.mhf.dod.mil）をご覧ください。

MilitaryINSTALLATIONS

最寄りの軍事施設 EFMP、およびその他の軍事施設の援助を検索するには、MilitaryINSTALLATIONS の Web サイト（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。

HOMEFRONTConnections

DoD ソーシャルネットワーキングサイトの HOMEFRONTConnections は、特別支援を要する軍部の家族がオンライン上で出会って交流し、体験談を分かち合ったり、写真やビデオを投稿する、またブログを書いたり、意見交換ができるセキュリティ保護された場所を提供します。すでに存在するグループに参加したり、あなた自身のグループを作ってみてください。HOME-FRONTConnections（https://apps.mhf.dod.mil/ homefrontconnections）ををご覧ください。

注 記

入門

モジュール4への入門

すべての家族が、軍部の移転、配備、または退役に関連する変化を子供にとってできるだけ容易にしてあげたいと願っています。特別支援を要する子供の家族は、子供ができるだけ少ないストレスで変化を乗り越えられるように尚も懸命に努力しなくてはなりません。

例外的なファミリーメンバープログラム

加入

例外的なファミリーメンバープログラム（EFMP）には、多種多様な隊員および家族支援機能が用意されています。加入は、プログラムの構成要素であり、医学的障害や教育上の障害を伴う家族を持つすべての軍部の隊員にとって必須です。加入すると、医療支援または教育支援が、任地が選択されるときに検討されることになります。軍人は、軍人の等級および専門について有効な隊員の要求事項が存在する場合、家族の教育支援および医療支援が満たされる地区に配属されます。

DD2792、EFM医療概要、および/またはDD 2792-1、EFM教育概要を記入して提出すると、その軍人の家族が特別支援を必要としていることが明らかにされます。診断、医療機関の種類、診療の頻度、医薬、および特別な宿泊施設など、その家族の健康状態に関する情報がそのフォームに記録されます。軍人に新たな任地が検討されるときに、家族が新地で必要な医療を受けられることを保証するために、その情報が使用されます。

それぞれの兵役において、加入についていくらか違うように取り扱われますが、一部に以下のような共通点があります。

- 各サービスは、国防総省のフォーム（DD-2792およびDD 2792-1）を使用します。
- 受取場所によって、医療が利用できるかどうかが示されます。
- DD 2792医療フォームは、医療担当者によってレビューされます。
- DD 2792-1教育フォームは、教育担当者によってレビューされます。
- すべての情報は機密および個人的なものであり、関係者以外極秘に保管されます。

移行時期の家族

4

EFMPに加入するには、MilitaryINSTALLATIONSのWebサイト（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧になり、配置する可能性のある最寄りの軍事施設のEFMPオフィスにお問い合わせください。また兵役にもよりますが、隊員または家族が、以下の所在地に必要なフォームを取りに行くと、フォームの記入方法を支援してくれます。

- 陸軍 — 軍の治療施設（MTF）で、EFMPオフィスをお尋ねください。
- 海兵隊 — 海兵隊コミュニティサービスで、EFMP社会福祉士宛てにお尋ねください。
- 海軍 — MTFで、EFMPコーディネーターのオフィスをお尋ねください。
- 空軍 — MTFで、特別支援情報と配属調整（SNIAC）オフィサーをお尋ねください。DD2792およびDD 2792-1のコピーをダウンロードするには、www.militaryhomefront.dod.milから、検索フィールドにフォームの番号を入力します。

ファミリーサポート

EFMPファミリーサポートサービスには、以下のものがありますが、これに限定されているわけではありません。

- 兵役およびコミュニティーサービスに関する情報と紹介
- 移転支援
- 財務管理
- 地元の学校および早期介入サービス（EIS）情報
- 症例管理

以下は、家族センターの利用連絡先です。

- **陸軍** — 陸軍コミュニティサービス、EFMPマネージャー
- **海兵隊** — 海兵隊コミュニティサービス、EFMP社会福祉士
- **海軍** — EFMP連絡窓口
- **空軍** — 空軍兵と家族の準備センター、EFMPコーディネーター

軍事施設付近に配置されない特別支援を要する軍部の家族は、Military OneSourceに電話（800）342-9647で問い合わせて、特別支援専門コンサルタントとの相談を依頼することをお勧めします。Military

ご存知ですか

軍事施設の例外的なファミリーメンバープログラムオフィスの一覧を見つけるには、MilitaryINSTALLATIONSのWebサイト（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。

OneSourceプログラムは、軍事施設で利用できるプログラムとサービスを補完することを目的としており、軍事施設付近に居住しない州兵と予備軍の家族、または地理的に孤立した場所に居住する軍人にとってこのプログラムは特に有益です。また、Military　OneSourceオンライン（www.militaryone-source.com）もご覧ください。

注記：　軍人は、特別支援を要する家族のサービスが利用できない地域での任務を受け入れるオプションがあります。このオプションを選択すると、軍人は通常、子供が必要を続けて満たすことができるように、家族から離れて暮らさなければならないことになります。

移動する前に、任地が解除されるときに軍事施設EFMP（ファミリーサポート）オフィスに、予定している移動と家族の必要を伝えます。担当者は、あなたと受け入れる任地EFMPオフィスをつなぎ、移動前、移動中、そしてその後に必要な可能性のあるあらゆる情報と援助によって支援します。多くのプログラムとサービスが州によって異なっており、EFMPは、任地に到着したらこれらの特定と評価をすることで支援できます。

移転

移動は軍部の家族の人生で重要な部分です。所持品の荷造り、引っ越しの計画、経費の管理を行い、新たな住まいを見つけます。特別支援を要する子供を持つ家族にとって、これらの経費はさらに複雑化し、感情的になりえます。軍部のコミュニティは移動を支援しますが、必要に応じて、保証人が新任地であなたを支援することができます。これらの援助を最大限利用すると家族全員にとって有益でしょう。

移転支援プログラム

軍事施設ファミリーセンター — 次の移動をできるだけ円滑にする各種のサービスを提供します。特に、軍事施設移転支援プログラム（RAP）では以下のサービスを提供できます。

- 新任地の情報準備および移住サービス（移動費用、住宅オプションと住宅探しの支援、保育所、特別支援を要する家族向けサービス、配偶者の雇用機会、学校、文化の適用、およびコミュニティへの順応に関する情報に重点が置かれる）
- 住宅購入と、販売、賃貸、財産管理、および家財の配送と保管などの移転に関する課題のカウンセリング
- スポンサーシップトレーニングサービス（新たなコミュニティと部隊へのコスト効率の良い効率的な移行を促進するために、部隊の保証人と、ユーススポンサーシッププログラムを介した若者を含む家族の一員を結ぶことに重点が置かれる）

Military OneSource プログラムは、軍事施設で利用できるプログラムとサービスを補完することを目的としており、軍事施設付近に居住しない州兵と予備軍の家族、または地理的に孤立した場所に居住する軍人にとってこのプログラムは特に有益です。

ファミリーセンター

移動することがわかったら、最寄りのファミリーセンターに問い合わせをし、移転スペシャリストと相談できるように依頼します。RAPは、軍人とその家族の移転に際して数多くのサービスを提供します。移動引き当て額について話し合い、これらの計算方法を理解するようにしてください。ファミリーセンターは、子供の必要を満たせる援助を探すための格好の場所です。ファミリーセンターは、あなたと、軍事施設EFMPオフィスおよび利用可能な休息ケアプログラムをつなぐことができます。最寄りのファミリーセンターを見つけるには、MilitaryINSTALLATIONS（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。

MilitaryINSTALLATIONS

MilitaryINSTALLATIONSは、世界中の軍事施設と州関連の軍部の情報、プログラム、およびサービスを検索できるディレクトリです。ここから、最新情報、記事、Webサイトリソースディレクトリ、写真、連絡先、主要部隊、天候、および地図に容易にアクセスできます。このリソースを使用すると、お住まいの州や移動先の州のあらゆる軍事施設や軍部のリソースの関連情報を素早く見つけることができます。MilitaryINSTALLATIONSのWebサイト（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。

学校

兵役および国防省教育本部（DoDEA）は、あなたの家族が新任地に移動する場合はそれが米国本土であろうと海外であろうと、子供が確実に適切な特別教育サービスを受けられることを願っています。移動する前に、子供の現在の教師に、自分の子供を新しい教師に紹介する手紙を書いてもらうように依頼してください。長所と課題として教師が認めるものの概要と、子供に役に立つものの詳細が記述されていれば、新しい教師の参考になるでしょう。

子供の個別教育プログラム（IEP)の書類のコピー、および学校で使用されているあらゆる評価情報を持って行きます。学校に行き、前回のIEP が作成されてからの子供の進歩をレビューするか、進捗レポートを書いてもらうように依頼します。また、子供が使用している補装具または補助技術に関する情報を集めます。移動する前に、学校から提供されたすべての補助技術を返却するようにしてください。

海外に赴任する場合は、ケーススタディ委員会（CSC）に子供のIEPのコピーを提供することを忘れないでください。CSCは、米国本土および海外のDoD養成学校で特別教育プロセスを指導します。また、IEPに含まれる補助技術の要求事項に関する情報をCSCに提供します。授業で使用する自分の補助技術をあなたの子供が持っている場合はそれを知らせてあげてください。

医療関連事項

移動する前に、新しい軍事施設で利用可能な医療サービスは何かを確認してみてください。TRICAREのWebサイトにあるTRICAREのプロバイダーディレクトリを利用すると専門サービスを探すことができます。電話番号が掲載されているため、事前にプロバイダーに連絡し、尚もネットワークプロバイダーであるのか、現在新患者を受け入れているのかを確認できます。また、子供に医療ケースマネージャーがついている場合は、そのマネージャーと協力し合うすることも可能です。

自分の子供の医療記録のコピーを医療機関（軍部と民間の両方）に提供してもらえるように依頼し、次の任地にこれらを持って行きます。コピーをもらうには、少額の手数料がかかる場合があります。

新居に移ったら、子供が病気になる前に医者に親しみを感じる機会を持てるように、新しい医療機関と予約をとるといいかもしれません

子供に伝える

家族にとって、移動の知らせは、家族会議で持ち出すのが最適である場合が多くあります。子供を一番知っているのはあなたです。移動について一対一で子供に知らせる方が容易である可能性が高いと思われる場合は、いつか時間をとって、家族会議をする前に話してあげてください。こうすることで、子供の関心事を実際に聞きだす機会が与えられ、子供の感情が家族会議で他の子供に悪影響を与えることがなくなるかもしえません。

移動について子供に話す前に、新しい生活の場のプラス面をいくつか教えてあげられるよう備えてください。以下について検討してみてください。

	特別支援とともに引っ越しするためのチェックリスト
✓	個人別家族サービスプラン（IFSP）、個別教育プログラム（IEP）、医師の紹介状、出生証明書、およびパスポートなど、重要な記録のコピー
✓	子供のIFSPまたはIEPを携帯
✓	詰め替え処方薬
✓	新任地での医療関連連絡先
✓	子供についてすでに知っている立場からのアドバイスが必要な場合の、現在の小児科医の連絡先

- 移動によって友人または家族との距離が近くなりますか？
- 家の近くにビーチや遊園地がありますか？
- 子供はトラベルの計画をサポートできるだけ大人になっていますか？地図で新しい家の場所を示し、引っ越すまでの旅の計画作りを始めてください。
- 子供はいくらか特別な興味を示していますか？移動がなければ子供が経験できないルートで関心を示す部分を探してみてください。

子供の発育レベルを考慮してください。視覚的な補助ツールを使ったら子供に引っ越しの予定を管理させる助けになりますか？カレンダーで、梱包業者が来る日に箱の絵を描く、または引っ越し業者が来る日にトラックの絵を描くなどして、カウントダウンすると助けになるかもしれません。

移動を知らせる最も良い方法を決め、さまざまな感情の反応に対処する方法を決めてください。以下の様な行動は、子供が移動に備えるための助けになるでしょう。

- 子供が友達と連絡をとり続けることができる方法、または去ることが全く終りであると感じさせないように引っ越しの前に友達を訪問する予定を立てます。
- 明るく振る舞う — 親が移動を心待ちにしていたら、子供は安心します。
- 子供に共感する — 子供が心配時を抱えていたり、離れる前でも友達との別離を悲しがっている場合には、子供に共感するようにします。子供の感じ方は普通であることを説明します。自分自身の悲しみや喪失感のいくつかを子供と共有し、また新しい家やコミュニティを心待ちにしていることも話します。
- これが子供の初めての移動でない場合、現在の家は昔は新しい家であったこと、そして子供はそこで友達を作り、住み慣れたということを思い出してもらいます。
- 子供の恐れをなだめるために、引っ越し前、引越し中、そしてその後発生する事柄の絵を描いたカレンダーまたはスケジュール表を作ります。子供は毎日の引っ越しのリマインダーを信頼して、毎日起こることに備えられるようになります。
- 食事の準備や就寝のように、一般的な決まった習慣の中で、子供に移動への考えや感じ方を共有する機会を持たせる時間を見つけます。
- お別れ会を計画する — たくさんの
- 写真をとって、住所や、電子メールアドレス、電話番号を集めます。
- 子供が13歳を超えている場合は、ソーシャルネットワーキングページを設定し、友達とつながりを持ち続けていられるように支援します。
- 整理するために子供用のスクラップブックを提供します。

慣れ親しんでいる場所を離れ、未知の環境に行くのは、恐ろしいものです。子供に感情を表す機会を与えてください。

ご存知ですか？

Military Youth on the Move（移動時の軍部の若者）のWebサイトで、新たな学校への転校、友達に別れを告げること、そして新コミュニティへの加入など、移動で直面する問題と向き合う創造的な方法を持っている若者と心を通わせてください。このWebサイトは、小学生、中学生、高校生の3つの主要な使用対象者に分けられています。また、特に親が、移動、新しい学校、または高校卒業後の人生に関する決断などの課題を子供に対して導けるようにすることを目的にした情報も掲載されています。Military Youth on the Move（移動時の軍部の若者）(http://apps.mhf.dod.mil/myom)をご覧ください。

ハッピーなわくわくする感情は受け入れて対応するのがより簡単ですが、悲しみや怒りなどのマイナスの感情もまた簡単です。子供は、これらの感情も話していいのかを知る必要があります。正直かつオープンに話すと、移動に関する心配事に対処して、その恐れをなだめることができる場合があります。

引っ越し当日はてんてこ舞いになり、子供は引っ越しに伴うであろう興奮や緊張感に慣れていません。その日は子供を友人に預けることを検討してください。

梱包

引っ越し業者が来る前に、次の任地に自分で持って行くと予定しているものを別にしておきます。家の一部屋または別の広い領域に明確に印を付け、業者にその領域に保管されているものは梱包しないようにお願いしておきます。以下のものは自分で持って行くものとして分別してださい。

- 学業成績、歯科記録、医療記録、出生証明書、保険証書、転属（PCS）のコピー、および家財の一覧表のコピーなどの重要な書類
- 一緒に持っていく薬および医療機器
- 枕、好きな音楽や映画などの快適グッズ

海外への赴任：行く前に知っておくこと

海外または地理的に離れた任地に赴任する前に、すべての家族は海外赴任が適切かどうかが審査されます。審査は必須のものであり、家族が　新任地で特別の医療や教育の配慮が必要である場合の特別支援を受けられるか、あるいは海外または遠隔地の任務の配属の成功が不可能かが判断されます。審査のプロセスには、人事の命令や医療命令、およびDoD海外教育制度が関わっています。最寄りのMTFに連絡をとり、軍役の海外審査プロセスを参照してください。

医療上必要な機器は、保証人の専門の書類および書籍と同じ方法で配送され、家財の重量制限の対象にはなりません。詳細については旅行会社をお訪ねください。機器が医療上必要であることを伝える医師からの書状が必要です。

各軍役には、特別支援が明らかにされ、軍人が新任地に赴任するときにこれらが考慮されるように、家族を審査する制度があります。

- **陸軍** – 家族配備審査
- **海兵隊** – 適格性審査
- **海軍** – 適格性審査
- **空軍** – 家族移転認可プロセス

管轄地域のスポンサーシップが、TRICARE Overseas Primeプログラムに加入する家族に必要となります。

子供を伴うトラベル

特定の輸送の状態は子供にとって困難なものであり、何らかの事前準備が必要である、医療上または社会心理的な理由があることを認識することが重要です。たとえば、てんかんのある子供は、子供の発作閾値を下げる場合がある疲れやストレスを最小限にするために、長期のトラベルの場合は追加の休養が必要になる場合があります。また、治療や睡眠スケジュールに影響する可能性のある特に異なる時間帯へ向けてのトラベルの場合は、子供の小児科医と協力して、治療の必要性に取り組みます。処方薬剤と相互作用があるかもしれない必要な予防接種について質問してください。子供を伴ってトラベルする際は、宿泊施設関連の必要を検討します（例：車椅子対応の部屋やシャワー室、またはTTY/TDD電話）。

トラベルの手段が飛行機、列車、または自動車のどれであろうと、子供連れのトラベルはいくらか計画が必要です。以下のヒントは特に役に立つことでしょう。

- 届くところに快適グッズを置きます。
- ヘルシーなお菓子を自参します。
- ゴミ入れとしてビニール袋を持っていきます。
- 時間をつぶすのに役立つ子供用の遊具を持って行きます。いくらか新しいものの方が馴染みのある好きなものより注意力が持続するかもしれません。
- 子供に自分のトラベル用バッグの責任を持たせるようにしてください。ただし、重くなりすぎないように、そのバッグに入れる量を制限してください。
- 安価な折り畳み式ベビーカーを使用してください。これらは、空港や駅などでは特に役に立ちます。
- 子供の衣服に緊急連絡先をテープで貼るか、子供に投薬注意ブレスレットをはめてもらいます。
- 可能な場合、子供の好きな映画や、寝る時間用の快適な音楽が聴ける携帯メディアプレーヤーを持っていきます。
- 停止後および食事の前に頻繁に手を清潔にできるように手の除菌用ローションやティッシュを準備します。

飛行機でのトラベル

航空アクセス法では、航空会社による障害の有無をもとに乗客を締め出すことを禁じており、米国の航空会社に、特別支援を要する乗客を搭乗させることを要求しています。詳しくは、www.disability.govをご覧ください。

トラベルを準備する際には、以下の対処も忘れないでください。

- 呼吸装置の設置または電子車椅子の輸送などの特別サービスがフライトで必要であるかどうかを、フライトの48時間前までに航空会社に連絡してください。

- 旧式または小さい機体に搭乗する場合は、トイレに車椅子で入れるかどうかをお尋ねください。
- 補助装置を持ち込んでください。これは、手荷物制限のカウント対象外です。車椅子（折り畳み式、電動式車椅子を含む）およびその他の補助装置は、優先搭乗する限り客室収納スペース（クローゼットを含む）を優先的に使用できます。
- 家族の一員が発作で苦しむ場合は、飛行の安全性について医師にお尋ねください。医師に推薦状を書いてもらい、家族の医療記録の一部として一緒に持って行ってください。
- 空港内で長距離行歩かなくてはならない場合があるため、搭乗口までベビーカーを使用することを検討してください。
- マザーズバッグの代わりにバックパックを使用して、子供を抱えるために両手をいつでも使える状態にしてください。
- 優先搭乗が家族にとって最適な選択かどうかを判断します。
- 子供のチャイルドシートが航空機の座席に対応しているかどうか確認します。航空会社のWebサイトでチャイルドシート情報について確認してください。

子供が酸素が必要であり、飛行機で移動している場合には、航空会社から酸素を提供してもらえるように調整する必要があります。自分のものを使用することは許可されていません。

列車でのトラベル

列車でのトラベルの場合、Amtrakではホームが高いまたは低い場合や、2階構造の列車の場合は、車椅子の方を支援します。子供は旅の途中、車椅子のままでいられるかもしれませんし、椅子がしまい込まれるかもしれません。子供が酸素を必要とする場合は予約する必要があります。酸素を海外に持って行く場合は、少なくとも12時間前（乗車前）に通知する必要があります。Amtrakの列車に酸素を持ち込むこと、および駅の補助機能について詳しくは、（800）USA-RAIL（（800）872-7245）にお電話ください。

ご存知ですか？

Amtrakは、障害者の乗客が同伴している訓練された介助動物の乗車を、駅、列車、およびAmtrakThruway大型バスのすべての乗客の領域で許可しています。列車スケジュールが許す限り、駅での停車時に介助動物を歩かせることができます。ただし、トラベル中に動物を歩かせることを予定している場合は、列車に最初に乗車した際に、車掌にご連絡ください。

列車のトラベルでは、特に大人が1名である場合、子供とのやり取りが車より多くなることが見込まれます。お好みの物語やトランプなど子供が楽しめる遊具、およびヘルシーなお菓子を持って行きます。

子供がセキュリティーを通過することへの備えがあったら役に立つかもしれません。特に子供と一緒に、出入り口を一人ずつ歩き、X線検査のためにその貴重なバックパックを手渡す練習をしましょう。

子供が走り出したり、道を外れることがある場合、子供を識別する情報のコピーを常に持つようにしてください。子供が原語能力がない場合、子供に識別情報を身に付けさせるのが良いでしょう。電話番号の場合は、自宅の電話番号ではない番号を使うようにしてください。

自動車でのトラベル

自動車でのトラベルは、飛行機や列車より家族に多くの柔軟性が与えられます。自分のスケジュールで停車して探索したり、足を伸ばすことができます。トラベルを最大限活用するため、途中で探検するために興味のあるルートで行くことを計画します。年長の子供には、新しい家までのルートを描いた、途中でストップする箇所が明記された地図を渡します。ゲームがあると時間をつぶすのにいいでしょう。

一時的な宿泊施設

一時的な宿泊施設について詳しくは、MilitaryINSTALLATIONS（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。可能な限り早めに予約をし、軍部用割引があるかを尋ねてください。特別な宿泊施設が必要であることを伝えてください。車椅子の利用可能な部屋、または必要に応じて、耳の不自由な方や聴覚障害の方用のTTY電話付きの部屋があるかどうかを確認してください。

住居

軍事施設にいつ住み初めて、いつ去るかを決めるためには考慮する要因がいくつかあります。軍事施設の住居の5パーセントが車椅子で利用できるようになっており、これは、民間のコミュニティでは見つけるのが難しい水準です。軍事施設の生活では、他の軍部の家族が近隣にいるというメリットもあります。支えになるコミュニティの一部になることは、近隣の人々が軍部の生活スタイルを実際に理解する軍事施設にいるとより容易かもしれません。ただし、軍事施設の住居が空くまで待つことは、この判断を下す大きな要因になりえます。軍役によっては、ケースバイケースですがEFMPに加入している適用資格のある家族に優先的に住居が与えられる場合があります。

学校

学校は、住居の決定に重要となる別な要因です。軍事施設内外にある学校を調査します。子供のユニークな必要がどうしたら満たされるかについて話し合うためには、移動のかなり前に双方の学校に問い合わせをします。新しい軍事施設のスクール・リエゾン・オフィサー（SLO）と子供の新しい学校に連絡し、軍事施設の支援をしてもらってください。SLOについて詳しくは、モジュール6、*援助および支援*をご覧ください。

ご存知ですか？

州の教育援助と情報について詳しくは、 www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmpからMilitaryHOMEFRONTをご覧ください。

受け入れる学校は、学校が評価を実施し、新しいIEPを作成するまで、前の学校のIEPに記述されているものと匹敵するサービスを提供する必要があります。

保育所

仕事を持つ親にとって、質の良い保育所を見つけることは高い優先順位です。特別支援を要する子供の軍部の親としては、交代制の仕事や、時間延長、週末の職務に適応でき、さらに子供のユニークな必要を満たすことの可能な保育所を見つけることは、難しいことです。

包括的な保育所を求めてください。すべての子供が他の子供たちとつながりを持つ同じ機会を持つ権利があります。包括的な保育所では、子供がそれぞれ持っている長所を支援し、かつこれを育てる教育環境の中で、子供は共に学ぶことができます。包括的な保育所は、認識機能障害または身体障害であろうと、子供一人ひとりが日課や日々の活動に参加することを奨励するものです。

ほとんどの軍事施設には包括チームが設置されています。この包括チームは、特別支援を要する子供の親が、最善の配置支援、および適切な医療の提供に必要な宿泊施設を決めるお手伝いをします。このチームは、保育スペシャリスト、EFMP担当者、保健師、および親から構成される場合があります。チームは、軍事施設の子供や若者向けプログラムに関わる、特定の特別支援を要する子供向けの子供と若者の活動を調査します。チームは、子供の必要を最も満たせるオプションを特定し、必要なあらゆる妥当な宿泊施設を検討します。

保育所について詳しくは、軍事施設の援助および紹介オフィスをご確認ください。援助および紹介のスペシャリストは、登録、適格性評価、および料金について説明し、軍事施設内外の保育所オプションの調査支援をすることが可能です。軍事施設の保育所プログラムを管理するオフィスの名前はさまざまです。軍事施設の子供育成センター（CDC）から始めます。どのオフィスが地元の保育所援助および紹介サービスを提供するのかについてお問い合わせください。地元のCDCおよび学齢期プログラムを検索するには、MilitaryINSTALLATIONS（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。

入居

入居の日はワクワクします。新しい住宅が自分の家のように感じ始め、皆が慣れ親しんだ物と再び生活できることで安堵するでしょう。このように気が高まった状態であるため、慣れない環境をさ迷ったり、危険に遭遇する可能性のある子供には特別な注意を払ってください。

すべての軍部の保育所プログラムには、親の懸念事項を指摘することができる親諮問委員会があり、このプログラムがサービス向上のための推薦をします。

ご存知ですか？

Plan My Moveは、特別支援を要する軍部の家族向けの情報を紹介する包括的なツールです。整理整頓し、次の移動を可能な限り円滑にできるようにすることを目的にした、カレンダー、やることリスト、到着チェックリストなどのカスタマイズされた移動ツールを作成することができます。Plan My Move（www.militaryhomefront.dod.mil/tf/movingandrelocation）をご覧ください。

保育所に関する質問

1. この軍事施設では、一覧にある配置で最優先するものは何ですか？
2. 私には複数の子供がいます。兄弟姉妹の配置についての方針を教えてください。
3. 私の情報を最新に維持するプロセスにはどのようなものがありますか？
4. センター側が私に連絡をくださるのか、それとも私が定期的にセンターに最新情報を提供しなければならないのですか？
5. 子供の年齢グループに空きが出るまでに待機する時間の目安をお教えください。
6. しばらく保育所が必要です。保育所の検索支援は受けられますか？
7. 子供とプロバイダーの比率をお教えください。
8. センターは、子供が多くの回数参加できることを目標にして、子供の必要を満たす物理環境を適応していますか？
9. プロバイダーは、独立を促し、子供の好きな活動を充分利用するために、教材とカリキュラムを適応させていますか？
10. プロバイダーは、適応装置を操作した経験はありますか？
11. プロバイダーが受けたトレーニングのタイプをお教えください。
12. センターでは、私がケアプロバイダーと協力して、適切な位置調整をすることや、機器の使用法、医薬品管理などを示すことができますか？
13. 療法士は、子供と対応をするための静かな場所を持っていますか？
14. センターはおむつの交換をどのように促進していますか？（センターによっては、3〜4歳の子供用の部屋に交換台がないところがあります。）
15. アメリカサインランゲージ（ASL）を知っている、または増強コミュニケーション装置を操作した経験のある担当者を置いていますか？
16. 緊急医療手順はどのようなものですか？医療施設との距離はどのくらいですか？看護師の従業員はいますか？
17. 同センターには統制方針はありますか？（コピーをもらってください。）
18. 同センターに、苦情を提起する方法はありますか？苦情がある場合は、誰に話せばいいですか？
19. 緊急休息ケアを提供しますか？

新しい家および近隣における安全

近所の車が多く通る道路や小川といった、危険に結びつくものに目を光らせて新しい家を見渡してください。子供と危険について話し合うための家族会議を開き、行ってもよい場所を定義して、確固たる境界線を確立します。

子供が外出してさ迷う可能性がある場合、地元または軍部の取締機関に加え、消防局や地元の緊急対応サービスに連絡してください。現在の写真と子供の詳細情報を提出します。問題に直面した時に子供がどう反応するかについて説明します。すべての連絡先を含めるようにしてください。必要に応じて写真と連絡先を最新状態にすることを忘れないでください。

この連絡先は、緊急時に手元にあるように、またトラベルするときは持ち歩くように、複数コピーしておくとよいでしょう。最大限の努力にもかかわらず、監視をくぐって子供が家からいなくなることが心配な場合は、別のロックやアラームシステムを設置することを検討してください。これらの改良にあたって医療の必要性を説明する書状を医師に作成してもらいます。これを、書面による申請書とともに、軍事施設の住宅供給オフィスに、または追加ロックの設置許可をもらうときには家主に持って行きます。

心配事について近隣の人々に話します。自分の電話番号を渡し、自分の子供が一人で家を飛び出していることが分かった場合は電話してもらうようにお願いします。子供が耳や眼が不自由である場合は、軍事施設または地元当局に連絡し、耳や眼の不自由な子供がいる時に運転手に警告するサインを出すように求めてください。

これは私たちの息子、Michaelです。

私たちは彼が安全でいられるように懸命に努力していますが、知らないうちに家から時々飛び出してしまいます。彼を見つけたら、電話してください。彼は決して一人で外出してはならないのです。彼は自閉症なため、彼に話しかけても応答しない場合があります。彼は、怖いと思ったら、逃げ出すかもしれません。彼は喘息もちで、ピーナッツとピーナッツオイルにアレルギーがあります。彼が呼吸困難を示したら、911に電話してください。ピーナッツやピーナッツ製品が入っているお菓子をあげないでください。

指名： Michael Smith

病状： 自閉症、喘息、
およびピーナッツアレルギー

連絡先

自宅電話番号：

母親： Mary Smith
勤務先電話番号：
携帯電話番号：

父親： Joe Smith
勤務先電話番号：
携帯電話番号：

ありがとうございました。

酸素タンクが家にある場合は、地元の消防局に知らせる必要があります。また、子供が緊急事態の時に隠れる傾向にある場合、消防局に伝える必要があります。子供が原語能力がない、またはコミュニケーションが苦手であると思われる場合は、IDと連絡先をブレスレットとして、または衣服に縫い付けるなどして子供に持たせることを検討してください。

配偶者の雇用

「親として、私たちは家族の最高の擁護者です。」

Katrinaさん、バージニア州Quantico在住のダウン症を患う娘さんの母親

財政上の必要で仕事をしたい、または個人のキャリアのゴールを達成したい場合のいずれであろうと、頻繁な移転、配備の延長、および軍部の生活スタイルに関連した他の独特な問題によって、軍部の配偶者にはキャリアや雇用に大きな障害が伴う場合があります。特別支援を要する子供を持つことは、尚も大きな課題となります。

DoDには、これを支援するプログラムがあります。主要な援助は、雇用支援プログラムおよびMilitary　OneSourceの2つです。これらの援助は、軍部の配偶者が雇用およびキャリアのゴールを達成できるよう支援することを目的にしています。またこれらの援助では、ジョブサーチを始める際に、軍部の配偶者が直面する独特な問題に取り組む支援をするツールも提供されます。

雇用支援プログラム

このプログラムは、サービスそれぞれの名前はわずかに異なりますが、配偶者の必要とスキルに十分合った雇用を認識し、積極的にその雇用を得るために必要なツールとスキルを配偶者に提供します。提供されるサービスのいくつかは以下のとおりです。

- 個人に合わせた仕事の能力評価とキャリアカウンセリング
- 履歴書とカバーレターの準備
- インターネットとプリンターのアクセス
- 地元の雇用機会の情報
- キャリアセミナー
- キャリアゴールの認識とジョブサーチのための支援
- 雇用への移転の影響と対処方法についての情報
- 支援と奨励

MilitaryHOMEFRONTのSpouse Employment（配偶者雇用）のセクション（www.militaryhomefront.dod.mil/tf/spouseemployment）をご覧ください。

親から親へ

Military OneSource

軍部の配偶者の個人的な教育およびキャリアのゴールを満たす支援をし、転職可能なキャリアを見つける取り組みでは、Military OneSourceが以下のような教育、キャリア、および財務援助を提供します。

- MyCareer Exploration（マイ・キャリア調査） — キャリアの興味と適性、転職可能な専門職で需要が高く、高成長していると見込まれる職業、教育と訓練の必要条件、および給与の見積もりにおける調査支援
- MyEducation and Training（マイ・エデュケーションとトレーニング） — 教育とトレーニングの選択および勉強のプログラムの作成、財務支援での連邦、州、および個人の資金源、奨学金、および授業料の割引の特定、および需要が高く高成長している転職可能なキャリアによって要求されるライセンス、資格、およびテストの援助の特定における支援
- MyCareer Readiness（マイ・キャリア準備） — 面接技術の育成、履歴書の書き方、仕事の応募、作業環境必要条件の特定（例： インターネット、パートタイムまたはフルタイム、保育所、および輸送）における支援
- MyCareer Connections（マイ・キャリア・コネクション） — ユニークな軍部配偶者の連邦の非競争任命機関を含む雇用、DoD内の優先職業紹介、地元およびインターネットの就職説明会、および軍部と関連のある雇用主との企業パートナーシップとのコネクションおける支援
- MyCAA Program（マイCAAプログラム） — 転職可能なキャリアに必要な教育、トレーニング、ライセンス、または資格の取得を目指す配偶者を支援する目的の、DoDが資金提供する財務支援プログラム。支払い等級E1-E5、W1-W2、およびO1-O2の現役勤務の軍人と結婚した軍部の配偶者は、当プログラムの適用資格があります。州兵と予備軍の軍人がタイトル10命令で現役勤務の場合は、その軍人の配偶者も適用資格があります。

配偶者の方がサービスを受けるには、(800) 342-9647まで電話するか、Military OneSourceオンライン（www.militaryonesource.com）をご覧ください。

配備

愛する者の配備を待つことは、配偶者だけでなく子供にもつらいことです。子供は、親が去らなければならない理由がわからないですし、親が生涯いなくなるのではないかという恐れを抱く場合があります。子供は、必ずしも言葉で心配事を表現できるわけではないため、行動で表現する傾向にあります。子供がどう感じるかを表現する機会をたくさん持てるようにしてあげてください。家族が配備のために備え、乗り越えられるようにするには、以下を検討してください。

- 親が自分の言葉を使って、子供が自分の言葉を見つけられるようにしてあげてください。たとえば、「お父さんに行ってほしくないわ。お父さんが行くのを待つのはちょっと悲しいし、心配ね。あなたはそのように感じる?」
- 多くのことが異なっているけれども、日常の多くは変わらないことを説明します。

配備が始まる前に、配備について子供と話しましょう。子供は何かが起ころうとしているときは即感じ取り、情報が共有されない場合心配の度合が大きくなります。

- 空想の遊びをして、子供が感情を表現することを奨励します。子供が人形や動物と遊ぶ場合は、人形の家族の一員が去っていく遊びもしてみてください。もう一方の人形たちにどう感じるかを話してもらってください。
- 地図や地球儀を使って、軍人である親がどこにいるかを示してあげてください。
- カレンダーを使用して、いつ配備が実施されるかを子供に示してあげてください。3週間という意味がわからないかもしれません。
- 配備中に連絡をとる方法についての家族会議を開いてください。手紙、写真、テープ、ビデオなどはすべてつながりを持ち続けるための良い方法といえます。
- Skypeやビデオ会議のようなソーシャルネットワーキングサイトおよびボイスオーバー・インターネット・プロトコル・プログラムを活用します。
- 配備終了の印を付けるための子供にとって最良の方法を見つけます。これは、カレンダーに X のように印をつけたり、ペーパーチェーン剥ぎとることであるかもしれません。
- 子供が自分の感情を表現しないからといって、子供が苦しんでいないのではないことを覚えておいてください。子供は無言の感情の結果で行動を示しているのかもしれません。子供がこれらの感情を認識できるように助けてください。
- 子供に強い感情は見せないようにしてください。親の極端な行動を見るのは子供にとって恐ろしく映るかもしれません。
- 家族は尚も安全であり、配備される親も尚も家族の一員であることを子供に思い出させてあげてください。
- 任地に赴く親は、配備の前にそれぞれの子供と時間が持てるようにしてください。頻繁にハグをしてあげてください。皆で一緒に写真を撮ってください。
- 教師が家族の動態の変化について知っているかを確認してください。
- 子供に子供だけに宛てた手紙をときどき送るようにすることを忘れないでください。子供は自分宛ての郵便が届くのを楽しみにしています！家族のペットへの手紙でも子供の笑顔が見られるでしょう。

支援が利用可能

親と子供が配備に適応するのに特に困難を覚えている場合は、カウンセリングが複数の箇所から容易く利用できます。Military OneSourceでは、一人当たり12回の無料の対面カウンセリングが受けられます。セッションは短期の、問題に焦点を合わせたもので、医療以外の多様な問題に取り組んでいます。電話相談やオンラインのコンサルティングは、対面カウンセリングに参加できない人向けに調整することができます。Military OneSourceのカウンセリングオプションについて詳しくは、Webサイト（www.militaryonesource.com）をご覧ください。TRICAREは、プライマリケアマネージャー（PCM）の紹介がなくても利用できる8回のカウンセリングセッションを提供します。必要に応じて多くのセッションを認可することが可能です。従軍牧師も、配備関連の問題の取り扱いを支援してくれる優れた支援先です。

在宅の親はたいへんな重荷を負っています。特別支援を要する子供の親として、両親が一緒にいてあげられているときも事が困難であるのにもかかわらず、今は圧倒された状態です。自分自身への配慮が今ほど重要なときはありません。軍事施設EFMPオフィスに連絡して、休息ケアをとる手配をしてください。また、モジュール3、*医療福祉手当*の休息ケアオプションの情報をレビューしてください。在宅の親が十分休息する機会があれば、家族全体が利益を得られるのです。

帰宅

配備が終わった親が帰宅するときは、子供は幸せに感じて興奮するだけでなく、心配とストレスを感じる場合があります。子供の発育レベルに応じて異なりますが、まるで知らない人であるかのように、子供は帰宅した親の近くに行くのを不快に思う場合があります。子供によっては、良い変化でさえも動揺を感じる場合があります。帰宅した伴侶に、子供の行動は変化に対する反応であって、帰宅した親を拒絶しているのではないことを理解してもらってください。

伴侶との静かなときを過ごす前に、子供が帰宅した親と一緒に楽しい時間を過ごさせてあげてください。ただし、いったん興奮が止んだら、再びつながりを持つ時間を計画してあげてください。絆の強い結婚を維持することは、子供にとって親ができる最良のことの1つです。

災害への備え

軍部の家族として、自然災害が発生する傾向がある場所に住む場合があります。特別支援を要する家族として、避難またはその他の緊急事項に備える必要があります。入念な備えがあると、ストレスや困難も少なくなるでしょう。多くの家族よりも避難する時間が必要な場合があることを覚えておいてください。

避難用の荷物をまとめる場合は以下の物を入れてください。

- 30日間の医薬品
- 重要な書類（例： 医療記録、保険関連の書類、および出生証明書）
- 7日間分のおむつと衣服
- ベッドの横板
- 特別の食事用器具

避難する場合、ペットの居場所を計画し、親戚に家族の居場所を知らせてください。

- 特別食
- 子供用の遊具など
  （例：ゲーム、トランプ、本）
- 快適グッズ
- 電池式懐中電灯とラジオ
- 現在の写真や、必要な医薬品一覧を含む子供の身体的な、行動上の、および医薬品の説明
- 子供の小児科医の連絡先

ご存知ですか？

Disability.govは、障害者の方の必要を取り入れた緊急の軍備、対応、および復帰プランに関する総合的な情報を提供します。
www.disability.gov
をご覧ください。

避難する場合、ペットの居場所を計画し、親戚に家族の居場所がわかるようにしてください。携帯電話は、ネットワークがオーバーロードになるため使えなくなる場合があります。電話ができない場合、テキストメッセージを送信してみてください。

介助動物

連邦法では、介助動物が緊急避難所に入れるよう許可しています。重要な書類パックに、狂犬病タグとライセンスも必ず入れてください。災害時には、介助動物は混乱し、通常よりも注意が必要な場合があることを覚えておいてください。

介助動物も避難させる場合、以下のものを持って行ってください。

- 食べ物
- ボウル
- ライセンスと狂犬病予防接種の記録
- ゴミ袋

ご存知ですか？

多くの呼吸器疾患は、ストレスで一層悪化する場合があります。手の届く範囲内に吸入器、噴霧器、または酸素タンクなどの蘇生器を置くように計画してください。

停電：事前に計画

災害時には、停電の延長が何週間も続く可能性があります。軍部の住宅にお住まいで、不可欠な医療機器に電気が必要である場合は、軍事施設EFMPオフィスまたは住宅管理者に連絡してください。発電機が利用できない場合は、PCMに連絡して、災害時に子供を電気の利用できる病院やその他の施設に移動する必要があるかどうかを話し合ってください。

成人期への移行

子供が数年間特別教育制度を受けている場合は、IEPプロセスについて親はよく理解しているでしょう。学校を卒業して、就職などの卒業後の活動に移行すると、異なる部分に重点が置かれます。同じ心境になって子供の課題を最小限にするために取り組む代わりに、親は、将来に目を向け、子供が仕事について学んで独立して生きるために何をするのかを調査します。

子供がいったん学校制度を卒業するか、学校制度を離れてしまうと、個別障害者教育法（IDEA）の資格がなくなる場合に補足するための、保証されるプログラムはありません。ただし、子供のIEPでは、子供が14歳から16歳の間に、移行プロセスの取り組みが始まります。移行サービスは、子供が学校から卒業後の活動へと移行するにつれ、調整された障害児を支援する活動になります。これらの活動は、子供の長所と関心事を考慮して、子供の必要に基づいたものでなければなりません。

子供は、就職や、日常生活、社交術に関する卒業後の生活目標の作成において支援される必要があります。学校では、仕事の応募やメニューを読むことや、お金の管理方法を学ぶことなど、実際的な生活に関する事項に強調点が置かれていました。子供に、どのような仕事をしたいか尋ねてみてください。それは現実的なものですか？子供の希望を満たたすことができる妥協点はありますか？獣医になりたい子供はおそらく獣医のオフィスで働くことができるでしょう。

これらの移行サービスは、子供が16歳になった時の最初のIEPが実施されるよりも前に始まる必要があり、その後は年に1度更新しなければなりません。加えて州法の青年に達する1年以上前に、移行されることを含め、子供は、青年になるときにIDEAで管理されている子供の権利についての通知を受ける必要があります。

以下の子供のオプションを検討してください。

- 大学 — 2年でも4年でも、大学は、障害のある生徒に教育を継続する機会を与えます。障害を持つアメリカ人法（ADA）では、大学が、障害のある適用資格のある生徒を差別することを禁じています。

情報ですか？

自然災害やその他の危機のために財政難に陥っている場合は、軍部援助協会またはアメリカ赤十字社が支援できる場合があります。

陸軍緊急救済基金協会
(866) 878-6378
•
海軍/海兵隊救済基金協会
(703) 696-4904
•
空軍援助協会
(800) 769-8951
•
アメリカ赤十字社
(202) 303-4498

- 生涯教育 — コンピュータスキルから調理までの幅広いコースが用意されており、子供の視野を広げる方法を提供します。
- 職業訓練 — 職業専門学校は一般に、生徒が美容師や電気技師などの特定の職業に就く準備をするものですが、入学するには高校の卒業証書が必要になります。
- 実地訓練 — この短期訓練により、子供は現場で働きながら仕事を学べます。多くの社会復帰機関、障害者組織、および大企業では、この種の訓練および配置が提供されます。
- 競争の激しい職業 — これらは子供が現行歩合で支払いを受ける主流の仕事です。ADAは、差別を禁じており、障害者が仕事の適用資格がある場合は、雇用主が妥当に適応する必要があることを求めています。
- 支援つき雇用 — これは重度の障害者向けの有給雇用です。従業員になった場合、職務技能の向上と、その他の仕事関連の必要事項が達成されるように支援する指導者が付きます。指導者は、雇用の初期には深く関与しますが、従業員が技能を身に着けて快適に働けるようになったら関与を減らします。
- 大人向け日中プログラム — これらのプログラムは、障害のある他の作業者と一緒に監視された設定で作業環境を提供します。通常、生活技能の訓練およびレクリエーションが受けられます。

自立生活

親は、子供が本当に小さいころに自立のスキルを教えました。自己擁護能力もまた重要になります。出来る限り、子供に自分自身のことを話してもらってください。子供にレストランで自分の食べ物を注文するように勧めたり、または新しい教師に、授業をテープで録音する必要があることや、宿題にもう少し時間がほしいことを説明できるように勧めてください。

大人にとって最も重要なプログラムの1つである、社会復帰サービスがほとんどの州で用意されています。社会復帰サービスには、仕事を見つける準備ができるように、計画、援助、支援、および訓練することが含まれています。お住まいの州の親の方々向けトレーニングと情報（PTI）センターに問い合わせて、移行を支援する公共または民間のプログラムについてお尋ねください。連絡先は、 www.taalliance.orgをご覧ください。

特別教育制度とは異なり、障害者が無料で利用できる社会復帰サービスは存在しないことを覚えておいてください。障害者は特別な基準を満たしている必要があり、また一部の機関ではサービスが有料になります。大人向けサービスには、特別教育にあるような中央の制度がないために、生徒とその家族は、大人向けサービスと政府のプログラムの複雑な分類に取り組まなければならない場合があります。

成人した子供のケア

健常者の親は一般に、子供が独立して生活し、財政的に独立することを考えます。子供が生涯障害者である場合は、子供時代と成人としてのケアの双方に対して計画する必要があります。子供が医療サービスや財政のことを判断できますか？成人した子供が追加保障所得（SSI）またはMedicaidの適用資格を得るには、子供の資産は2,000ドルを超えてはいけません。子供の福利と財政の安定はどうやったら確保できるでしょうか？

追加保障所得およびMedicaid

SSIプログラムでは、年齢で高齢者というのカテゴリの方、目の不自由な方、および障害者に対しては月々最低限の金額が支払われることが保証されています。適用資格は、資産の限度額に基づいています。その他の社会保障福祉手当とは混同しないでください。

Medicaidは、特定の低所得者や障害者またはその家族向けの医療サービスを提供するもので、頻繁にSSIの許可と関係しています。Medicaidは現金の支払いはなく、医療機関に直接支払われる仕組みです。州によっては、一部の医療サービスの費用を少額支払うこと（自己負担金）を要求しています。多くの州では、Medicaidは障害者向けのプログラムになっており、すべての州が収入に基づくサービスを行っているわけではありません。

特別支援トラスト

特別支援トラストは、公的福祉手当を補足するために障害者向けに導入された裁量信託ですが、これは公的福祉手当に取って代わるものではありません。この種の信託は、信託基金の福祉手当を受けながら、障害者が、SSI、Medicaid、8条住宅、および他の公共のプログラムを受け続けることができるようにするものです。このトラストの資金は、特別車椅子、障害者用バンを購入するためだけでなく、休暇、個人介護者、またはレクリエーションや文化的体験への支払いに充てるために使用できます。SSIは、食べ物、衣服、および避難所への支払いを目的にしています。Medeicaidは、医療費を取り扱います。トラスト基金では、トラストの文書で特定されているその他のすべての必要に対しての支払いができます。特別支援トラストを取り扱う資格のある弁護士の一覧については、Military OneSourceにお問い合わせください。サービスの支払いを心配しないで行動をしてください。電話をかけ、状況を説明してください。サービス料金を下げる、または月額での支払いにすることを検討するような弁護士を何名も用意しています。トラストの要求事項を満たすために必要な資産がないと思われる場合は、生命保険、そして家を所有している場合は家が資産であることを思い出してください。

同意書

同意書は法的拘束力がありませんが、同意書によって親は、親が亡くなった後に子供のためのケアおよび意思決定をすることを指名されている人物と、さまざな情報を共有することができます。この人物は、特別支援トラストの

自立生活センターは、障害者のアドボケートになり、リーダーシップ、独立、および生産性を推進することで障害者に生活スタイルの選択をする権限を与えます。

管理者である場合があります。同意書に、病歴および学歴などを含めた子供の話を含めたい場合もあるでしょう。子供の好きな活動、食べ物、人々を説明してください。訪れたことのある場所や、行ってみたい場所を含めてください。

特別支援トラストは、公的福祉手当を補足するために障害者向けに導入された裁量信託ですが、これは公的福祉手当に取って代わるものではありません。

特別医療支援を要する子供の特別医療組織記録

特別医療支援を要する子供の特別医療組織記録（SCOR）で、親の同意書に関する支援をします。SCOR内に両親は、財務情報、高度な指示、生命保険証券情報、および後見人の責任などの、不動産情報を明記することもできます。MilitaryHOMEFRONT（ www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/toolbox ）からSCORをダウンロードするか、またはMilitary OneSource（www.militaryonesource.com）からハードコピーを発注することができます。

後見人および資格無効宣言

子供が成人に達すると（ほとんどの州では18歳）、子供は健康、財政、および将来に関する決断ができると想定します。子供によってはそのようにはいかない場合があります。子供が成人に達したら、子供が決める教育、財政、または健康関連については親は管理する権利がありません。子供が責任をもってこれらを判断する能力がないと懸念される場合は、地方裁判所に後見人になる請願することを検討してください。成人の年齢は州によって異なります。お住まいの州について詳しくは、MilitaryHOMEFRONT（www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp）をご覧ください。

後見人とは、裁判所が認可した法的な後見人と障害者の関係のことです。裁判所は、障害者に代わって法的権限を持つ後見人の等級を定義します。子供が精神的に独立できる能力がないことを示すには、医師による詳細が記された文書が必要になります。

後見人に関する法律は州によってさまざまです。別の州に移動する場合は、新しい州の後見人に再び応募する必要があります。無料奉仕活動を喜んで行う弁護士がいるかどうかを確認するには、Military OneSourceに電話するか、軍事施設法律事務所にお立ち寄りください。

成人した子供のIDカード

軍人の、21歳以上の重度の障害がある未婚の子供で、その障害が子供の21歳の出生日より前の健康状況によるものである場合は、その子供はTRICARE福祉手当の適用資格があり、軍人IDカードを保持する適用資格があります。海軍と海兵隊では、このプログラムは能力が奪われた扶養家族プログラムと呼ばれます。陸軍では、このプログラムは21歳以上の能力が奪われた子供と呼ばれます。

軍部のIDカードを取得するためのサービス固有の情報を入手するには、以下の連絡先を使用することができます。

- 陸軍 （317）212-1621
- 海兵隊 （703）784-9529/30
  （退役軍人またはその配偶者：（800）336-4649）
- 海軍 （888）332-7411 x 二次扶養
- 空軍 （317）212-0129

子供の後見人確保を検討するには、子供が18歳になる前にプロセスを開始してください。

ホスピスケア

ホスピスケアは、患者が末期に致命的な診断を受けた場合に患者とその家族が利用できます。ホスピスケアによって、尊厳が与えられ、最後まで快適に過ごせます。親が軍事施設に住んでおり、子供がホスピスケアを受けている場合、EFMPマネージャーに依頼して、地域法執行機関、自分の部隊または軍事施設の従軍牧師、MTF代表、およびホスピスサービスコーディネーターとのミーティングを調整してもらえるようにし、当事者すべてに子供への希望を確実に理解してもらってください。このようなミーティングを持たないと、軍部の法執行機関または緊急要員が、親の希望に反して知らずに子供を蘇生させようとする可能性があります。モジュール3、*医療福祉手当*には、ホスピスケアと長期医療サービスに関する詳細な情報が含まれています。

詳細情報

この親のためのツールキットの、その他のモジュールについて読むまたはダウンロードする場合は、 www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/toolboxをご覧ください。

- モジュール1、*出生後3歳まで*
- モジュール2、*特別教育*
- モジュール3、*医療福祉手当*
- モジュール5、*子供を擁護する方法*
- モジュール6、*援助および支援*

遺言、後見人、および当別支援トラストについて詳しくは、STOMPに電話（800）5-PARENTでお問い合わせください。

ご存知ですか？

退役軍人の子供がTRICAREによって尚も医療サービスの適用資格がある場合は、拡大ケアヘルスオプション（ECHO）またはECHO在宅医療福祉手当の適用資格はありません。これらの福祉手当は、現役勤務の軍人、および不測の戦略または連邦が出資する戦略を支援するために30日以上現役勤務の州兵および予備軍のためのものです。

注 記

入門

モジュール5への入門

ここまで子供への支援をたくさんしているにもかかわらず、まだやっていない別の仕事を見つけたら落胆するものです。これは、頻繁な別離や移転を経験している軍部の親にとっては特に該当することでしょう。認識していないかもしれませんが、あなたは恐らくすでに子供を擁護しています。擁護とは、子供と子供の健康状態について学ぶことや、記録および連絡文書を管理することに加え、子供が適用資格のある医療や教育を確実に受けられるようにすることが含まれます。

子供を擁護するときに完全な親などいないということを覚えておいてください。ミーティングに出席できない時もあれば、書類を失くすこともあります。他の親たちに相談してください。しかし自分自身を信じてください。肯定的な視点を維持するのは、疲労やフラストレーションが溜まっているときは大変困難です。子供は恩恵が得られるはずの介入のすべてを受ける資格があるわけではないということと、親が連絡をとっている医療や教育の専門家は、子供に肯定的な結果を生む支援ができることを理解してください。

有効なコミュニケーション

子供の医療機関または学校組織と交流があろうとなかろうと、効果的なコミュニケーションが、擁護成功の土台となります。明確に話し、できれば笑顔を忘れず、そして明るい態度が否定的な態度よりも生産的であることを忘れないでください。

平静を維持した明確なコミュニケーション

有効なコミュニケーションには、アイコンタクトや、平静で抑揚のある声、好意的な印象を与えるボディランゲージなどがあります。医療専門家や学校の担当者と交流を持つときは、感情に気を付けてください。気がかりなときや、心配なときがあります。できるだけ前向きな振る舞いを維持してください。気持ちよく協力すると、人々にあなたの意見に賛成してもらえるだけでなく、自分自身も気持ちがよくなるでしょう。誰かに対して礼儀正しくするのと、誰かに同意することは同じではありません。落ち着いた、明るい、焦点を絞った状態を維持することは、子供のために懸命に努力している両親にとって大変なときもあります。

誰かが言ったことが理解できない、またはそれに同意しない場合は、「私は、あなたが_____とおっしゃっていると理解してよろしいでしょうか？

可能な場合、書状は「関係者各位殿」とするよりも、特定の受取人宛てに書きます。この方法では、前もって電話を2、3回かけておく必要があるかもしれません。

」と丁寧に尋ねてみてください。そうすることで、早い時点で誤解を明確にできるか、同意しない領域を定義できます。詳細な説明を依頼することを恥ずかしく思わないでください。自分の子供の教育や病状についてできるだけ深く理解するのが親の仕事です。一致する点を探し、他の人が、あなたが彼らの視点を理解するように努めていることが分かるようにしてください。援助をくださった方々にお礼を述べてください。

あなたが感じるフラストレーションや怒りにもかかわらず、子供に関する状況が希望どおりに解決されていない場合でも、平静を維持してください。理性を欠いた、矛盾した、または怒りっぽい人であると思われたくはありません。怒りを爆発させると、親の信頼性と擁護能力を損なうことになります。

書状の作成

学業成績のコピーの申請や、ミーティングの依頼、または問題の記録など、複数の理由から書状を書く必要がある場合があります。人によっては書くことが好きな人もいますが、そうでない人は、以下のヒントを参考にすると効果的な書状が書けるようになります。

- 明確な一般的な言葉を使用する
- 短い書状にする
- 最初の段落で目的を述べる
- 期待する対処の内容について説明する
- 書状は礼儀正しく締めくくる
- 連絡先を含める

書状はいったん送付されたら、取り戻すことはできません。怒っているときに書く場合は、数日間待ってから投函します。動揺の理由は正しいかもしれませんが、怒りが爆発されてしまうと動機が損なわれる場合があります（例：子供の教育を続ける場合や、適切な医療を保証してもらう場合など）

2週間たっても回答が得られない場合は、もう一度書いて、最初の書状のコピーも同封します。この書状でも回答が得られない場合は、組織の指揮系統に上申します。

整理整頓

医療機関や学校組織と連絡をとるとたくさんの書類が発生します。さらに事態を困難にするのは、軍部の家族は数年ごと移転することです。したがって、新しい学校組織を何度も行ったり来たりしなくてはなりませ

ご存知ですか？

擁護はよく考えられた活動です。育児は、活動的かつ感情的な活動です。2つを混合すると複雑になり得ます。上手に混合できると、知識を得て、整理の行き届いた、愛情あふれる親が並外れた擁護者になります。

ん。移動するたびに、書類を失くす可能性があります。書類は効果的に子供を擁護する重要な要素であるため、親はこの書類作業の整理をするシステムが必要です。

あまり書類の数が多くない人にとっては、学校からの書類を保管するフォルダの様に簡単な場合があります。人によっては複数のバインダーを持つ人がいます。記録がよく整理されていると、子供の医療または教育に関するミーティングに行く活力が与えられます。

これらのファイルを整理し始める前に、子供が何が必要なのか考えてください。これらは主に身体に関するものですか、それとも教育上のものですか？子供の個人記録を保持している機関はいくつありますか？必要に応じて、記録がほしい場合に連絡する担当者や機関の一覧を作っておきます。子供が頻繁に医療支援のほかに特別教育支援を要する場合は、医療と教育の2つの別々のバインダーでファイルし始めるようにしてください。

特別医療組織記録

特別医療支援を要する子供向けのDoD特別医療組織記録（SCOR）は、看護人のためのツールです。これによって、家族の継続支援および医療支援に関する情報の記録と追跡管理をする中央収納庫が得られます。家族の方は以下のような複数の方法でSCORを使用できます。

- 医薬または治療の変更を追跡する
- 医療機関およびコミュニティ組織の電話番号の一覧を作る
- 予約診察のために準備する
- 病歴情報をファイルする
- プライマリケアの医師、学校の看護師、託児所の担当者、およびその他の介護人と情報を共有する

それぞれのSCORは、特別支援を要する家族の独特の必要に対して調整して作成されます。たとえば、SCORには、子供の個人別家族サービスプラン　（IFSP）、または個別教育プログラム（IEP)の書類をコピーするためのセ

ご存知ですか？

医療機関や学校組織と強力な関係を持つことは、親と子供にとって重要です。良好な関係づくり、およびそれを維持することはすべての人にとって有益です。

クションが含まれます。軍部の家族の方が、特別医療支援を要する子供向けのSCORのハードコピーを発注するためには、Military OneSourceから、または電話（800）342-9647にてお問い合わせください。SCORのハードコピーには、SCOR、およびDoD 特別支援・親のためのツールキットファイルが含まれているCDも同梱されています。SCORは、名刺、領収書、およびその他の重要なアイテムを入れるポケットの付いたプロフェッショナルなデザインのバインダーに入っています。SCORのコピーは、MilitaryHOMEFRONT（www.militaryhomefront.dod.mil/tf/toolsforfamilies/scor）からもダウンロードできます。

ご存知ですか？

電話記録は、あなたのファイルの重要な要素です。電話記録は、診療予約や医療保険補償範囲について話した時刻と相手に関するメモを保持しておく場所です。ここに書き留めた2、3のメモによって記録が正確に保持されるようになります。

記録を整理しておくと、より有能な擁護者になる助けとなります。

病歴

病歴は、軍の治療施設（MTF）に申請できます。1枚目のコピーは無料で提供されるはずです。病歴コピーの受領方針は施設によって異なりますが、病歴の申請は常に書面にて行います。病歴のコピーを受け取るには、6週間ほど待つように言われる場合があります。

教育ファイル

教育ファイルには、子供の学歴が含まれている必要があります。モジュール2、*特別教育*には、子供の学歴を申請するサンプルの書状が含まれています。バインダーの上または中に子供の写真を記録し始め、毎年学校の写真を追加してもいいでしょう。ファイルを作成する際は、情報整理のために以下のセクションを作成するよう検討してみてください。

- 通話記録
- 評価
- 個別教育プログラム（IEP）
- 規律記録
- レポートカード/中間報告
- 学校組織への連絡文書
- 学校組織からの連絡文書
- 予防接種および適切な診療録
- サービスプロバイダーと機関の連絡先

学校に送付する書状をすべてコピーし、忘れずに自分のファイルに入れておくようにしてください。学校組織に連絡する際は、配達証明書付き郵便を使用することを検討してください。そうすることで、学校が送った郵便物を受け取ったかどうか、またはその時刻ついては疑いの余地がなくなります。正確な電話記録の価値については低く見積もらないでください。会話をした学校の担当者への感謝のメモを付けて重要な会話を追跡調査します。たとえば、「今日は娘の教育についてお話しくださりありがとうございます。私は、あなたが（日付）までに（提供する/変更する）ことに同意したことを理解します。私の理解が正しくない場合はお知らせください。」このファイルにIEPミーティングからのメモ、および学校からのあらゆる校内停学スリップまたはメモを保管します。年代順にすべての書類を保管します。

電話記録には、日付や、会話の説明、および相談先の担当者名を含めます。

医療のアドボカシー

子供に身体上のまたは教育上の診断が下ったことに自分を適応させるのは、圧倒される思いになるかもしれません。多くの親が、子供の障害に関して可能なすべてを学ぶことで対応しています。子供の医療機関および子供について分かっているその他の専門家と相談します。日中思い浮かんだ質問を書き留めておいて、次の予約診療の時にそれらについて質問します。子供の健康状態を理解すると、親が予期可能なことを知るのに役立つ場合があります。

可能なすべてについて学ぶと勇気付けられることがありますが、新情報に圧倒されないようにしてください。時間をかけて、新しい診断による感情的影響に対応してください。診断自体の中でまたは診療自体について、診療が子供を定義しているのではないことを覚えておいてください。

必要な紹介状の入手

特定の種類の心理療法、または子供用特別機器に対しては紹介状が必要な場合があります。医療機関だけで効果的にその申請書を書くことができると思わないでください。紹介状を書くために子供の医療機関と緊密に協力すると、紹介状が承認される助けとなります。

親と医療機関は、子供が必要とする機器または特定の心理療法を効果的に申請することができます。たとえば、子供に対して耐久性の高い機器が必要な場合は、医療機関と協力して、障害が原因の機能低下をその機器が改善する仕組みの徹底した完全な説明を書きます。

HOMEFRONT-Connectionsにあなたの問題の説明を投稿し、他の家族がどのように類似した状況を取り扱っているかを確認してください。

TRICAREの決定内容の上訴

拡大ケアヘルスオプション（ECHO）またはECHO在宅医療サービス（EHHC）への加入が認められない場合は、拒否の書状に、上訴する資格を判断するために必要な特定の情報が記載されています。資格がある場合には、嘆願書の送付先情報および期限も記載されています。上訴のプロセスは、拒否された理由によってさまざまです。書状に、決定事項は上訴が適用されないと記述されている場合でも、念のため質問してみてもよいでしょう。書状には拒否の理由が記載されていますか？内容は正確ですか？TRICAREに子供の状況をもう少し明確に説明できますか？TRICAREの地域契約業者に拒否された理由を質問してください。

TRICAREの地域契約業者が上訴の支援をします。TRICAREの地域オフィス、またはお近くの軍事施設MTFの被保険者カウンセリングおよび支援コーディネーター（BCAC）に問い合わせることもできます。詳しくは、www.tricare.milをご覧ください。

早期介入サービス

家族は、個別障害者教育法（IDEA）に基づいて提供される早期介入サービス（EIS）に加入すると、法律上の権利が与えられます。これらの手続き上の保護条項および適正手続き権は、早期介入制度に加え、特別支援を要する家族と子供の関心を保護するためのものです。手続き上の保護条項は、EISの条項とは別の制度ではなく、その一部と解釈してください。各権利と保護条項は、家族のEISでの経験と関連しており、早期介入チームの情報を持つメンバーとして家族の役割に関する法原則を伝えるものです。EISの手続き上の保護条項には以下の権利が含まれます。

- 守秘義務および情報公開の権利。親が許可しない限り、早期介入プログラムは親と子供に関係する情報を誰とも共有できません。さらに、早期介入プログラムがその他のプログラムや専門家から情報や記録を入手するためには、親の許可が必要になります。
- 記録を調査する権利。親は、親と子供に関する早期介入プログラムの記録については何でも確認する権利があります。
- 事前の書面による通知の権利。親は、EISプロセスが始まるときや、サービス内容の変更がある場合は必ず事前に書面による通知を受け取る必要があります。
- 理解する権利。親は、すべてのEISの活動と書面の記録に関する情報を理解する権利があります。早期介入プログラムは、

ご存知ですか？

医療機関および専門家が提供する情報について説明が必要な場合は、親が情報を確かに理解するために必要な質問は進んでしてください。

親が情報を理解するチームメンバーになれるように、可能ならば別の言語または伝達方法で情報を提供します。

- 受理または拒否する権利。すべてのEISには自由意志で加入できます。評価またはサービスを行う前に、親は書面で承諾することを求められます。EISの承諾または拒否をする際は、いずれかまたはすべてについて行うことができます。あるサービスに参加しないと選択した場合でも、承諾することを選択するサービスには影響しません。
- 同意しない権利。親には、子供および家族が受けるEISの側面のいずれかについて同意しなくてもいい権利があります。また親は、苦情を適時に解決してもらう権利も持っています。
- 論争中のサービス継続の権利。親と子供は、あらゆる種類の論争の解決中に現在提供されているEISを継続して受けられます。

親とプロバイダーは、子供のEISについて異なった考えを持つことがあります。懸念事項や質問がある場合は、すぐにサービスコーディネーターまたはプロバイダーに相談してください。IFSPミーティングの開催をいつでも申請して、機能している点、または変更の必要がある点について話し合うことができます。話し合いによって、不一致のほとんどを解決できます。

不一致が継続する場合には、すべての州および管轄区域、および軍部の教育育成介入サービス（EDIS）プログラムでは、論争の解決プロセスまたは適正手続きの手順が用意されています。一般に、調停が任意の第一歩の支援のために提供され、早期介入プログラムは両者が満足する合意点に達します。話し合いが機能しない場合、適正手続きの意見聴取を求める書面の申請を提出できます。州のEIS手続き上の保護条項および適正手続きの手順に関する特定の情報をお探しの場合は、www.nectac.org/topics/procsafe/stateonlinec.aspをご覧ください。

軍部のEDIS EISの手続き上の保護条項および適正手続きの手順に関して詳しくは、www.edis.army.mil/safeguards.htmをご覧ください。

お近くのEDISプログラムに関する特定の情報をお探しの場合は、www.militaryinstallations.dod.milをご覧ください。

ご存知ですか？

今後、おそらく適正手続きの意見聴取時の証拠として、正式な事柄で原本が必要になる場合があるため、原本には直接書き込みをしないでください。代わりに、自分のコメント用付箋を使用します。

個別障害者教育法で特別教育の適用資格がない子供によっては、504条で支援を受けられる場合があります。

教育の擁護

特別支援を要する子供が教育を受ける方法に影響を及ぼす法律について認識しておくことが特に重要です。

法律

モジュール2、*特別教育*は、IDEAに関する詳細な情報、すなわち全米、米国領土、およびDoD養成学校全体の学校制度の特別教育の法律について導くものです。IDEAは、特別支援を要するすべての子供が無料の適切な公教育（FAPE）を利用できることを保証しています。また、子供と親の権利が保護されることに加え、子供が自分の教育目標を満たし、子供の発達の評価ができる必要なツールを教師と親が保有できるようになります。

504条のリハビリテーション法は、障害を持つ個人が障害を理由に差別されないように守る公民権法です。本条は、組織および雇用者が、プログラムの福祉手当およびサービスを受ける平等の機会がある障害者が除外または拒否されることのないように守ります。本条の無差別の要求事項は、連邦政府関係機関から財務支援を受けている雇用主や組織、および公立学校に適用されます。これらの組織や雇用主には、病院、養護施設、精神衛生センター、および社会福祉プログラムの多くが含まれます。

本条によって、障害者は以下のように定義されます。

- 1つまたは複数の主要な生命活動が極度に制限される身体障害者または知的障害者
- 1つまたは複数の主要な生命活動が極度に制限される身体障害または知的障害を持っていた履歴がある、あるいは持っているとみなされる人。主要な生命活動とは、身の回りの世話、歩行、視覚、聴覚、話すこと、呼吸、作業、手の作業、および学習などのことです。

504条では障害の定義がIDEAの定義より広範に関わっているため、IDEAでは特別教育の適用資格がない子供でも、504条では特別支援の適用資格がある場合があります。これは、学習障害や、注意欠陥過多動性障害などの見えない健康状態を持つ子供にとって特に有益です。リハビリテーション法の504条について詳しくは、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmpをご覧ください。

障害を持つアメリカ人法（ADA）は、公民権保護を障害者に与えるものであり、人種、肌の色、性別、国籍、年齢、および宗教に基づいて個人に提供される法律と類似しています。これによって、公共宿泊施設、職業、交通、州政府と地方自治体のサービス、および遠隔通信において障害者が平等の機会を得られることが保証されます。ADAについて詳しくは、www.military-homefront.dod.mil/tf/efmpをご覧ください。

国防総省（DoD）命令1020.1「国防総省が支援または指揮するプログラムおよび活動において障害に基づく差別がないこと」では、DoDが出資する連邦基金で設立されているプログラムおよび活動では障害に基づく差別を禁じています。この命令について詳しくは、www.dtic.milをご覧ください。

その他の情報または支援については、お住まいの州の保護および擁護機関にお問い合わせください。全米障害者権利ネットワーク　の州の機関についてはwww.napas.orgをご覧ください。

学校組織

IDEAの基本原則の1つは、子供と親の権利が確実に保護されるためには手続き上の保護条項が盛り込まれており、また子供の評価、適用資格、および教育プログラムに関して不一致がある場合の明確なステップが盛り込まれていることです。親は、特別教育プロセス全体ですべてに参加する学校チームのメンバーになる権利があります。このプロセスは分かりにくく、家族にとってフラストレーションになる場合があります。親は、子供の教育で積極的な役割を演じ、特別教育プロセス内の権利を知ることが奨励されます。

IEPミーティングのかなり前にいずれかの評価の結果を読み、よく理解すると助けになるでしょう。ミーティングの有意義な参加者になろうとすると同時に、複雑な評価を読んで理解できると思ってはいけません。

親の責任

親としての権利を持つと同時に、責任が求められます。教育計画プロセスに積極的に関与することで、親が、子供が学校や家でうまくやっていくために必要なサービスを受けることを確かにできます。親として以下のことを行う必要があります。

- 懸念事項を話し合うために、自分の子供に関するミーティングに準備して参加します。
- 起こっていることを自分が理解しているか確かめるために質問をします。
- 計画とプログラムの作成に必要な関連情報をすべて提供します。
- 成長領域、医療と医薬の変更点、および子供が抱えている困難を含め、プラス面とマイナス面双方の子供の生活のあらゆる変化について学校の関係者に知らせます。
- 特別教育サービスを管理するルールや法規について勉強します。

子供の特別教育プログラムに関する懸念事項がある、またはある時点で学校からの推薦事項に同意できない場合は、解決できるまで学校と効果的に協力できるオプションがいくつかあります。第1のステップは、子供の一般ま

たは特別教育の教師に相談することです。学校の管理者は、学校の水準で問題の解決を支援することもできます。いかなる懸念事項もできるだけ形式的でない設定で解決できれば最も容易です。論争プロセスのより形式的なステップに移る前に早期の解決を促す支援方針には、以下が含まれます。

- 考えを整理する。ミーティングに行く前に、全体像について自問自答します。実際の懸念事項または可能性のある論争について、自分の視点または観点は何ですか？この懸念事項や論争は子供にどんな影響を与えますか？この状況を改善するために何ができますか？同意点と不一致点をどうしたら明確にできますか？
- 相手方の視点を検討する。教師または学校の視点から状況を注意深く聞き、考慮するように取り組みます。学校側の視点を説明してもらい、説明の内容を確実に理解します。何が原因で学校または教師はこの視点に立っているのですか？解決を妨げているのは何ですか？
- 問題を見直す。どうしたら非難しない様に問題を言い直すことができるか考えてみてください。この問題はどうしたらもっと管理可能になりますか？どうしたら皆が成功について責任を共有し、認めて褒め合うことができますか？

子供の特別教育チームの積極的なメンバーとして、親が、子供の個別教育プログラムを形成する意見を持っているのです。詳しくは、モジュール2、特別教育をご覧ください。

問題解決

家族と学校が子供の教育に影響する何らかの問題で一致しない場合、双方がその懸念事項を話し合い、妥協しようとすることが重要です。親と学校の担当者が問題を解決できるように使用できる非公式の方法がいくつかあります。第1のオプションは子供のIEPをレビューすること、そして第2のオプションは促進IEPミーティングを開催することです。

非公式の問題解決

個別教育プログラムのレビュー

子供の進歩の速度、提供されているサービス、または子供の教育の配置について懸念している場合は、いつでもIEPミーティングを申請する権利があります。このミーティングでは、学校と懸念事項について話し合うことができ、IEPチームの協力的なメンバーとして皆が一致できる解決策に向けて取り組みます。

ご存知ですか？

できるだけ最も非公式な設定で、あらゆる懸念事項を解決することが最も効果的です。

IEPレビューミーティングで合意した解決策は、永久のものである必要はありません。IEPチームにとって、特定の期間に、特定の指示のプランまたは授業の配置に取り組むなど、一時的な歩み寄りに合意することは珍しいことではありません。この期間中、親と学校は、一時的な歩み寄りがどの程度良く懸念事項に取り組んでいるかを確認できます。こ　の試用期間によって、親と学校が、皆が快適で子供の必要を満たす合意点に達する支援が得られます。

促進個別教育プログラムのミーティング

促進IEPミーティングによって、特別教育の意思決定をする際に、IEPチームは合意に達することができます。このミーティングには、IEPチームのメンバーではない中立のまとめ役が参加します。このまとめ役は、子供のプログラム作成にチームが続けて重点を置けるようにする一方で、懸念事項がでてくるとこれに取り組むように働きかけます。まとめ役は、チームメンバー間でのやり取りを促進し、提示された懸念事項の解決に向けて親と学校がすべてに参加して取り組めるように支援をします。まとめ役は、チームに決定を強いることはありません。まとめ役は、合意点と不一致点を明確にし、チームメンバーに対して効果的なコミュニケーションと聴く技術の原型を作ります。不一致がある場合には、まとめ役は、親と学校に新たなオプションに目を向けるように勧めます。最も重要なのは、中立のまとめ役がミーティングの焦点は子供であることを確かにすることです。

いずれかのミーティングに向けて準備する場合、どのように懸念事項に取り組めるかについて考えることが重要です。この状況に適切でない前提事項があるかや、どうやって親と学校は相互の目標と優先事項を構築できるか、また、学校と連携することで子供にどのようなメリットが期待できるかについて考えてください。

このような非公式の方法を通して懸念事項が解決されない場合には、公式の会議、調停の申請や適正手続きの意見聴取、および州への苦情提出など、懸念事項に取り組むために次のステップを踏むことができます。適正手続きの手順に関して詳しくは、学校や地元の教育機関（地区のオフィス）にお問い合わせください。また、論争解決のためのプロセスについて詳しくは、州の親の方々向けトレーニングと情報（PTI）センター、またはお近くのコミュニティの親の方々向け援助センターにお問い合わせください。

公式の問題解決

会議

会議では、あらゆる問題や懸念事項に取り組む機会が提供されます。参加者は、学校の運営管理者および子供の教師やサービスプロバイダーなどが一般的です。これらの会議やその他の学校とのやりとりは、親の懸念事項に基づいた事実、および親が求めている特定の軽減対象を明確に述べることができるときに、最も生産的になります。学校の担当者と緊密に連携し、

合意できない領域と可能な解決策を明確に定義する必要があります。会議が相互に合意できる解決策に至ると、学校は、不一致点を要約し、不一致点をどのように穏便に解決したかを説明する議事録を作成します。会議で相互に合意できる解決策を見いだせない場合は、親または学校の担当者が書面で調停を申請するか、調停プロセスの権利放棄を実行して正式な適正手続きの意見聴取を申請することができます。

調停では、親と学校がプロセス全体を管理できるようになっており、親と学校は、双方が完全に責任を持つ合意に達することが許可されています。

調停

調停によって、訴訟をしないで論争を解決できます。親が調停をする場合は、目標は、論争を解決することと、学校組織との関係を守ることの2つになります。正式な調停を申請すれば、中立の第三者によって、親と学校は子供の特別教育サービスに関する論争が合意に達する支援をしてもらうことができます。調停は、任意の参加であり、無料で実施されます。調停プロセス中の話し合いは、機密扱いであり、今後の適正手続きの意見聴取や民事手続きには証拠として使用することはできません。

国立論争解決センター（CADRE）は、不一致の解決のためには調停およびその他の協力的な方針を使用することを奨励します。CADREwww.directionservice.org/cadre）をご覧ください。

適正手続の苦情

適正手続きの苦情は、障害のある生徒へのFAPEに関するID、評価、教育配置、または提供にかかわる事項のいずれかに関係する親や学校地域によって提出された書面の苦情のことです。適正手続の苦情は、州が異なる期限を設けていない限り、論争の問題の2年以内に提出する必要があります。

解決セッション（ミーティング）

IDEAでは、親は、親の適正手続の苦情を説明するために学校とミーティングをする機会が与えられ、学校は、親の苦情を解決する機会が与えられます。適正手続き（通知または苦情ともいわれる）を申請する親の嘆願書を受領して15営業日以内に、学校は解決セッションを開催しなければなりません。このミーティングセッションの出席者は、親のほか、苦

ご存知ですか？

同伴者がいない場合は特に、ミーティングをテープに録音してもよいでしょう。個別障害者教育法には記述されてはいないものの、多くの州にはミーティングのテープへの録音に関する規則があります。州固有の情報については、親トレーニングと情報センターにお問い合わせください。お住まいの州でミーティングのテープへの録音を許可している場合でも、事前に録音することを学区に通知する必要があります。ミーティングを録音する親の意思が通知されると、学校はミーティングを録音するためのレコーダーを持参する場合があります。

情に特定されている事実の特別な知識を持っている子供の特別教育チームの関係者、嘆願書に関する意思決定をする権限のある学校組織の代表者です。解決セッションは、親と学校の双方が解決セッションの権利放棄をする、あるいは解決セッションの代わりに調停に参加することを書面にて同意していない限り行われます。

適正手続きの意見聴取

会議や調停でも、FAPEへの子供のIDや、評価、配置、IEP、または権利に関する不一致を円満に解決できない場合は、親または学校は適正手続きの意見聴取を申請できます。

州の苦情

州の苦情とは、州の学区が、IDEAのパートBの要求事項（特別教育サービスの提供に関してすべての要求事項を含む部分）、または州の特別教育法または法律のいずれかに違反した苦情を申し立てる、組織または個人が提出可能な書面による苦情のことです。州の苦情は、申し立てのあった違法の1年以内に提出する必要があります。

独立教育評価

障害児の親が子供の評価の結果に同意しない場合は、公費で独立教育評価（IEE）を申請する権利があります。IEEは、子供の教育に責任がある学校に雇用されているのではない適格な試験管によって実施される評価です。IEEを申請すると、学校は、他の情報に加え、IEEを取得可能な場所の情報を提供する必要があります。モジュール2、*特別教育*には、サンプルの独立教育評価の申請が含まれています。

学校は、申請を許可してIEEの支払いを行うか、または学校側の評価が適正なものであったことを示すための意見聴取を始めることができます。学校が意見聴取を始め、意見聴取担当者が学校の評価が適正なものであると最終判断を下した場合でも、親はIEEへの権利を尚も持っていますが、公費の扱いではなくなります。公費または自費で独立評価を入手する場合は、学校は、子供のFAPEに関して実施された任意の決定内容の評価を検討します。ただし、IEEを入手したとしても、学校が、親のIEEの結果に一致する決定をしなくてはならないということではありません。学校は、子供の適用資格、配置、IEP、サービス、またはFAPEに影響する意思決定をする際はあらゆる可能な情報を検討する必要があります。

サービス承諾の撤回

両親が一方的に、すべてのサービスまたは特定のサービスの継続提供に関する親自身の承諾を取り消して、子供の特別教育および関連サービスを撤

学級の担任教師と調整して、子供の達成水準を最大限にするやりがいのある機会を家で提供できます。

回する場合があります。親は承諾を撤回する場合、書面で行う必要があります。サービスの中止は子供の教育配置に変更が生ずるため、学校が撤回通知を受け取った場合には、特別教育および関連サービスの提供を止める前に、学校は両親に書面で通知する必要があります。通知は両親に以下についてアドバイスします。

- 承諾の撤回によって発生する配置とサービスの変更。
- 学校が、サービスの撤回が子供の最良の関心事に一致していないと思うかどうか。
  - 子供がそのサービスを受けなかったら、子供にFAPEを提供することに両親と特別教育委員会が同意する場合は、子供のIEPはサービスを取り消すように変更できます。
  - 子供が特定のサービスを受けなかったら、子供にFAPEを提供するか否かに両親と特別教育委員会が同意しない場合は、両親は、サービスが子供に適切でない裁決を探すための適正手続きの手順を踏むことができます。
- 学校が子供の特別教育と関連サービスを終了する日付。
- 子供は普通教育の生徒としての訓練ができ、IDEA訓練保護の適用資格がありません。
- 両親は、子供は特別教育と関連サービスが必要な「障害児」であることを判断するための最初の評価を続けて申請する権利を維持します。子供は、継続評価後に適用資格が決定されるまで特別教育と関連サービスを受けないことになります。
- 学校は、調停や適正手続きの意見聴取を行うなどして、特別教育や関連サービス提供の承諾を撤回するような挑戦はしません。

子供が順調に学習することへの支援

子供は、自然な好奇心を持って学校に入学し、子供の世界を学んで探検します。学習の経験は意義深く、今日との関係を持っています。これによって、子供は教えられたこと、そして自分自身の生活や経験とのつながりを作ることができます。親は子供に、教育体験を探索して利用することと、この知識を教室以外の毎日の暮らしに適用することを導くことができます。

親の多くは、教師や教育者が各子供の成功を深く配慮しているために、IEPおよび適用資格を定めるミーティングが前向きな生産的なものであることを見い出しています。

子供の日常生活への積極的な関心

子供は毎日学校から興奮して帰宅するでしょう。時間をとって学校であったことについて子供と話してください。子供が話すべき内容が重要であることを明確にしてください。子供に日々の活動を意義深いものにしてあげられる方法を考えてください。活動について尋ね、何をしたのかや、活動がどのように完了したかを子供に説明してもらってください。親の熱意や関心によって学校に積極的に臨む態度が形成されるのです。

学業のレビュー

子供は学業に誇りを持っています。学業に目を向け、どのように子供がこれを完了したか質問する時間をとってください。子供を誉め、子供がその内容に誇りを持つべきことを強調してください。その内容が受け入れられるものではない場合、上達する方法を考えるように勧めてください。間違うことは普通のことであり、次回から良い仕事ができるようにこの間違いから学ぶ必要があることを子供に知らせてください。親が家で子供の成果を掲示するとき、子供はワクワクします（例：冷蔵庫に子供の作業用紙を貼るなど）。

好奇心と動機を持つことの奨励

子供は世の中を探索し続け、毎日の発見に疑問を持つものです。子供が疑問点への答えを自分で見つけられように助けてあげて、そのままの好奇心を持つことを奨励してください。学習を楽しく、意義深いものであるようにしてください。子供が学習の目的が分かると、さらに躍進し、新しい興味を見つけるようになるでしょう。

理解の促進

子供が学習の目的を完全に理解するには、学習を自分の生活にどうやって適応できるかを認識する必要があります。時計、お金、カレンダーを使って経験談を語ることや、指示に従う、標識や指示を読む、短いメモやリストを書く、そしてゲームを言葉で表すなどして、生活とのつながりを作ってあげてください。

毎日何かをたくさん読んであげてください！

準備

整理整頓ができる子供は学習態勢が十分にできています。明確な宿題の習慣を身に着けさせ、子供に適切にできる環境を提供します。毎日の宿題のスケジュールを設定します。部屋は適切な照明をつけ、静かにしてあげてください。簡単に教材が準備できる状態であれば時間を最大限学習に利用できるでしょう。子供に宿題完成の責任を持たせてください。決められた習慣を子供が忘れた場合は、思い出させてください。

子供にセルフアドボケートになることを教える

親は、できるだけ子供に自分の身の回りの世話をすることについて教えることがどんなに重要かを知っています。これは、個人の衛生や、道路の安全な渡り方、問題児の同級生を回避する方法を教えることでもあります。自己擁護を教えることは、これとそれほど違いがありません。我々が、子供が人として成長することを期待する場合、子供には自分自身で話をして、自分自身で判断する機会を与える必要があります。

自己擁護は、子供に、助けを求め、自分自身の行動の責任を受け入れるように教えることから始まります。その一部は、子供の人生計画の積極的な参加者になることです。何かで子供が困惑しているときに、子供が十分正々堂々と意見する自信があると感じるように支援することです。これは、家でも学校でも練習できます。自己擁護は、新しい教師に授業をテープで録音する必要があることを説明することや、ウェイターに注文を間違えたことを伝える、または公共の交通機関の利用方法を学ぶなどさまざまな形態をとります。子供に買い物の支払いをさせることや、誕生日会の計画を立ててもらうことから始められます。障害を持つ生徒にとって、自己擁護のスキルはあらゆる人生の設定で必要であるため、そのスキルを育成または向上させることがたいへん重要になります。

子供の学校での移行プロセスは助けになります。移行は、子供の教育の重点領域が、子供の課題を特定してそれを最小限にするために取り組むことから、将来を見据えて、子供が仕事を学ぶことや、独り立ちのために何をするかを探求することに移行し始めるときです。生徒は、必要や、要求や、希望を表現しながら、このプロセスの重要な部分になるはずです。充実した生活を送るためには、子供が計画プロセスの一部になる必要があります。移行について詳しくは、この親のためのツールキットのモジュール4、*移行時期の家族*をご覧ください。

最も重要な大人向けサービスの 1 つは、社会復帰サービスです。社会復帰サービスには、障害者が仕事のための準備をし、仕事を見つけられるように、計画、援助、支援、および訓練することが含まれます。ほとんどの州に、これらのサービスを提供する社会復帰機関があり、地域にオフィスを設置しています。別な州で退役することが分かっている場合は、事前にその州の機関に連絡してください。

福祉手当擁護

軍の福祉手当に加え、子供は連邦および州の福祉手当の適用資格がある場合があります。

追加保障所得

追加保障所得（SSI）は、低所得者、および65歳以上の高齢者や、目の不自由な方、障害者で援助をあまり持たない方のための月々の支払いです。子供も適用資格がある場合があります。親または子供が適用資格があると思わ

「子供は親より長生きする可能性が高いのが現実です。親が逝ってしまうときに、子供に何とかやっていける技術を親が与えていないなら、親は何をしているのでしょうか?」

Heatherさん、ワシントン州Ft. Lewis在住のそれぞれダウン症と学習障害を患う2人の息子さんの母親

親から親へ

れる場合は、最寄りの社会保障オフィスを訪れるか、社会保障管理にお電話（800）772-1213でお問い合わせください。応募が拒否された場合は、その決定の上訴を検討する必要があります。上訴は、適時行う必要があり、通知の日付の30日以内、または上訴中に福祉手当を申請している場合は10日以内に行ってください。これは、「保留中に支払われる補助金」と言われます。結果が思い通りでない場合は、その福祉手当を返済することを求められる場合があることを覚えておいてください。州を転々と移動するときは、適用資格の必要条件は州によって異なります。

ご存知ですか？

多くの州では、追加保障所得の適用資格は、Meicaidの対象者に与えられます。

Medicaid

Mdeicaidは、低所得であまり援助を持たない個人および家族に医療サービスの支払いをします。Medicaidは、幅広いガイドラインのある国のプログラムですが、各州が、州独自の適用資格ルールを設定して提供するサービスを決めています。州を転々とする方はよく覚えておいてください。州はまた、19歳未満のその他のグループの子供、または収入の高い家族の子供を対象に選択する場合もあります。

多くの州が、1982年税均衡財政責任法（または、Katie　Beckett権利放棄、または家庭およびコミュニティベースサービス放棄）によって子供の適用資格を定めました。これによって、子供は親の収入に関係なく適用資格が得られます。お住まいの州のMedicaidおよびMedicaid権利放棄について詳しくは、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/resourcesをご覧ください。

障害のある家族の医療費に苦労している軍部の家族は、家庭およびコミュニティベースサービスのMedicaidへの応募を検討する必要があります。福祉手当は、TRICAREで提供される内容より優れている場合があります。

公法への影響力

毎日の生活で手いっぱいの中、新しく提案された法律について知ることは、するべきことリストの下に位置していることでしょう。ただし、親は、子供の教育、医療、および生活の質に影響する法律に影響を与える力を持っています。

忙しい親には何ができるでしょうか？第1のステップは、情報を得ることです。多くの親が、オンラインの掲示板を見つけ、毎日を乗り切る方法についてのヒントを共有し、子供に影響を与えられる公共の問題の情報を得るための、たいへん有力な資源ににになっています。また、お住まいの州のPTIセンターも、親および家族の問題に関する現在の情報のすばらしい援助になります。

重要な問題が表面化したら、選出された役人に電話を1本掛ける、または手紙を1ページ書くなどして、意見や懸念事項を伝えてみてください。選出され

多くの親が、掲示板が、毎日を乗り切る方法についてのヒントを共有し、子供に影響を与えるられる公共の問題の情報を得るために、たいへん有力な資源になると認識しています。

た役人は、有権者との対話に注意を注ぎます。家族の話をしてください。手紙や電子メールを送る場合は、家族の写真を添えてください。これで、法律に詳しい役人にこの問題の特色を出すことができますが、役人はこれがどのように有権者の生活に影響するかについて聞く必要がある場合があります。

公教育およびその他の政府サービスによる家族への支援内容について個人的な意見を共有できます。さらに、子供のサービスおよび資金の追加の必要について説明することができます。

詳細情報

この親のためのツールキットの、その他のモジュールについて読むまたはダウンロードする場合は、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/toolboxをご覧ください。

- モジュール1、*出生後3歳まで*
- モジュール2、*特別教育*
- モジュール3、*医療福祉手当*
- モジュール4、*移行時期の家族*
- モジュール6、*援助および支援*

障害児の他の親の検索

軍事施設EFMPオフィスは、同様の課題に直面している他の家族を探すお手伝いをします。一人ではないことを知ると大きな安堵が与えられるでしょう。お近くのEFMPオフィスの連絡先をお探しの場合は、MilitaryINSTALLATIONS（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。

HOMEFRONTConnections

国防総省（DoD）ソーシャルネットワーキングサイトのHOMEFRONTConnectionsは、特別支援を要する軍部の家族がオンライン上で出会って交流し、体験談を分かち合う、写真やビデオを投稿する、ブログを書くことや、意見交換ができるセキュリティ保護された場所を提供します。すでに存在するグループに参加したり、あなた自身のグループを作ってみてください。HOMEFRONTConnections（https://apps.mhf.dod.mil/homefrontconnections）をご覧ください。

お住まいの州の親の方々向けトレーニングと情報センターの検索

それぞれ州には、少なくとも1つのPTIセンターの本部があります。PTIセンターは、身体や、認識、感情、学習のあらゆる障害を持つ出生から22歳までの、子供と成人した子供の家族を支援します。家族に提供される支援は、子供への適切な教育とサービスの提供をはじめ、すべての子供の教育成果の改善、多種多様なトピックに関する親と専門家のトレーニングと情報連絡、家族と学校やその他の機関の間にある問題の解決、障害児と必要に取り組むコミュニティー援助とのつながりまで、さまざまです。詳しくは、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/resourcesをご覧ください。

特別教育における適切な論争解決センター

教育省が出資する新たな取り組みである、特別教育における適切な論争解決センター（CADRE)は、国立の特別教育における論争解決センターとしての役目を果たし、調停やその他の協力方針を用いて、特別教育および早期介入プログラムに関する不一致を解決します。CADREへのお問い合わせは、www.directionservice.orgをご覧いただくか、（541）686-5060または（541）284-4740（TTY）までお電話ください。

書籍

Military　OneSourceは、擁護に関する複数の書籍を提供しています。これらの書籍は無料であり、図書館資源を介して書籍にアクセスできます。詳しくは、Military OneSourceオンライン（www.militaryonesource.com）をご覧ください。

注 記

入門

モジュール6への入門

軍の生活は困難です。特別支援を要する子供をお持ちであれば、それはそれはなおさらでしょう。軍部の家族は、軍部コミュニティの内外からさまざまな援助を利用することができます。利用できる支援サービスおよび援助について学び、ご家族でお役立てください。

軍部コミュニティの援助

ファミリーセンター

軍事施設に設置されているファミリーセンターは、各種の無料サービスを提供し、軍生活の独特な課題に取り組む軍人と家族の支援をすることを目的にしています。サービスは軍事施設の規模と任務によって異なる場合があります。提供されるサービスは以下のとおりです。

- 移転コンサルティングとロッカーの貸し出し
- 情報および紹介サービス
- 就職ワークショップ
- ボランティアの調整
- 育児クラス
- 個人と家族のカウンセリング
- 個人の財政管理
- 配偶者教育および支援プログラム
- 配備支援
- 家族の生活教育とワークショップ

ファミリーセンターは、親と、軍事施設の例外的なファミリーメンバープログラム（EFMP）オフィスとが連絡できるようにします。EFMPは、地元組織に関する情報を提供し、グループの紹介、援助支援、および各種の複雑な支援を要する家族に対して医療以外の症例管理サービスを提供します。EFMPについて詳しくは、モジュール4、移行時期の家族をご覧ください。お近くの軍事施設EFMPオフィスをお探しの場合は、www.militaryinstallations.dod.milをご覧ください。

援助および支援

6

手配を軍事施設で満たせない場合には、親が保育所を見つける支援をする、子供育成センターから利用可能な援助および紹介があります。

新しい親支援プログラム

新しい親支援プログラム（NPSP）は、出産予定の親と新しい親をさまざまなサービスを提供することで支援します。サービスは、個々の家族の必要に適合させたものであり、家庭訪問、教育、カウンセリング、および特別支援組織や着任/解除のある軍事施設サービスなどの他の援助への紹介などを用意しています。NPSPはまた、新生児のケア、および母親/父親向けの積極的な育児/行動管理に関するクラスも提供します。書籍、小冊子、およびパンフレットなどの教材は、軍事施設NPSPで利用でき、プログラムによっては、さまざまな育児および家族生活用メディアの貸し出し図書館も揃えています。

家族擁護プログラム

軍部のコミュニティは、個人のまたは家族の問題に影響されます。問題は、ストレスが原因の配備関連の問題から、配偶者や子供への虐待を含む家庭内暴力までさまざまです。極めて重要なサービスおよび支援を軍部の家族は利用できます。家族擁護プログラム（FAP）は、国民意識の説明、個人とカップルのカウンセリング、危機介入、犠牲者擁護、支援グループ、およびストレス管理とその他の福利ワークショップなどの活動およびサービスの資金援助をします。FAPサービスは、軍の治療施設や軍事施設のファミリーセンターに設置されています。詳しくは、www.militaryinstallations.dod.milをご覧ください。

子供、若者、およびティーンエージャープログラム

軍部の家族は、多くの場合一般に1日8時間労働より長いシフト制の労働スケジュールを課されており、即座に世界中に配備する準備ができている必要があります。これらの課題は、特別支援を要する子供の介護を伴うと、質の高い保育所を見つけるのは恐らくたいへん困難です。国防総省（DoD）子供育成制度は、柔軟性が高いのにも関わらず高い基準を維持し、以下のサービスを提供します。

- 子供育成センター — DoD子供育成センター（CDC）は、6週間の子供から12歳の子供を対象にケアを提供します。サービスの一部には、子供に適切な施設やサービスを決定し、子供の必要をデイケアの設定で確実に満たせるようにする包括チームがあります。最寄りのCDCをお探しの方は、MilitaryINSTALLATIONS（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。

ご存知ですか？

新たな任地への指令を受けたら、移動の前にスポンサーを依頼して、割り当ててもらうことができます。同様の特別支援を要するスポンサーの家族については、新任地で地元または軍事施設の例外的なファミリーメンバープログラムオフィスにお尋ねください。

- ファミリー保育所 — 基地にあるサービスを提供するファミリー保育所ホームは、軍部の子供育成プログラムによって認定されています。これらのプロバイダーは、長時間または週末に働くようなシフトワークの軍人に対して、また子供のためにホームベースの環境を望む軍人のために必要不可欠なサービスを提供します。ファミリー保育所ホームは、子供のケアに必要な複雑な手順に精通した1人の介護人による一貫性を必要とする、特別支援を要する子供にとって最善のオプションかもしれません。
- ユースセンター — ファミリーセンターは、子供が友達と関わり、友達作りの支援をする一連のプログラムを提供します。軍事施設は多くの場合、スポーツリーグや、卓球、ビデオゲーム、またはその他のレクリエーション活動ができるセンターを提供します。子供、若者、およびティーンエージャーサービスについて詳しくは、www.militaryhomefront.dod.milにお問い合わせください。
- サマーキャンプとレクリエーション — 複数の軍事施設は、特別支援キャンプおよび活動を提供します。たとえば、Lejeune駐留地は、年に数回、週末にキャンプスペシャルタイムを提供し、親の方々に受けるに値するある休暇を提供します。Campbell常設駐屯地は、キャンプWe Canを提供します。所属の軍事施設またはコミュニティで利用可能なキャンプについては、軍事施設ファミリーセンターでお問い合わせください。

サマーキャンプと活動については、所属の子供育成センターにお問い合わせください。スポーツキャンプから、釣りのトーナメントといった範囲で、一連の子供の活動を見つけることができます。

スクール・リエゾン・オフィサー

スクール・リエゾン・オフィサー（SLO）ネットワークは、地元の学校と協力してそこで教育を受け、教育問題および必要について学齢児童の軍部の親にアドバイスをすることや、教育関連の問題解決の支援をします。プログラムの目標は、学業の成功と学力向上への障害を特定するほか、子供の教育に親が関与するように推進する、教育上の協力を進展させて調整する、軍部の生活スタイルが原因となる教育の障壁を乗り越えるために必要なツールを親に提供する、そして軍部の子供の必要について地元のコミュニティと学校に推進して教育をすることです。所属の軍事施設SLOをお探しの方は、www.militaryinstallations.dod.milをご覧ください。

救済基金協会

軍部のコミュニティは、隊員と家族の世話をすることにプライドを持っています。救済基金協会は、予期しない問題や財政上の緊急性がある家族を支援するために設立されました。救済基金協会は、以下の必要を支援します。

- 緊急輸送
- 葬儀費用
- 災害義捐金支援
- 保育所費用
- 不可欠な車両の修理
- 予定外の家族の緊急事項
- 食物、家賃、
  および電気/ガス/水道代
- 医療費/歯の治療代（患者負担金）

現役および退役軍人とその家族に緊急財政支援を提供する民間の非営利慈善組織は、それぞれの軍部を支援しています。

- 陸軍緊急救済基金協会
  www.aerhq.org
  (866) 878-6378
- 海軍/海兵隊救済基金協会
  www.nmcrs.org/intfreeloan.html
  (703) 696-4904
- 空軍援助協会
  www.afas.org
  (800) 769-8951

サービスをスポンサーするWebサイト

各サービスは、軍部の家族の生活の質プログラムに関する情報を提供するWebサイトを支援しています。これらのWebサイトは、ニュースの記事、軍部の生活スタイルに関連する情報、およびオンラインチュートリアルも提供します。

- Army OneSource
  www.myarmyonesource.com
- 海兵隊コミュニティサービス
  www.usmc-mccs.org
- 艦隊およびファミリーサポートプログラム
  www.cnic.navy.mil/CNIC_HQ_Site
- 空軍クロスロード
  www.afcommunity.af.mil

追加の軍部の援助

MilitaryHOMEFRONTの特別支援/例外的なファミリーメンバープログラムセクション

MilitaryHOMEFRONTの特別支援/EFMPセクションは、特別支援を要する軍人とその家族を支援するためのDoDの公式Webサイトです。このサイトは、福祉手当/給付金、引当金、および適用資格、および軍部および民間の援助に関する情報が満載です。www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmp/resourcesをご覧ください。ここでは、以下を支援するための援助を見つけることもできます。

- 保育所
- カウンセリング
- 配備

「Military OneSourceのコンサルタントは、冷静かつあふれるユーモアのセンスで私に話しかけ、私のユーモアのセンスを見つける手助けをしてくれました。彼らがいなかったら、恐らく私は未だにストレスを感じていたことでしょう。」

海軍の、行動上の課題を抱える子供の親

親から親へ

- 家族の教育
- 法的支援
- 移動および移転
- 新しい親支援
- 個人の財政管理
- 配偶者の雇用
- 移行支援

ご存知ですか

相談ごとですか?
Military OneSourceは、
24時間ご利用になれます。
•
米国:
(800) 342-9647
•
海外からのフリーコール:
(800) 342-9647
•
海外からのコレクトコール:
(484) 530-5908

Military OneSource

Military OneSourceは、軍部のコミュニティに情報、紹介、支援を提供します。電話やインターネットからアクセスが可能なMilitaryOneSourceは、特別支援のコンサルティング、調査、援助、および特別支援を要する家族が利用できる現在の軍部のサービス強化を目的にした資料を提供します。

軍部の教育スペシャリストは、子供の教育に関する問題について支援が必要な軍部の家族が利用でるように用意されています。サービスは、電話で予約のうえ提供され、出生から21歳までの特別支援を要する子供に重点を置いています。専門サービスは、Military OneSourceの主要電話番号からアクセスできます。すべてのサービスは無料でご利用になれます。詳しくは、Military OneSource（www.militaryonesource.com）をご覧ください。

Military Youth on the Move（移動時の軍部の若者）

Military Youth on the Moveは、現役勤務の親と一緒に定期的に移動する、6歳から18歳の子供用のDoDのWebサイトです。ここでは、ユーモアや、共感、証し、アップビートなビジュアル効果を使用して、豊富な移転情報を提供し、移動の負担に立ち向かう軍部の子供および若者が直面する課題に取り組んでいます。Military Youth on the Move（移動時の軍部の若者）（http://apps.mhf.dod.mil/myom）をご覧ください。

Plan My Move

Plan My Moveオンラインツールは、移転する軍部の家族のために特別に考案されました。このツールは、任地や周辺地域に関する最新の情報が掲載されており、移動プランの支援を行います。このサイトは、費用の見積もりができ、トラベルの引当金や権利に関する情報を提供します。このツールを使用するには、MilitaryHOMEFRONT（www.militaryhomefront.dod.mil/tf/movingandrelocation）をご覧ください。

多くの親が、掲示板が、毎日を乗り切る方法についてのヒントを共有し、子供に影響を与えるられる公共の問題の情報を得るために、たいへん有力な資源であると認識しています。

MilitaryINSTALLATIONS

MilitaryINSTALLATIONSは、軍人とその家族が利用できるDoDの軍事施設向けソースであり、州の援助です。ここでは、概論の記事、写真、主要部隊の一覧、および世界中のプログラムとサービスの連絡先を見つけることができます。MilitaryINSTALLATIONSのWebサイト（www.militaryinstallations.dod.mil）をご覧ください。

TRICARE

TRICAREは、特別支援を要する家族を支援する複数のプログラムを提供します。拡大ケアヘルスオプション（ECHO）は、TRICARE Prime、Extra、またはStandardの対象でないサービス、機器、または必需品を提供します。また、ECHO在宅医療サービス（EHHC）が利用できます。EHHCは、在宅の家族に集中在宅医療サービスを提供します。詳しくは、www.tricare.mil、またはモジュール3、*医療福祉手当*をご覧ください。

連邦、州、およびコミュニティ援助

アメリカ赤十字社

今日のアメリカ赤十字社は、軍部の変化に対応しています。アメリカ赤十字社は、世界中に駐屯する米軍の軍人に緊急時またはその他の重要な出来事に直面している家族のために連絡をとります。現役軍人とコミュニティベースの軍部の双方が、財政支援、退役軍人へのカウンセリングと支援、および故郷の家族とをつなげる緊急の連絡提供などをアメリカ赤十字社に一任することができます。アメリカ赤十字社へのお問い合わせは、www.redcross.org、または (202) 303-4498までお電話ください。

Disability.gov

このWebサイトは、障害者の方が個人的かつ専門的な夢を実現するために必要な情報および援助を提供します。障害者の方はここで、トラベル、職場支援、および公正な住宅販売に関する情報を探すことができます。

特別教育における適切な論争解決センター

特別教育における適切な論争解決センター（CADRE)は、国立の特別教育における論争解決センターとしての役目を果たすために教育省が出資しています。CADREは、調停やその他の協力方針を用いて、特別教育および早期介入プログラムに関する不一致の解決を奨励するものです。CADREはまた、論争を防止して早期論争支援を助ける方法の推進、論争解決オプションに関する教育、調停、解決セッション、および適正手続きの意見聴取などの多種多様なサービスを提供します。CADREへのお問い合わせは、www.directionservice.orgをご覧いただくか、（541）686-5060または（541）284-4740（TTY）までお電話ください。

栄養補給支援プログラムおよび家族必要最低限の栄養補給引当

栄養補給支援プログラム（SNAP）（旧フードスタンププログラム）は、連邦政府が出資する、州が運営管理する現金給付プログラムです。このプログラムにより、低所得の家族は、電子給付金振替カードで栄養のある食べ物を買うことができます。SNAPの受給者は、売店を含む、認可された小売り食料品店で、許可された食べ物を購入します。

SNAPは、海外に駐屯する軍部の家族は利用できませんが、軍人とその家族は、家族必要最低限の栄養補給引当（FSSA）に応募することができます。FSSAは、軍人の基本的な必要最低限の引当を増加することで、家族が必要とするSNAP給付金を置き換えることを目的にしたDoDプログラムです。この引当金は、SNAP家族を対象としていますが、海外および米国本土に在住のすべての軍人およびその家族が応募することができます。FSSAプログラムは、家庭の収入および家族の規模に基づいています。軍人がFSSAとSNAP給付金を同時に受給することを禁じる法律はありませんが、SNAPでは、適用資格と割当額を定める際に、FSSA給付金は収入として計算されます。詳しくは、www.militaryhomefront.dod.mil/tf/efmpをご覧ください。

Medicaid

Mdeicaidは、低所得であまり援助を持たない個人および家族に医療サービスの支払いをするプログラムです。Medicaidは、幅広いガイドラインのある国のプログラムですが、各州が、州独自の適用資格ルールを設定して提供するサービスを決めています。州を転々とする方はご注意ください。ほとんどの州では、追加保障所得（SSI）の適用資格がある子供は、Medicaidの資格もあります。州はまた、19歳未満のその他のグループの子供、または収入の高い家族の子供を対象に選択する場合もあります。

多く州は、特別支援を要する子供に親の収入を考慮せずに資格を与えるプログラムを通して、子供に適用資格を与えています。お住まいの州のMedicaidおよびMedicaid権利放棄について詳しくは、www.military-homefront.dod.mil/tf/efmp/benefitsをご覧ください。Medicare情報については、「Federal（連邦）」をクリックしてください。

国立障害児普及センターでは、英語とスペイン語でサービスを提供します。

国立教育、障害および少年司法センター

国立教育、障害および少年司法センター（EDJJ）は、裁判所に連絡のあった、または少年非行制度にすでに関わっている、危険にさらされている障害を持つ若者の人数を懸念しています。センターでは、次の3つの領域に支援を提供するだけなく、調査の実施、援助の普及を行っています：　学校での失敗や非行の防止、拘留され、罪を犯した若者の教育および特別教育、そして学校やコミュニティに戻る若者への移行サービス。詳しくは、www.edjj.orgをご覧いただくか、(301) 405-6462までお電話ください。

国立障害児普及センター

国立障害児普及センター（NICHCY）は、教育省の出資で設立されており、豊富な情報が英語とスペイン語で用意されています。NICHCYは、以下の中央の情報源としての役割を担っています。

- 乳児、幼児、子供、および若者の障害
- 特別教育を認可する法律である、個別障害者教育法（IDEA）
- 落ちこぼれゼロ運動（障害児との関連性）
- 効果的な教育の実践に関する研究を基にした情報

センターは、特別支援を要する子供のすべての親にとっての貴重な援助であり、BrowseAloudテキストリーダーにリンクされています。したがって、親の方々はこのサイトの情報をすべて読むことが可能です。詳しくは、Webサイト（www.nichcy.org）をご覧ください。

軍部の親の方々向け特別トレーニング

軍部の親の方々向け特別トレーニング（STOMP）プロジェクトは、教育省が出資する親の方々向けトレーニングと情報（PTI）センターであり、特別教育または医療を要する子供の軍部の親を教育し、トレーニングするために設立されました。STOMPは、情報、支援、およびアドバイスを提供し、軍部の家族を支えます。

ご存知ですか

STOMPは、一連のトピックに取り組むワークショップを提供します。詳しくは、STOMP（www.stompproject.org）、または(800) 5-PARENT (V/TTY)までお問い合わせください。

追加保障所得

SSIは、低所得かつ、65歳以上、目の不自由な方、または障害者の方で援助をあまり持たない人々に月々の支払いを行う連邦政府の補足プログラムです。子供も適用資格がある場合があります。親または子供が適用資格があると思われる場合は、最寄りの社会保障オフィスを訪れるか、(800) 772-1213までお電話ください。応募が拒否された場合は、その決定の上訴を検討してもよいでしょう。

婦人児童向け栄養強化計画

婦人児童向け栄養強化計画 (WIC) は、低所得かつ栄養的に危険にさらされている女性と子供のための栄養支援を提供します。対象者は、妊娠中、分娩後、または授乳中の女性、および乳児と5歳以下の子供です。WICは、栄養教育や栄養食を提供するだけでなく、その他の医療、福祉、および社会サービスへの審査や紹介を行います。

海外在住の軍人は、WIC海外プログラムに参加する適用資格が与えられる場合があります。このプログラムについて詳しくは、www.tricare.mil/wicをご覧ください。

重病または入院中の子供のいる家族の援助

Fisher House

病気や傷害のために入院している愛する家族をお持ちの軍人およびその家族は、特別医療のために家から長距離を移動しなければならないことが頻繁にあることでしょう。この困難を和らげるために、Fisher House基金は、ほとんどの軍部およびVA医療センターの敷地内に建設されている「快適な家」をお贈りします。ほとんどすべての軍部の医療センターに少なくとも1つのFisher　Houseがあり、支援のある環境にある快適な家が必要な家族に提供しています。Fisher houseの平均滞在費は、1日10ドル未満であり、多くの場所で無料で部屋を貸し出しています。詳しくは、www.fisherhouse.orgをご覧いただくか、(888) 294-8560までお電話ください。

Make-A-Wish基金

Make-A-Wish基金®の使命は、命にかかわる病状の2歳半から18歳の子供の夢を叶えることです。子供はこの基金から紹介され、医師から夢を叶える医療上の資格があると判断される必要があります。すべての夢の実現にかかる費用は全額補償され、子供が夢を叶える資格があるかどうかを判断するのに家族の収

入は考慮されません。Make-A-Wish（www.wish.org）をご覧いただくか、(800) 722-WISH (9474)までお電話ください。

Starlight Starbright子供基金

Starlight　Starbright子供基金は、重病の子供およびその家族の世界を一変させることを約束する非営利の組織です。Starlight　Starbrightは、子供が重病であるときに、家族が経験する厳しさを和らげます。組織は、病院にプレイルームやティーンエージャーのラウンジを設置することや、子供のゲーム遊び、電子メール、友達とのチャット、そして病院のベッドからの宿題もできるようにPC Palとファンセンターを提供することによって、家族の必要を満たすために懸命に取り組んでいます。入院中の子供たちのために芸人を呼んだり、パーティを開いたりします。子供が退院して家に戻ると、Starlight　Starbrightは家族全員のために、オンラインチャットルームおよび特別な外出を通してつながりを持ち続けられるように支援します。詳しくは、www.starlight.orgをご覧いただくか、(800) 315-2580までお電話ください。

Special Wish基金

Special Wish基金は、生命にかかわる病気と診断された子供の夢を叶えることを約束する、非営利の慈善組織です。Special　Wish基金は、資格のある出生から20歳までの乳児、子供、および若者の夢を叶える米国内の唯一の主要な夢の実現組織です。詳しくは、www.spwish.orgをご覧いただくか、(800) 486-WISH (9474) までお電話ください。

The Dream Factory

Dream　Factoryは、重病または慢性の病気を患う子供の夢を叶えることを約束する非営利のボランティア組織です。現在Dream　Factoryは、全米に30を上回る支部を持ち、5,000名のボランティアから構成されています。ボランティアは、それぞれの子供に対して、夢を作って届け、病院や家庭に子供や家族を訪ね、特別祝賀会をアレンジし、資金調達のイベントを実施します。詳しくは、www.dreamfactoryinc.comをご覧いただくか、(800)　456-7556までお電話ください。

Give Kids the World Village

Give Kids the World Villageは、非営利のリゾートであり、生命にかかわる病気を患う子供とその家族に対して、夢のようなメモリーを作ります。夢を叶える組織は、交通機関をOrlandoまで手配する一方で、Give Kids the Worldは、奇妙なリゾートへの宿泊、寄贈されたアトラクションチケット、および1週間のファンタジー休暇の食事を提供します。詳しくは、www.gktw.orgをご覧いただくか、(800) 995-KIDS (5437)までお電話ください。

Exceptional Families Exceptional Service

注 記

Exceptional Families Exceptional Service

注 記

国防省例外的なファミリーメンバープログラムによって作成されました

軍人とその家族の生活の質をさらに向上させる方針、ツール、および援助の提供。

2011年5月、第3回改訂版